

第3章 生活領域の政策課題

1. 生活価値観の選択（問5）

（1） 県民の生活価値観（問5全体）

県民の生活に対する考え方(生活価値観)に関して、8つの項目について回答をもとめた。

「(1)仕事と余暇に関する価値観」では、余暇優先派(56.0%)が仕事優先派(42.6%)を上回っている。

「(2)精神的豊かさと物質的豊かさ」に関する価値観では、精神的豊かさ重視派(77.0%)が8割強を占め、物質的豊かさ重視派(21.4%)を大きく上回っている。

「(3)女性の家事専念と社会進出」に関する価値観では、社会進出派(78.2%)が8割強を占め、家事・育児専念派(20.3%)を大きく上回っている。

「(4)男性の家事専念と社会活動」に関する価値観では、社会で活動派(55.4%)が家事・育児専念派(43.5%)を上回っている。

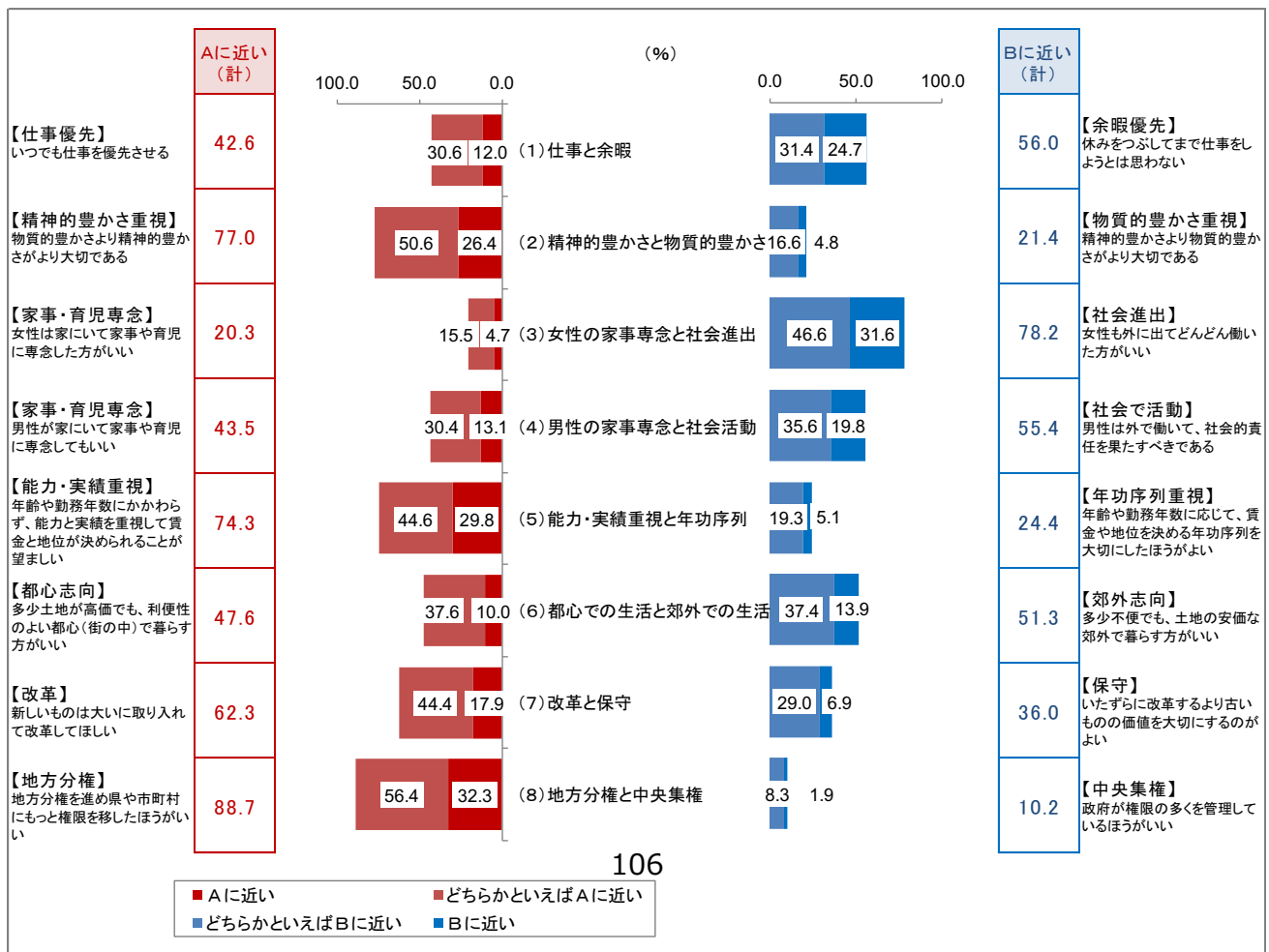
「(5)能力・実績重視と年功序列」に関する価値観では、能力・実績重視派(74.3%)が7割強を占め、年功序列重視派(24.4%)を大きく上回っている。

「(6)都心での生活と郊外での生活」に関する価値観では、郊外志向派(51.3%)と都市志向派(47.6%)が5割前後で拮抗している。

「(7)改革と保守」に関する価値観では、改革派(62.3%)が6割強を占め、保守派(36.0%)を上回っている。

「(8)地方分権と中央集権」に関する価値観では、地方分権派(88.7%)が9割強を占め、中央集権派(10.2%)を大きく上回っている。

図表Ⅱ-3-1 県民の生活価値観（全体）



(2) 仕事と余暇に関する価値観 (問5-1)

仕事と余暇に関する価値観について、時系列で見ると、余暇優先派は平成21年を除いて徐々に増加し、今回調査(56.0%)では5割を超え、仕事優先派(42.6%)を13.4ポイント上回っている。

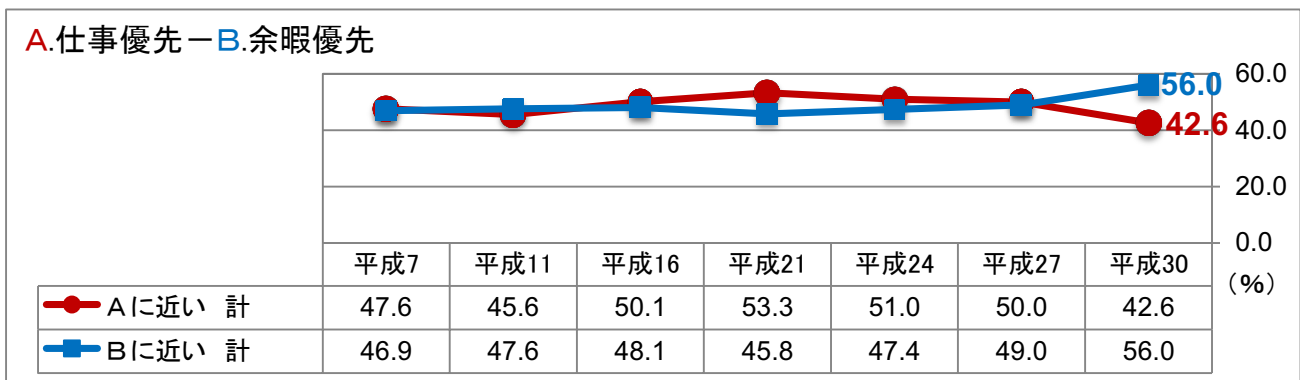
地域別にみると、仕事優先派の割合は北部・八重山(同率52.3%)で、余暇優先派の割合は南部(60.8%)でほかの地域に比べて高い。

年代別にみると、余暇優先派の割合は10・20代の若年層では6割を超えるが、年代が高まる(70代以上除く)とともに低下し、代わって仕事優先派の割合が高まる。また、70代以上では仕事優先派の割合が減少している。

性別で見ると、仕事優先派は男性(48.0%)が女性(37.5%)よりも高い。

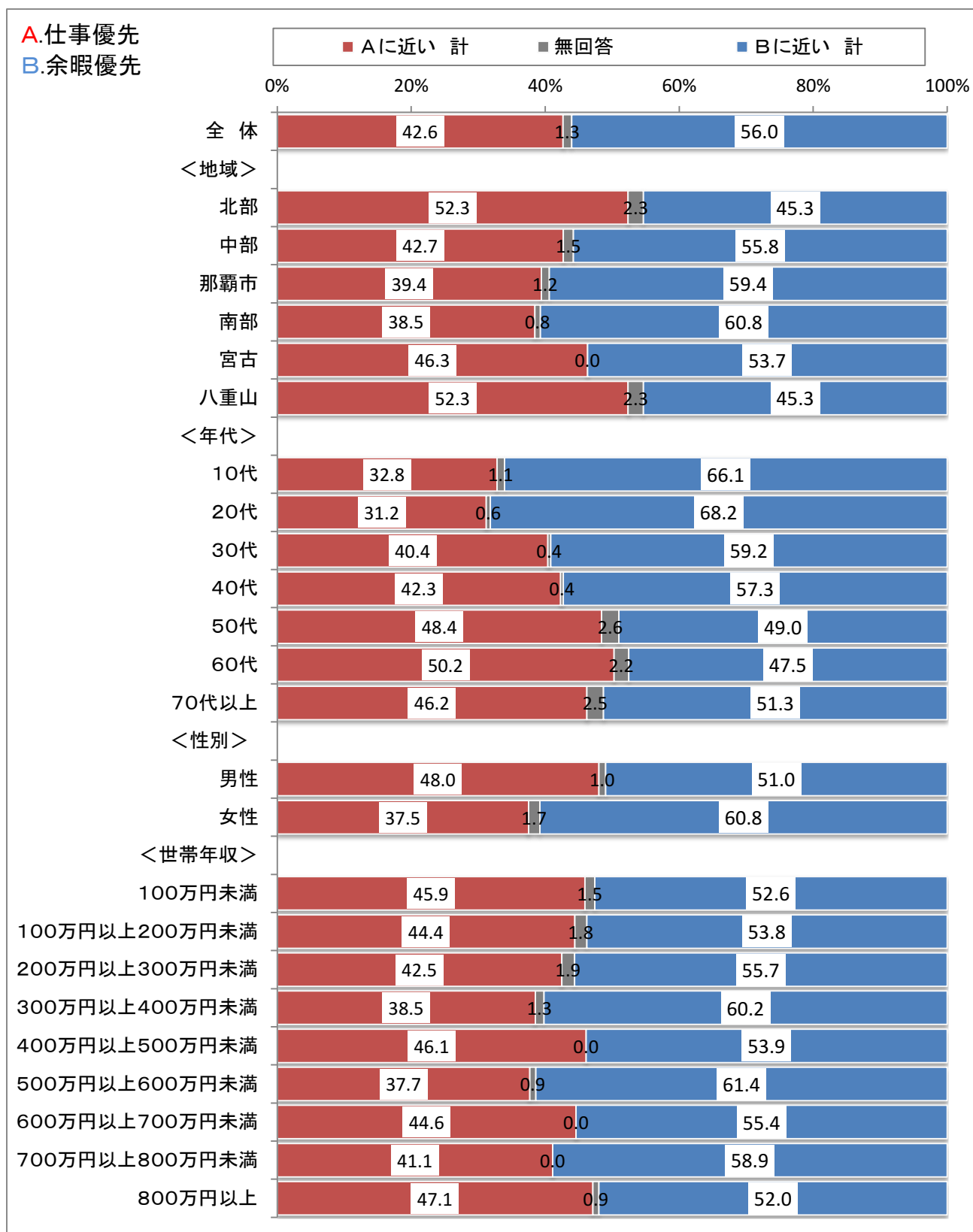
世帯年収別にみると、余暇優先派の割合は、300万円以上400万円未満と500万円以上600万円未満の所得層で6割を超える。

図表 II-3-2 仕事と余暇に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-3 仕事と余暇に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(3) 精神的豊かさと物質的豊かさに関する価値観 (問5-2)

精神的豊かさと物質的豊かさに関する価値観について、時系列でみると、精神的豊かさを選好する割合が高くなっているが、物質的豊かさは調査毎に少しずつ高まっており、今回の調査では2割強となっている。

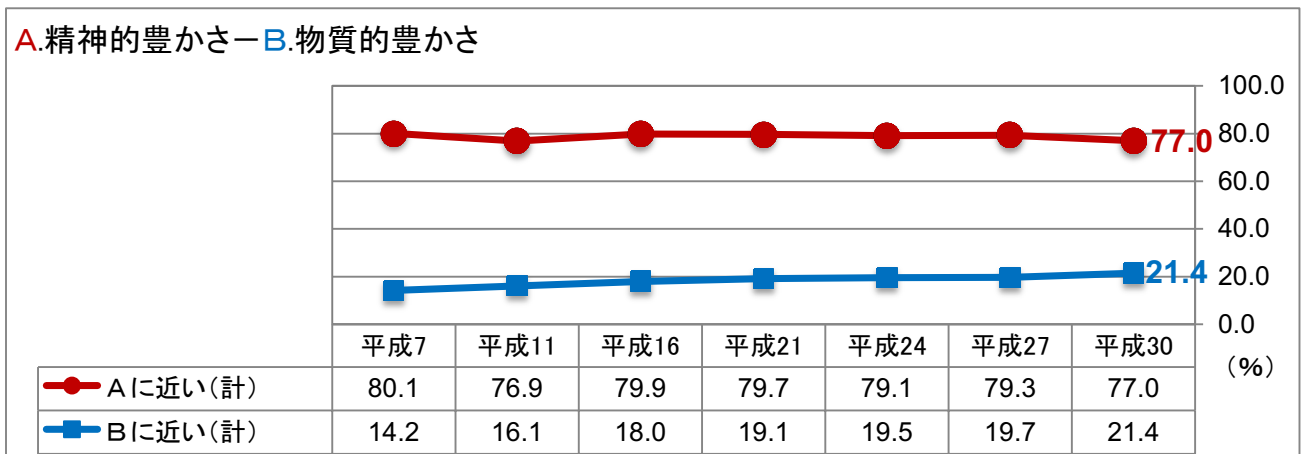
地域別にみると、精神的豊かさに対する価値観を選好する割合は、南部(79.2%)で高く、物質的豊かさを選好する割合は、南部を除く他の地域で2割を超えている。

年代別にみると、10代~40代では、物質的豊かさに対する価値観を選好する割合が2割を超える。

性別でみると、男女とも精神的豊かさを選好する割合が高く、物質的豊かさは男性(22.3%)が女性(20.5%)より高い。

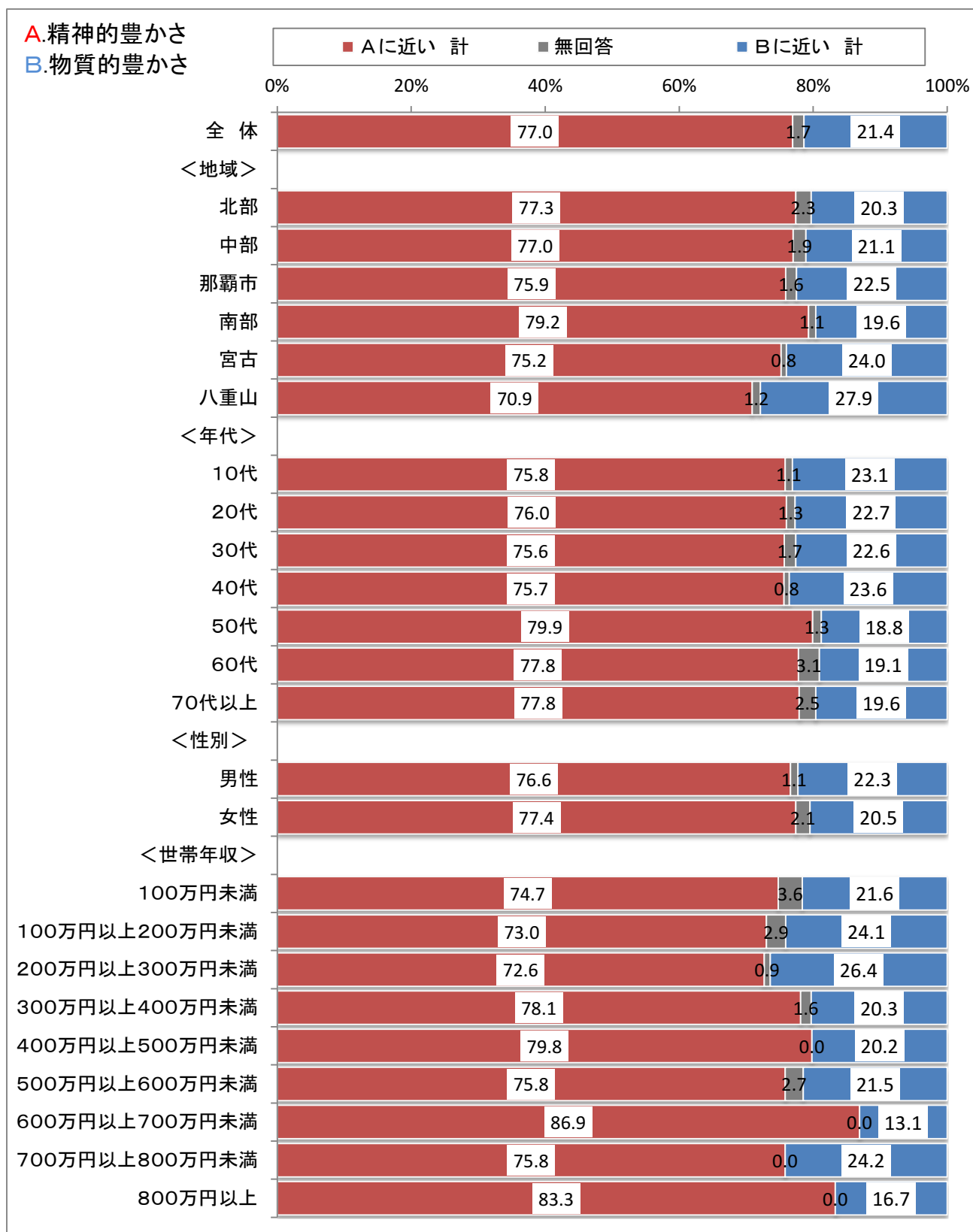
世帯年収別にみると、精神的豊かさを選好する割合は、「600万円以上700万円未満」(86.9%)で最も高くなっている。

図表II-3-4 精神的豊かさと物質的豊かさに関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-5 精神的豊かさと物質的豊かさに関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(4) 女性の家事専念と社会進出に関する価値観 (問5-3)

女性の家事専念と社会進出に関する価値観について、時系列で見ると、女性は家事専念派と女性の社会進出派の割合の差は平成7年で7.8ポイントであったが、徐々に広がり、平成30年では57.9%となっている。

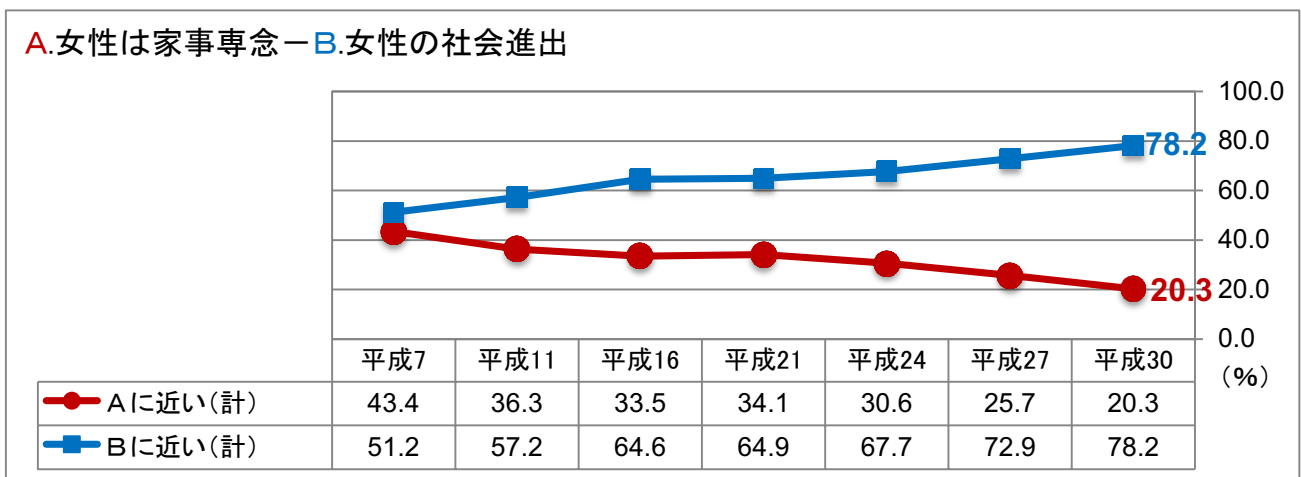
地域別にみると、女性の社会進出派の割合は、北部(80.5%)、那覇市(80.3%)、宮古(81.8%)で8割を超えている。

年代別にみると、女性の社会進出派の割合は、20代(80.8%)、40代(83.6%)、50代(84.9%)の年代で8割を超えて他の年代よりも高い。

性別で見ると、男女による違いはほとんどないが女性は家事専念派の割合は男性でやや高くなっている。

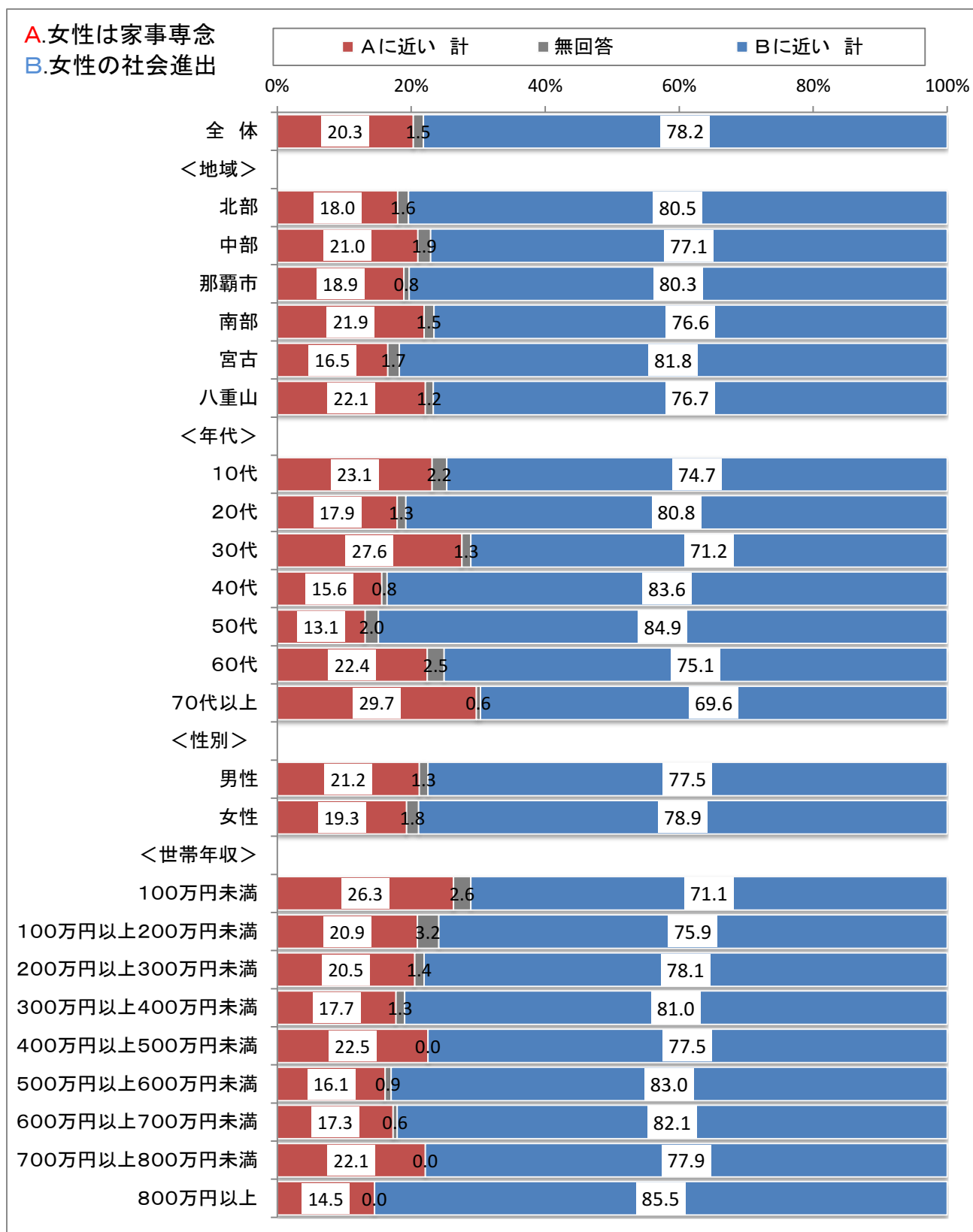
世帯年収別にみると、女性の社会進出の支持は年収「800万円以上」で最も高くなっている。

図表II-3-6 女性の家事専念と社会進出に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表 II - 3 - 7 女性の家事専念と社会進出に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(5) 男性の家事専念と社会活動に関する価値観 (問5-4)

男性の家事専念と社会進出に関する価値観について、時系列で見ると、過去2回の調査と比較すると男性の家事専念も可の割合が高まっている。また、ポイントの開きについて、今回の調査では11.9ポイントと前回2回の調査と比較して小さくなっている。

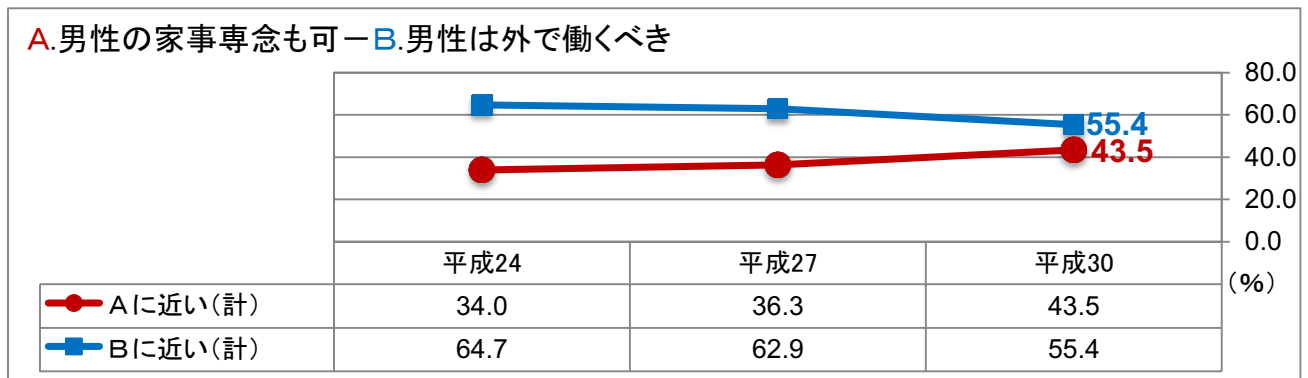
地域別にみると、男性の家事専念について八重山(58.1%)で最も高くなっている。

年代別にみると、10代・20代の若年層では、男性の家事専念も可については5割を超えている。一方、年代が上がるにつれて、男性は外で働くべき割合が高くなっている。

性別で見ると、男女による違いはほとんどない。

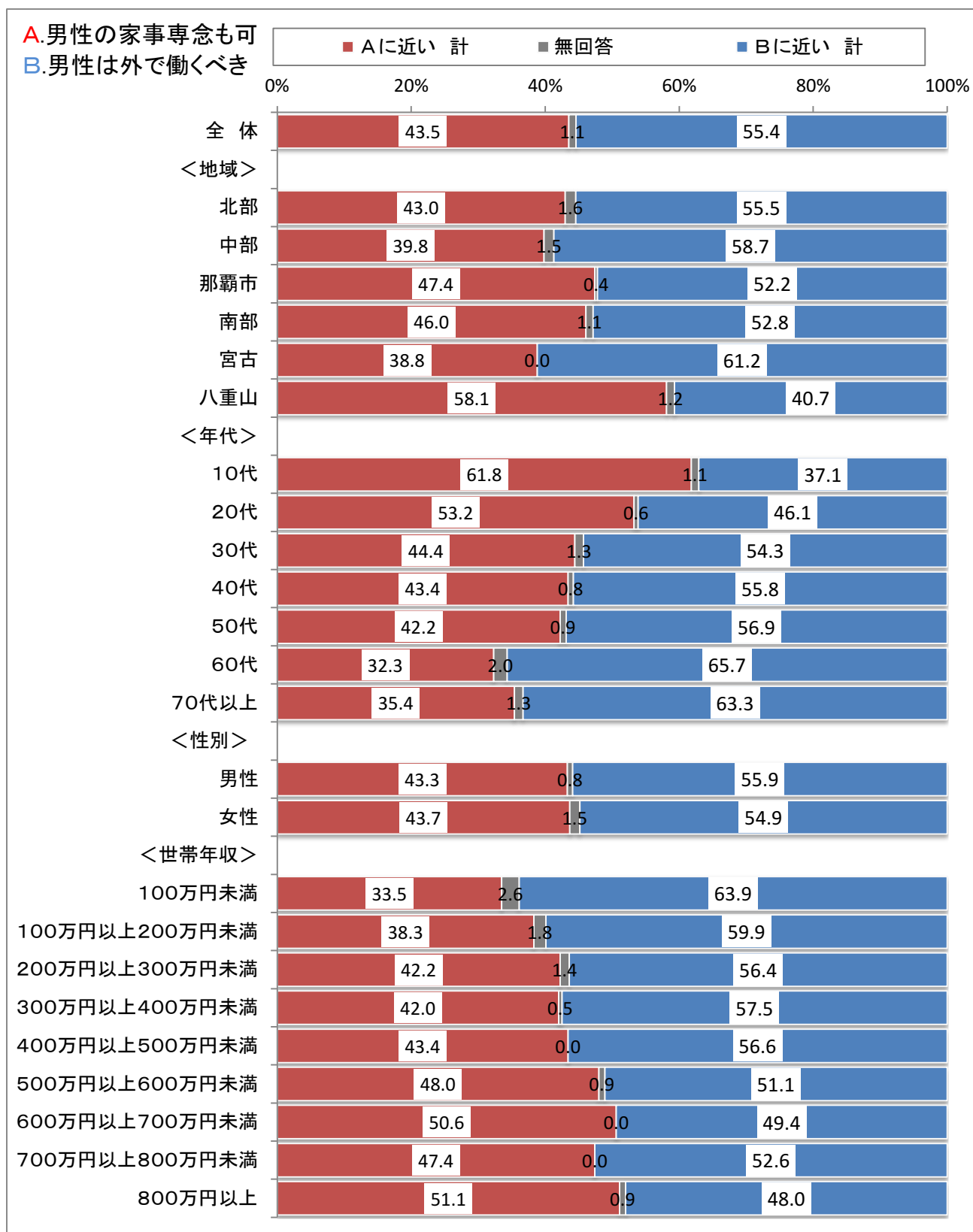
世帯年収別にみると、男性は外で働くべき派の割合は「100万円未満」(63.9%)で最も高くなっているが他の世帯年収では5割前後となっている。

図表II-3-8 男性の家事専念と社会活動に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-9 男性の家事専念と社会活動に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(6) 能力・実績重視と年功序列に関する価値観 (問5-5)

能力・実績重視と年功序列に関する価値観について、時系列で見ると、多少の変動はあるもののほぼ横ばいとなっている。

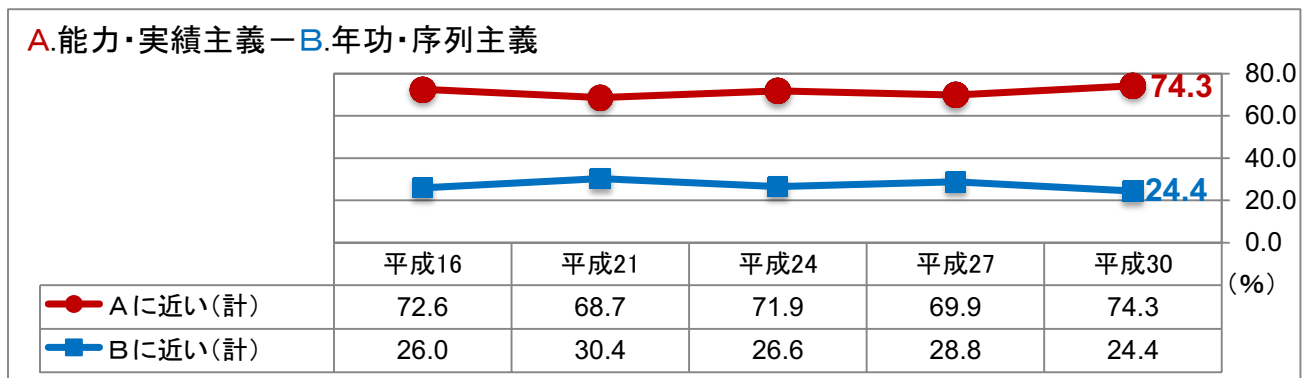
地域別にみると、年功・序列主義派は宮古(28.9%)で最も高くなっている。

年代別にみると、20代～50代では能力・実績主義派が8割弱で他の年代よりも高くなっている。

性別で見ると、能力・実績主義派の割合が、男性(72.3%)よりも女性(76.3%)で高い。

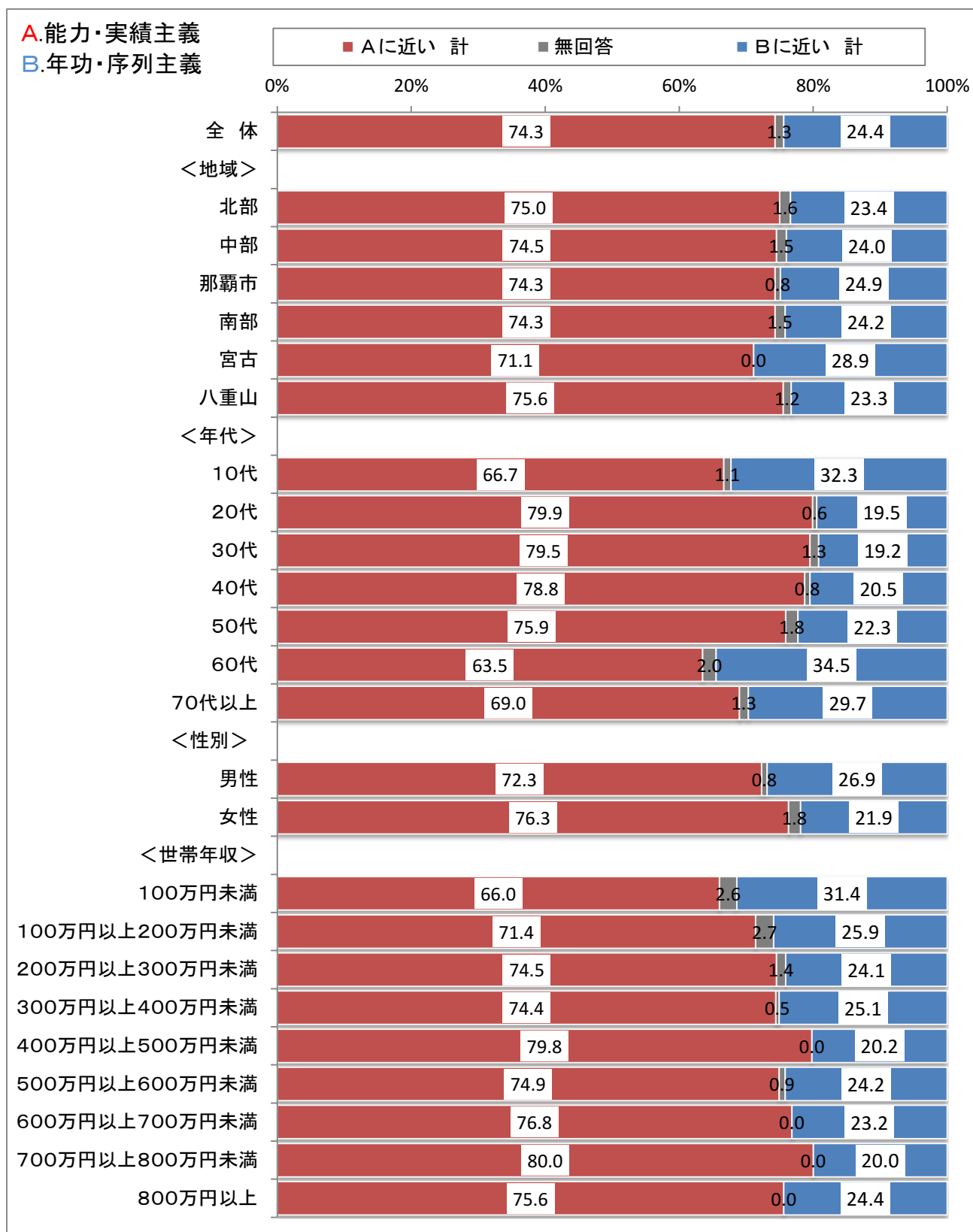
世帯年収別にみると、能力・実績主義派は、年収100万円未満を除く世帯年収で7割を超えている。

図表 II-3-10 能力・実績重視と年功序列に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-11 能力・実績重視と年功序列に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(7) 都心での生活と郊外での生活に関する価値観 (問5-6)

都市での生活と郊外での生活に関する価値観について、時系列で見ると、過去4回の調査と比べて都市での生活派の割合は徐々に上昇し、郊外での生活派の割合は低下している。

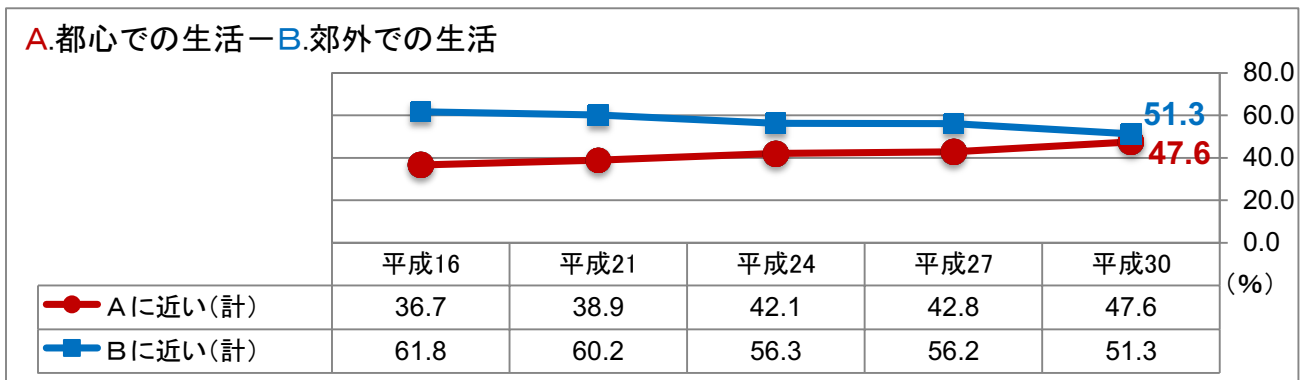
地域別にみると、都市での生活志向派の割合は、那覇市(69.1%)で最も高く、郊外志向派は、南部(65.7%)で高くなっている。

年代別にみると、都市での生活志向派の割合は、10代(67.2%)で最も高く、20代(55.2%)、70代以上(54.4%)で5割を超える。

性別で見ると、都市での生活志向派の割合は女性(50.1%)が男性(44.9%)を少し上回る。

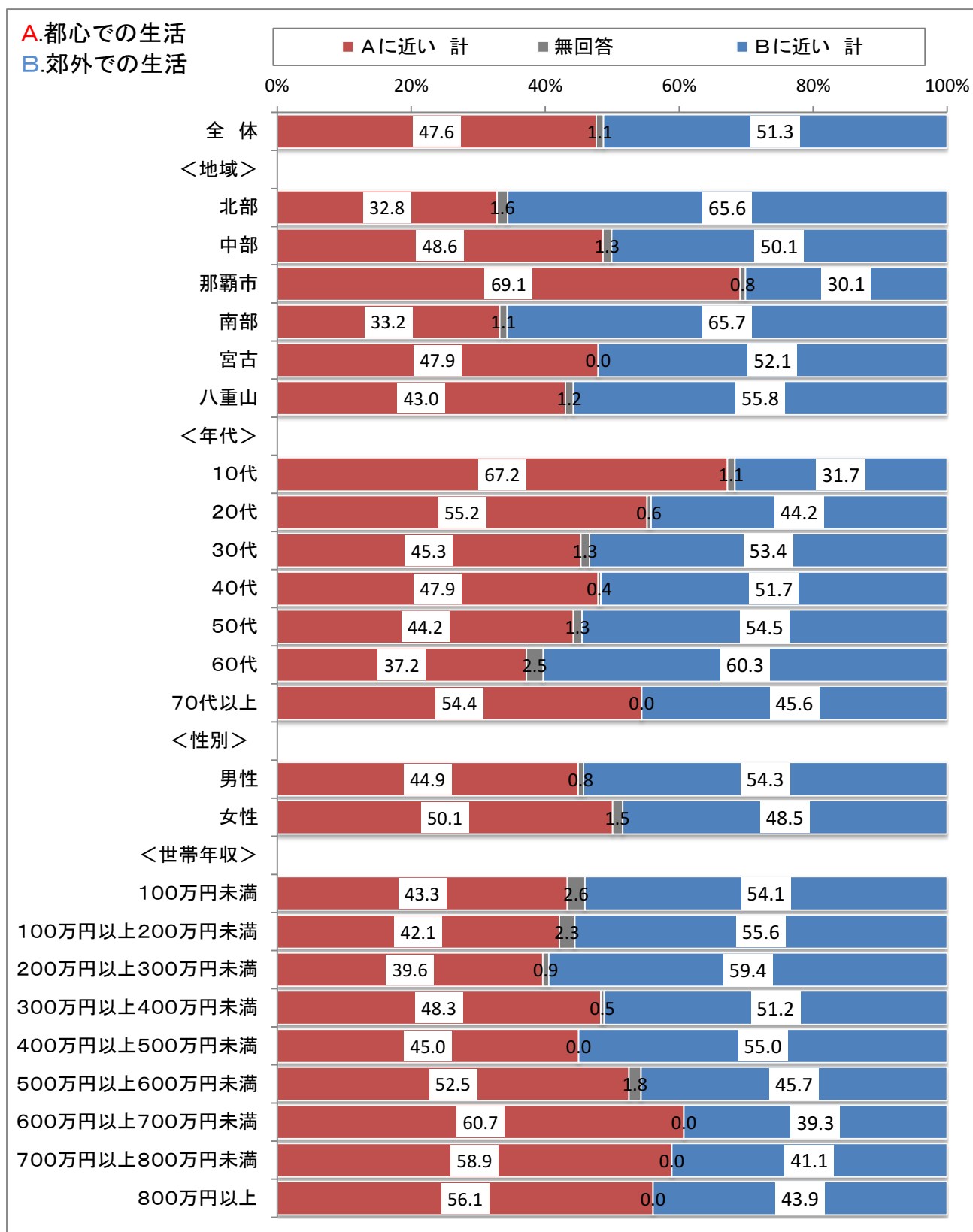
世帯年収別にみると、都市での生活志向派の割合は、世帯年収500万円以上で5割を超えて高くなっている。

図表 II-3-12 都心での生活と郊外での生活に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-13 都心での生活と郊外での生活に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(8) 改革と保守に関する価値観 (問5-7)

改革と保守に関する価値観について、時系列でみると改革派(62.3%)が前回調査と比較して6.1ポイント上昇している。

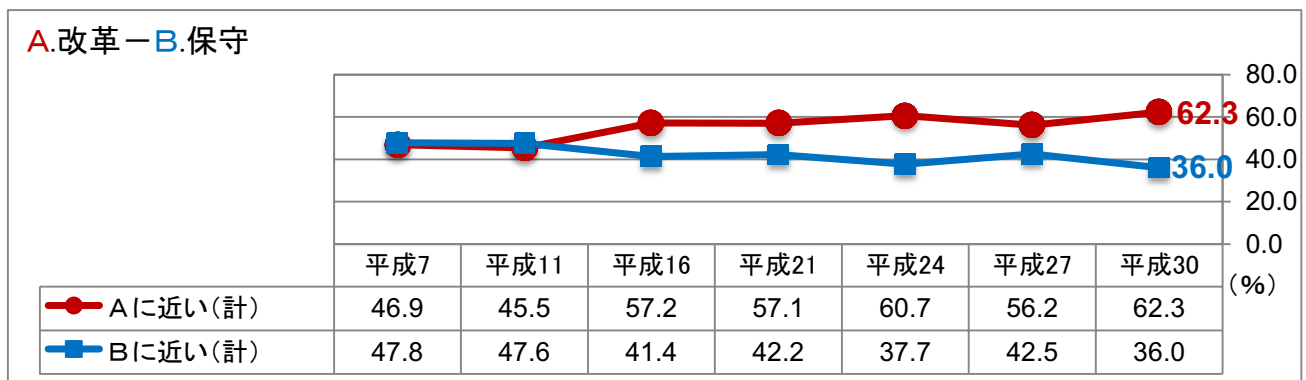
地域別にみると、改革派の割合は八重山(59.3%)を除く地域で6割を超えている。

年代別にみると、改革の割合は10代・20代の若年層では7割を超えている。60代では保守派(52.7%)、改革派(45.3%)と他年代と比べて保守派の割合が高くなっている。

性別でみると、男女による違いはあまりない。

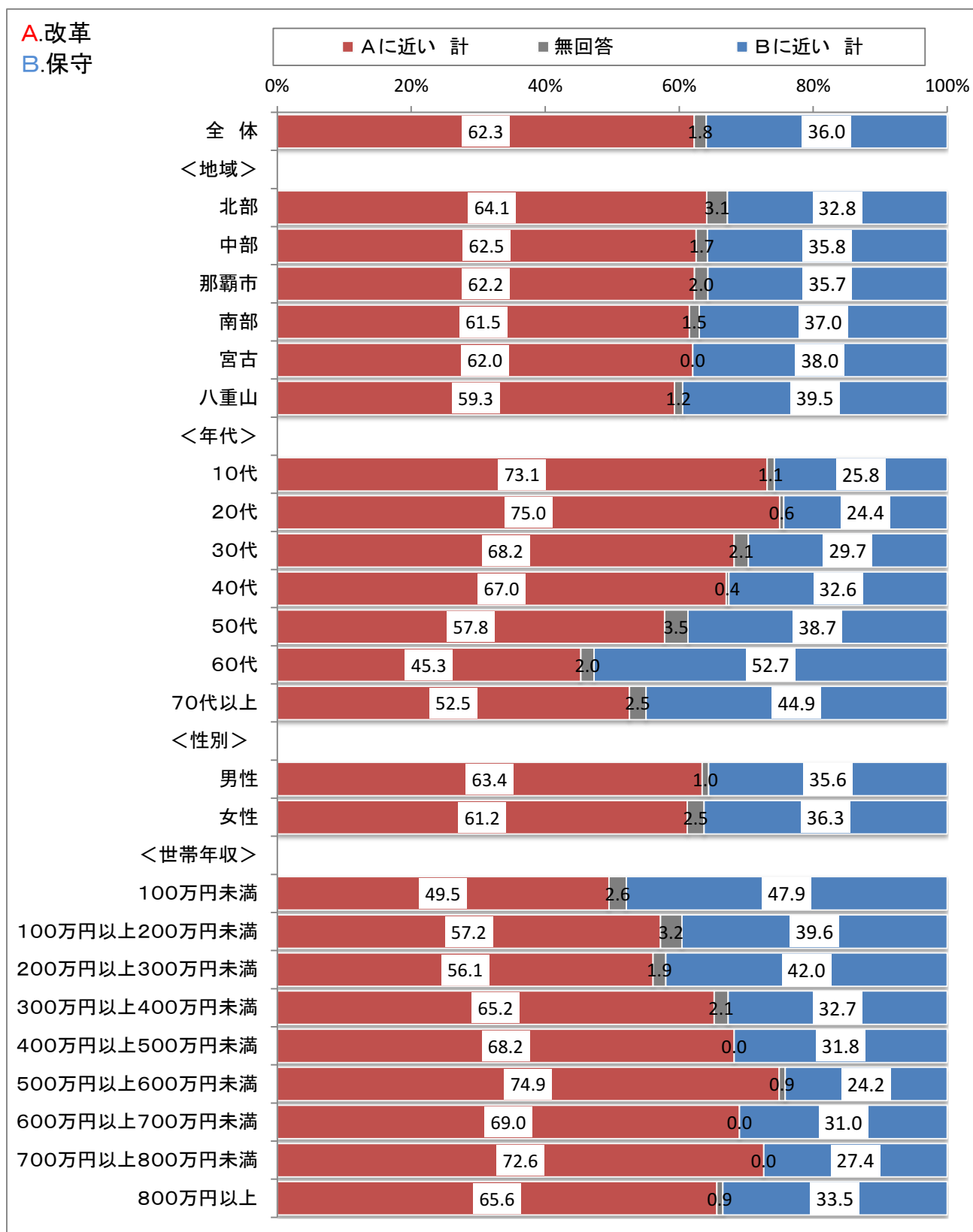
世帯年収別にみると、改革派は、年収500万円以上600万円未満(74.9%)で最も高く、ついで年収700万円以上800万円未満(72.6%)と7割を超えている。

図表 II - 3 - 14 改革と保守に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-15 改革と保守に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



(9) 地方分権と中央集権に関する価値観 (問5-8)

地方分権と中央集権に関する価値観について、時系列で見ると、ポイントの増減は小さいが、地方分権の割合が9割弱となっている。

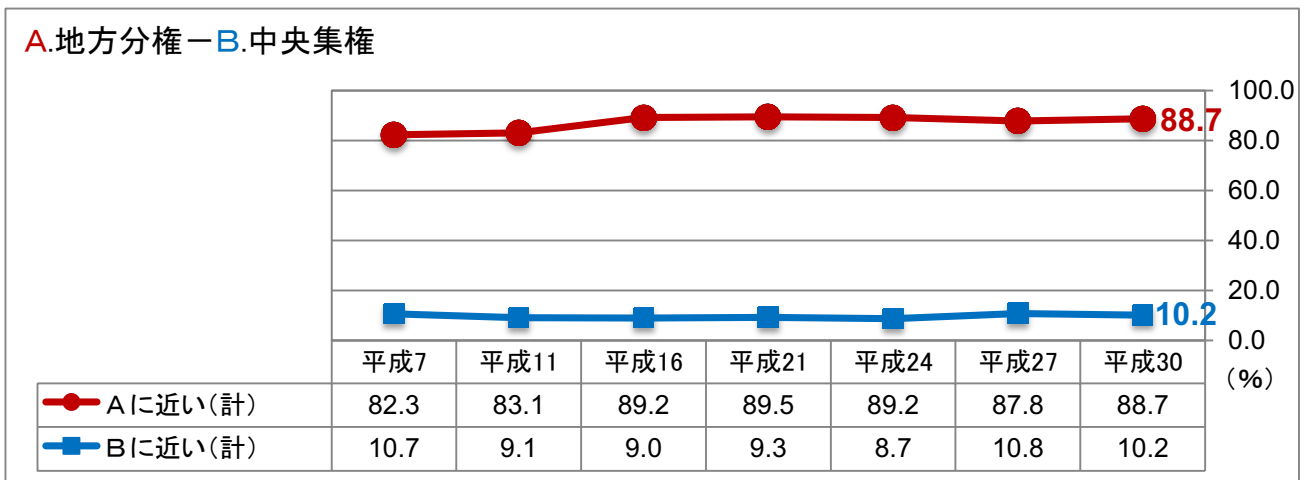
地域別にみると、地方分権の割合は北部(91.4%)で最も高くなっている。

年代別にみると、地方分権の割合は40代・50代で9割を超えている。

性別で見ると、地方分権の割合は男性(86.2%)より女性(91.0%)で高い。

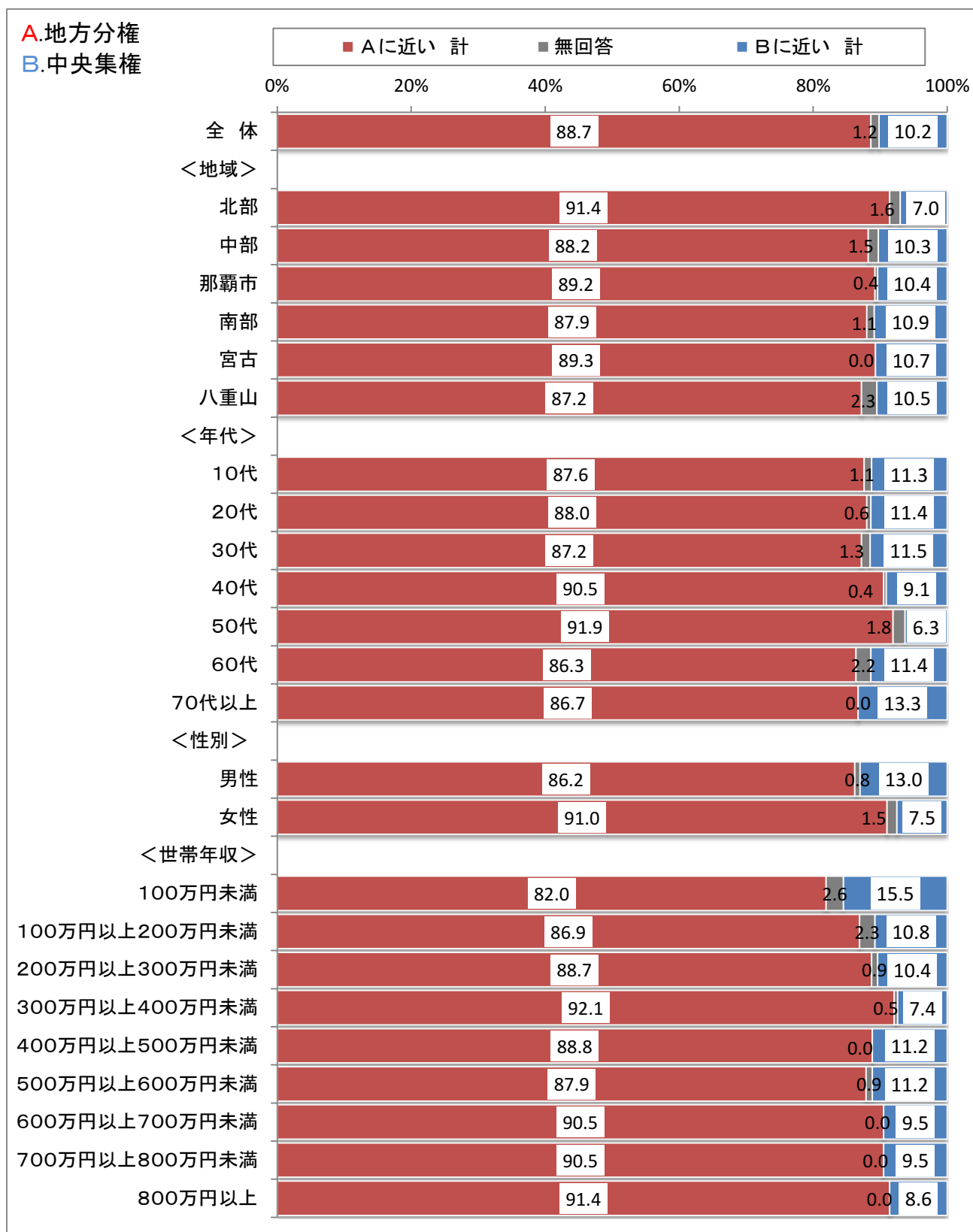
世帯年収別にみると、地方分権の割合は年収300万円以上400万円未満と600万円以上の所得層で9割を超えている。また、中央集権の割合は100万円未満(15.5%)で他の所得層よりもやや高くなっている。

図表II-3-16 地方分権と中央集権に関する価値観 [時系列比較]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-17 地方分権と中央集権に関する価値観 [地域別・年代別・性別・世帯年収別]



2. 生活状態（くらしむき）の意識・変化・見通し（問8）

（1）生活状態の意識

現在の生活状態（くらしむき）については、「中の中」（41.8%）の割合が最も高く、次いで「中の下」（23.5%）、
「中の上」（13.4%）となっている。

時系列にみると、「中の中」の割合は平成24年を底にその後はほぼ横ばいとなっている。「中の下」での割合は
平成24年の調査（33.1%）で最も高く、その後は減少している。

全国（内閣府／国民生活に関する世論調査〔平成30年6月調査〕）と比較すると、「中の中」の割合は16.2ポ
イント低くなっている。

地域別にみると、「中の上」の割合では、那覇市（19.3%）が最も高く、次いで八重山（18.6%）となっている。南
部では「わからない」（12.8%）でほかの地域に比べて高い。

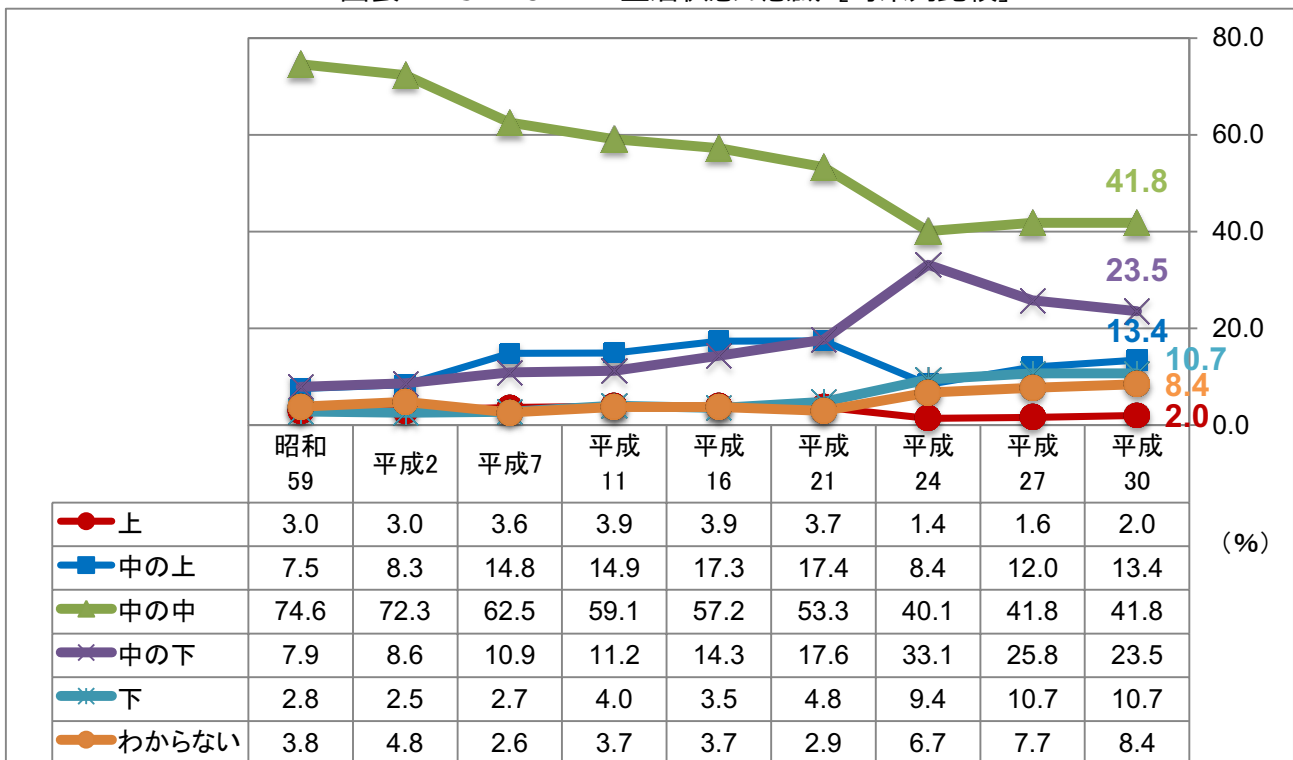
年代別にみると、「中の中」の割合は、30代以上の年代で4割を超えている。「中の上」は60代では1割弱と
他の年代よりも割合が低くなっている。

性別でみると、「中の中」の割合は男性（40.5%）より女性（43.1%）でやや高くなっている。

世帯年収別にみると、「中の上」の割合は700万円以上の所得層で4割を超えている。「中の下」と「下」の割合
は、年収が低いほど高くなる。

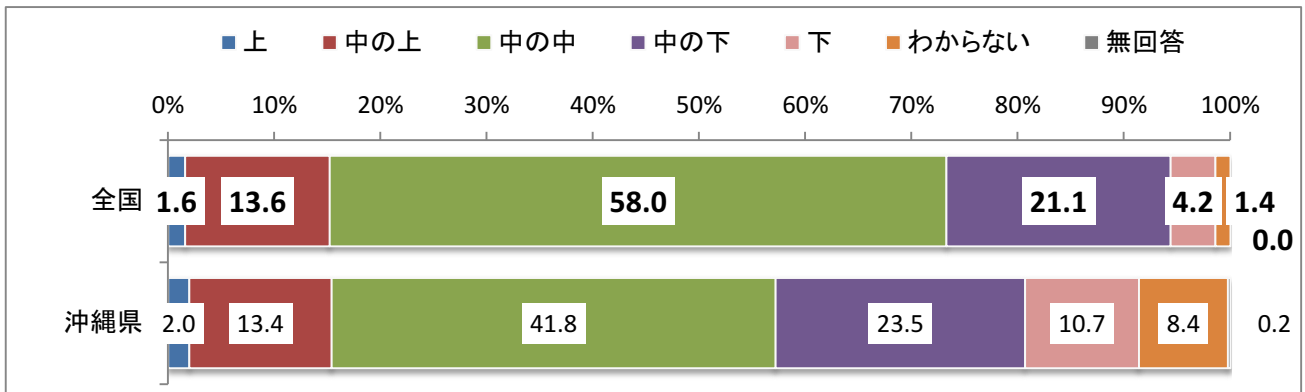
従業上の地位別にみると、「中の中」の割合は雇用者－役員（57.7%）で最も高く、次いで、家族従業（56.9%）
で5割を超える。また、非正規の雇用者では「中の下」「下」を合わせた割合が、4割を超えており地位別で最も高
くなっている。

図表Ⅱ-3-18 生活状態の意識 [時系列比較]



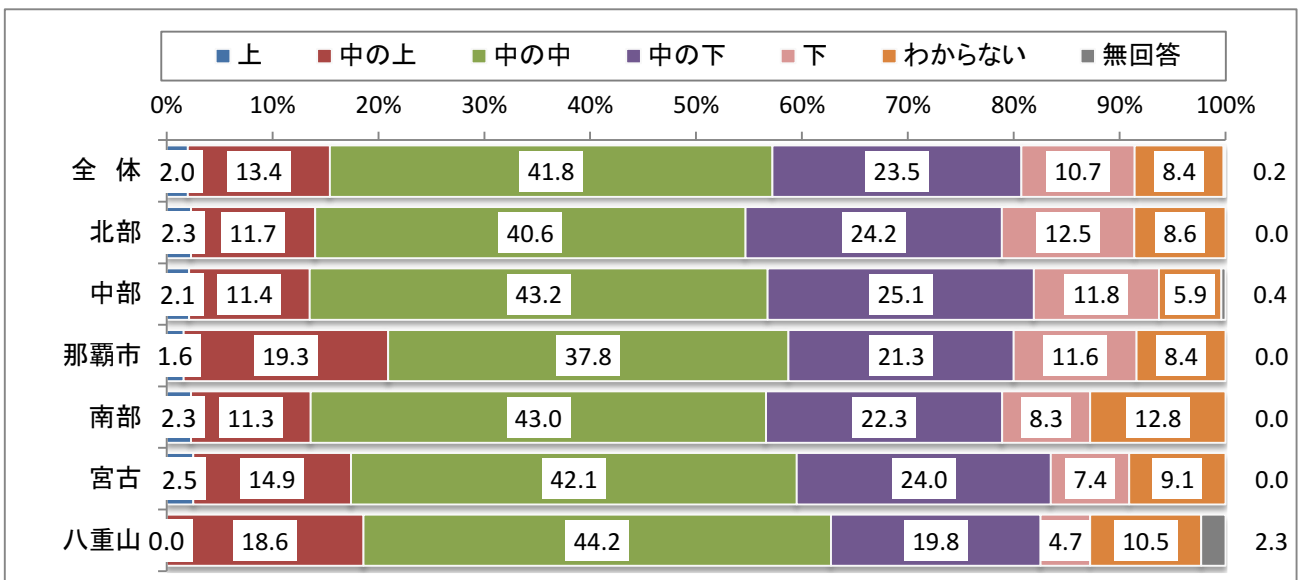
II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表 II - 3 - 19 生活状態の意識 [全国比較]

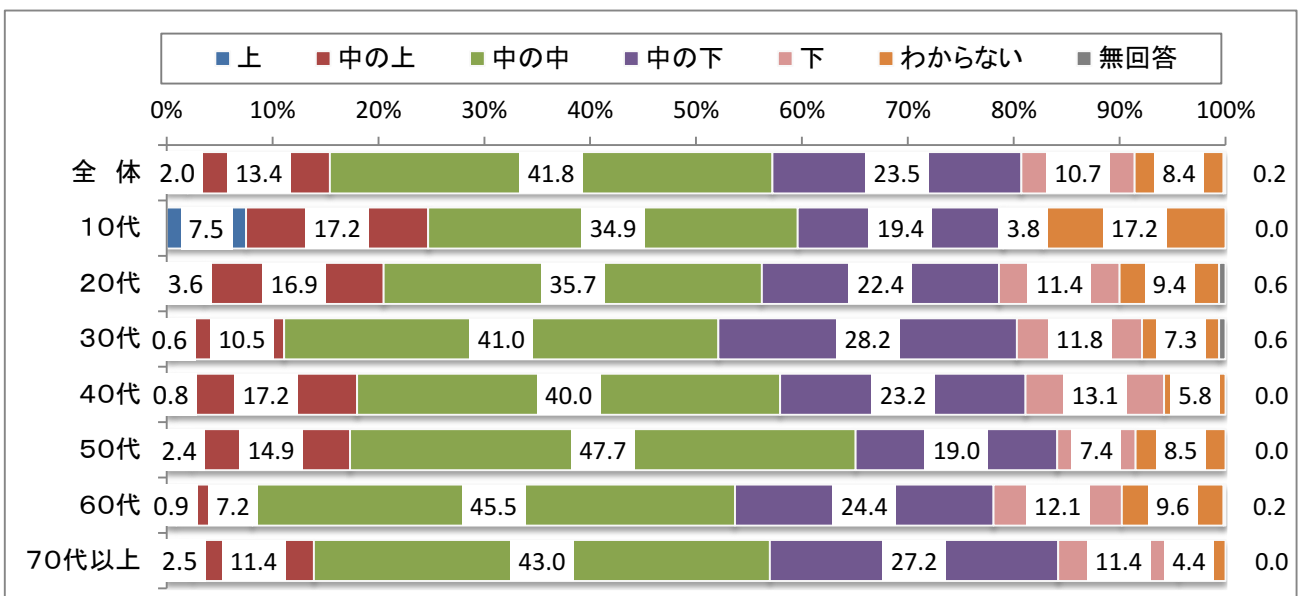


※全国の調査結果は内閣府「国民生活に関する世論調査(平成30年6月調査)」

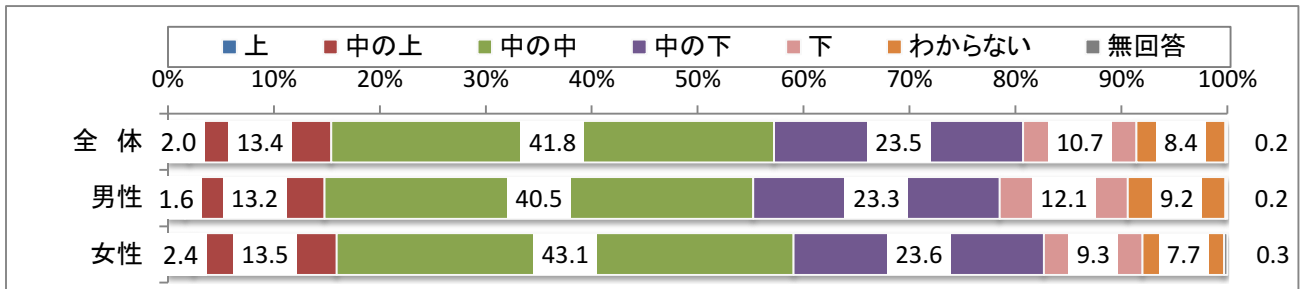
図表 II - 3 - 20 生活状態の意識 [地域別]



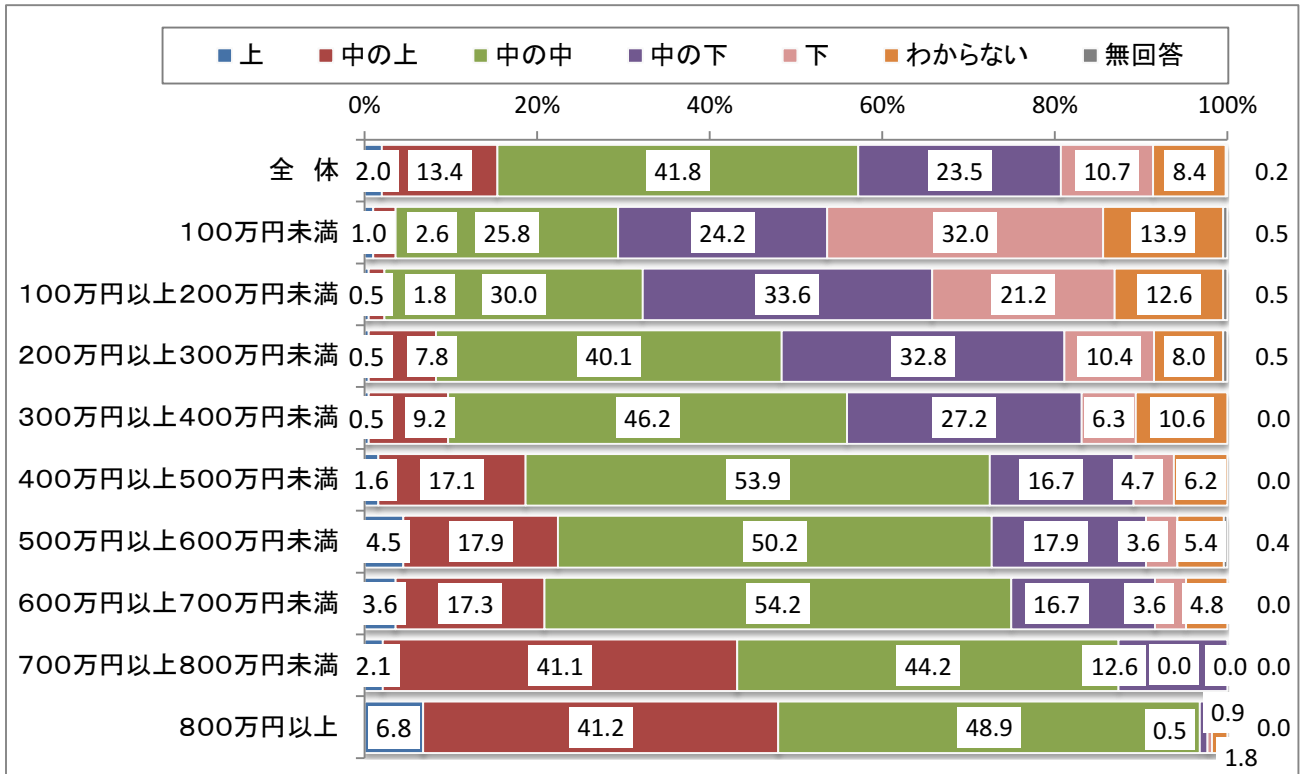
図表 II - 3 - 21 生活状態の意識 [年代別]



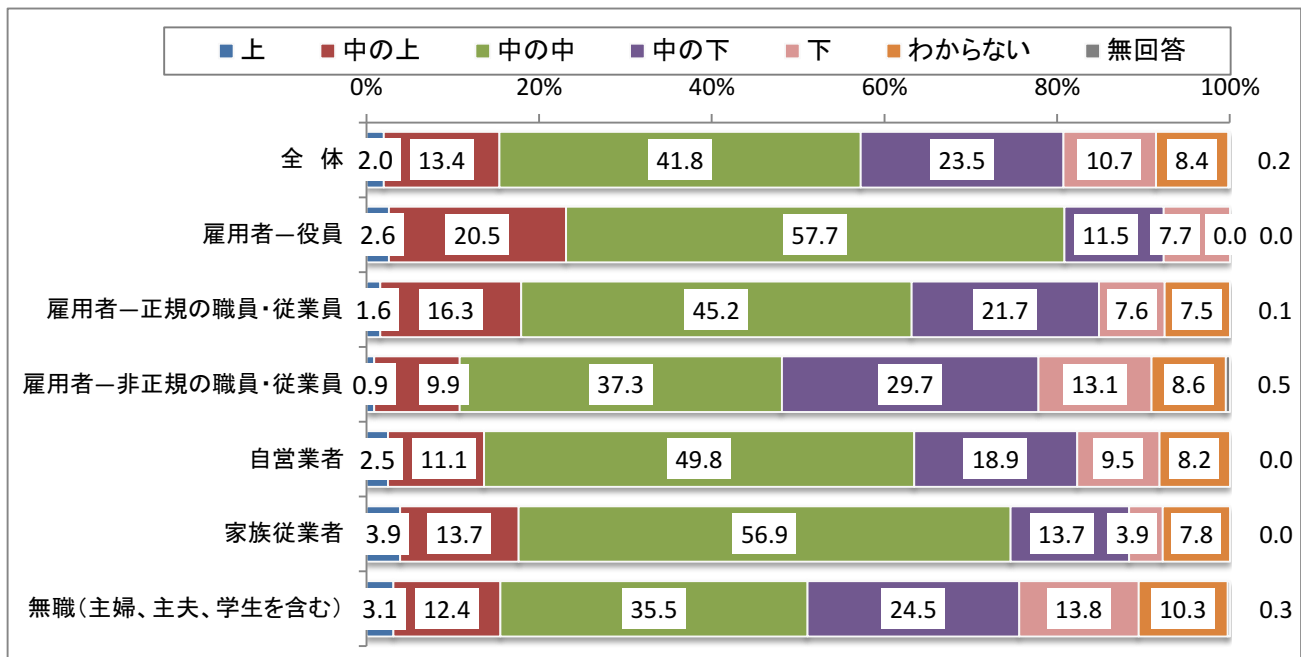
図表Ⅱ-3-22 生活状態の意識 [性別]



図表Ⅱ-3-23 生活状態の意識 [世帯年収別]



図表Ⅱ-3-24 生活状態の意識 [従業上の地位別]



II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

(2) 生活状態の変化

4、5年前に比べて現在の生活状態の変化について、「変わらない」(49.0%)の割合が最も高く、次いで「良くなった」(19.9%)、「悪くなった」(16.6%)となっている。

時系列にみると、「悪くなった」の割合は平成2年(11.1%)が底で平成21年(32.8%)まで上昇し続けた後は減少に転じている。

地域別にみると、八重山では「極めて良くなった」「良くなった」と判断する人の割合が3割と他の地域に比べて高い。

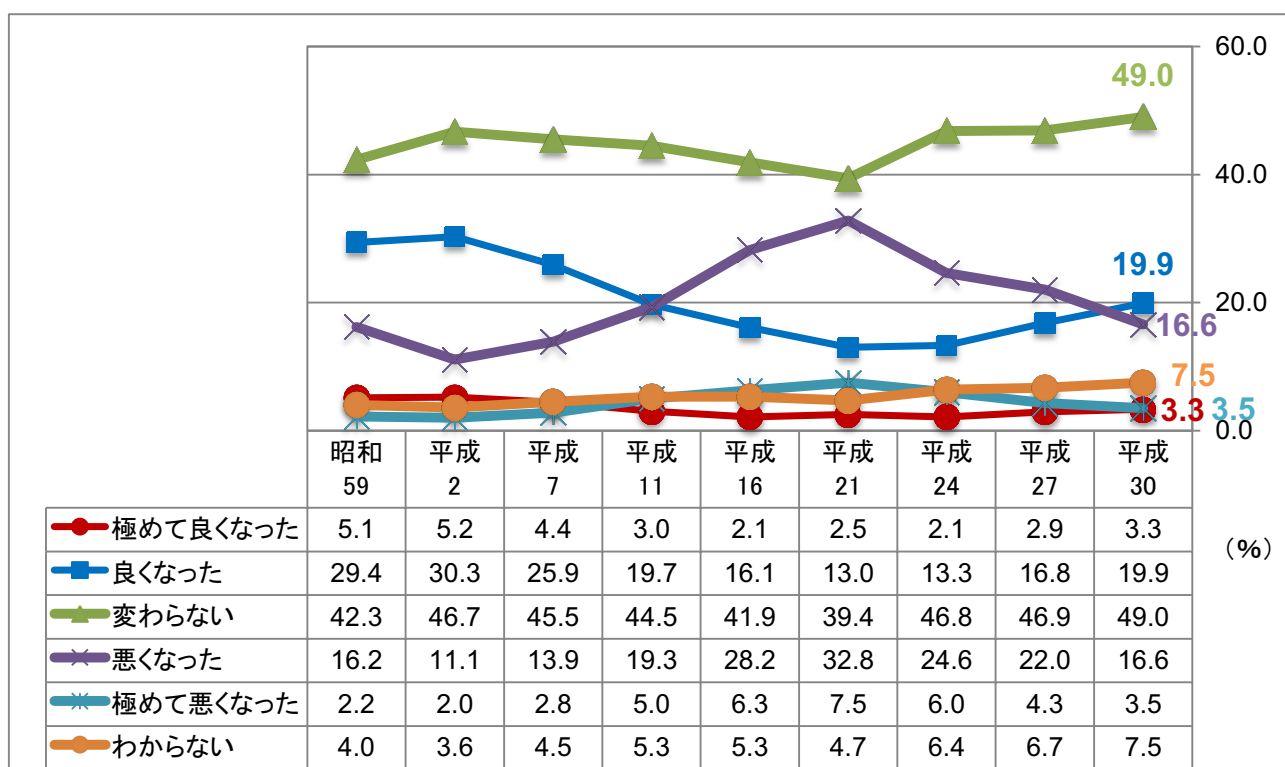
年代別にみると、50代以上の割合で「変わらない」は5割を超えているが、年齢が高まるとともに「良くなった」の割合が低下し、「悪くなった」の割合が高まっている。

性別でみると、男女とも「変わらない」の割合が最も高いが、女性(46.9%)よりも男性(51.3%)で高い。

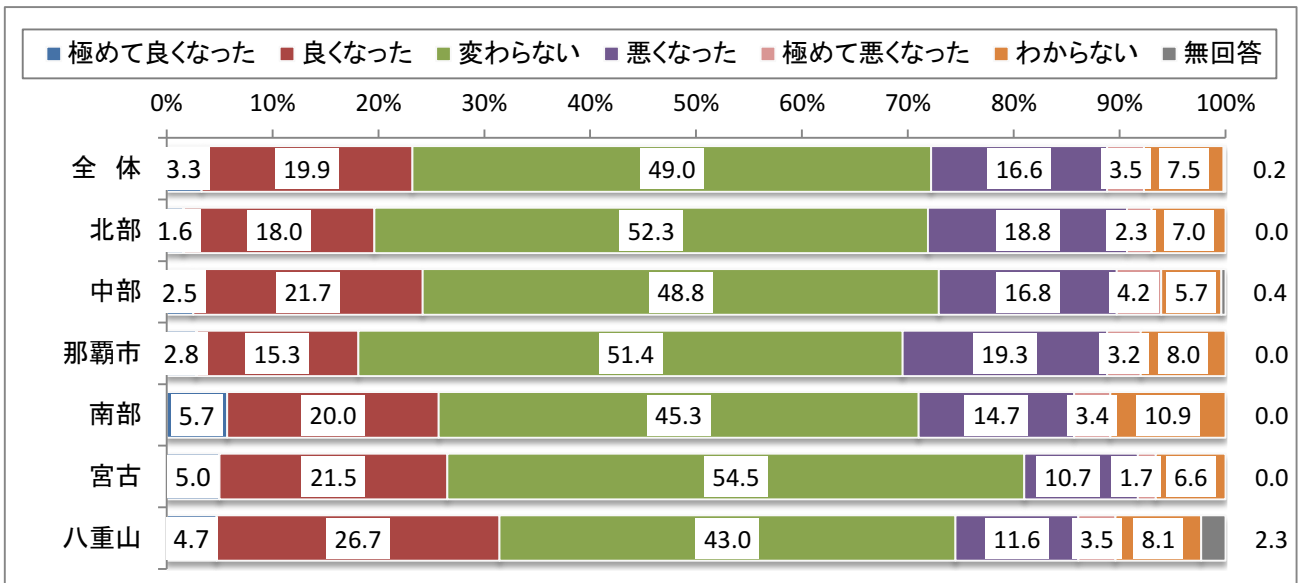
世帯年収別にみると、「悪くなった」の割合は、200万円以上700万円未満では1割程であるが、200万円以下では2割を超えて特に高くなっている。

就業上の地位別にみると、「良くなった」の割合は、雇用者－役員(34.6%)で最も高く、次いで自営業者(28.0%)となっている。

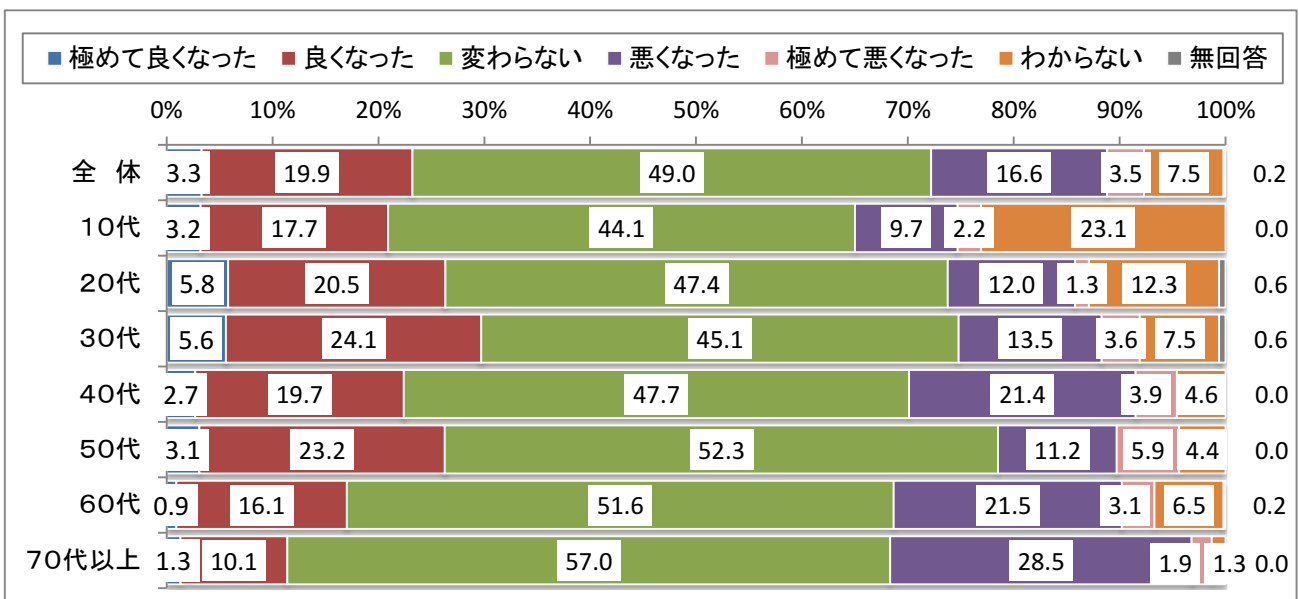
図表Ⅱ-3-25 生活状態の意識 [時系列比較]



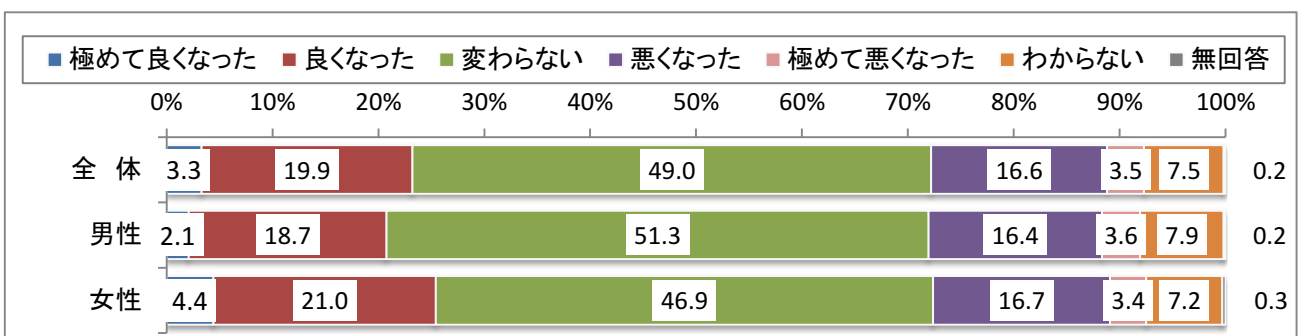
図表 II - 3 - 26 生活状態の意識 [地域別]



図表 II - 3 - 27 生活状態の意識 [年代別]

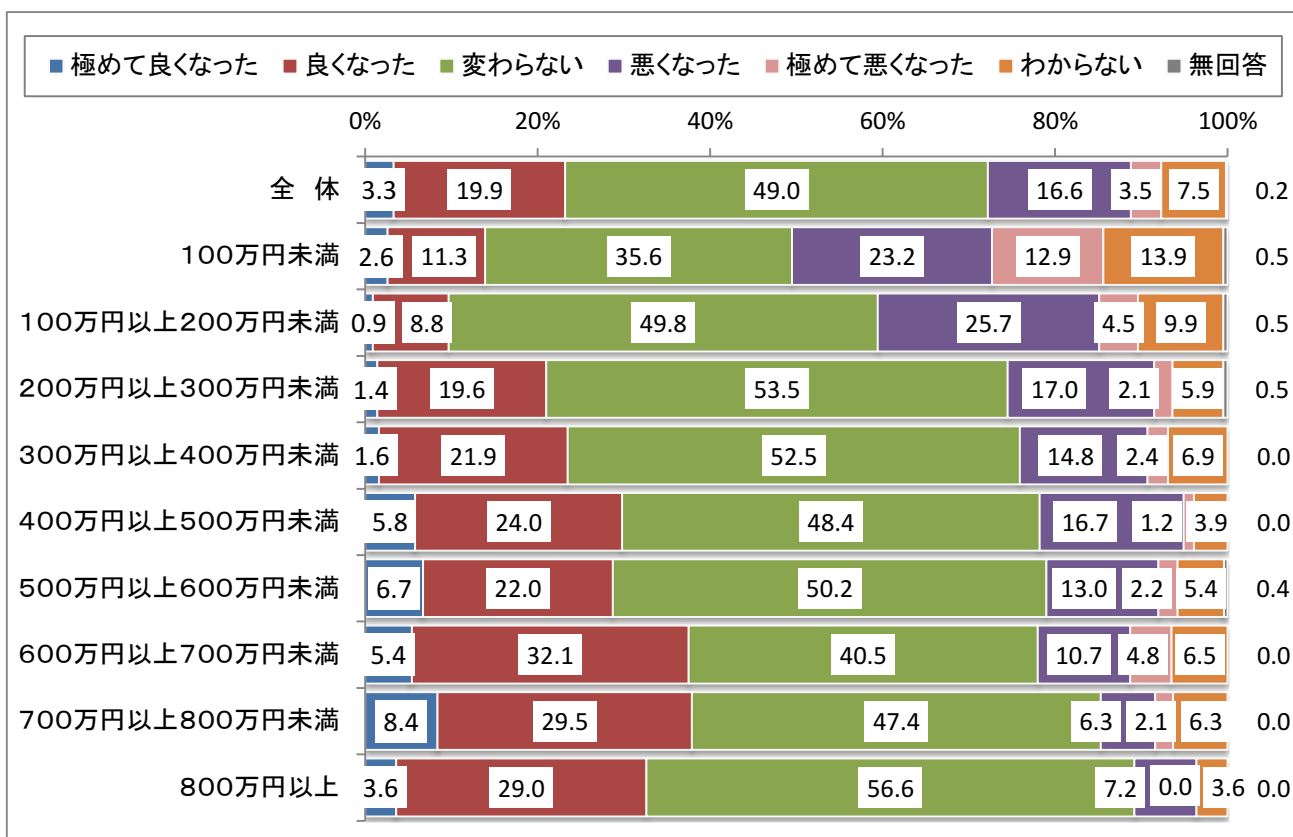


図表 II - 3 - 28 生活状態の意識 [性別]

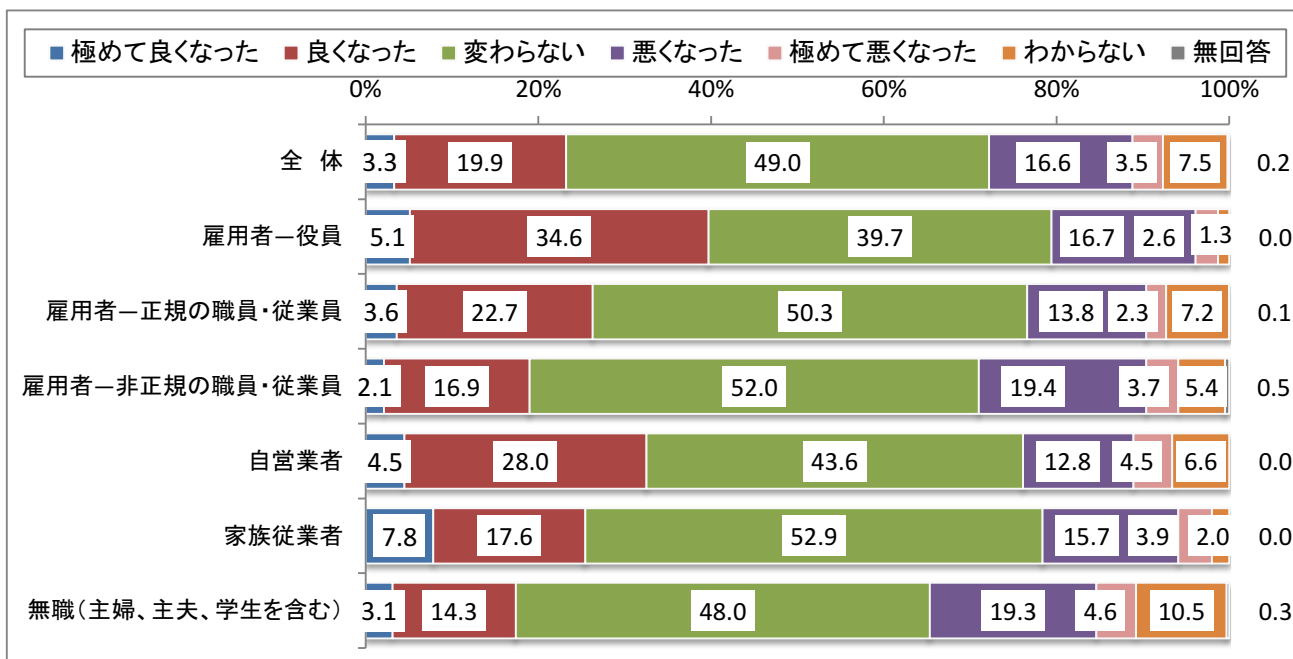


II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-29 生活状態の意識 [世帯年収別]



図表Ⅱ-3-30 生活状態の意識 [従業上の地位別]



(3) 生活状態の見通し

今後の生活状態の見通しについて、「変わらないと思う」(39.4%)の割合が最も高く、次いで「良くなると思う」(20.4%)、「悪くなると思う」(18.0%)となっている。

時系列でみると、「良くなると思う」の割合は平成2年の調査から平成21年の調査にかけて減少し、その後は緩やかに上昇をしている。一方、「悪くなると思う」の割合については、平成2年の調査から上昇し、平成21年(27.0%)の調査を頂点に、その後は減少をしている。

地域別にみると、「極めて良くなると思う」では南部(6.4%)、「良くなると思う」では宮古(28.1%)、「変わらないと思う」では宮古(42.1%)で他の地域と比べて高くなっている。

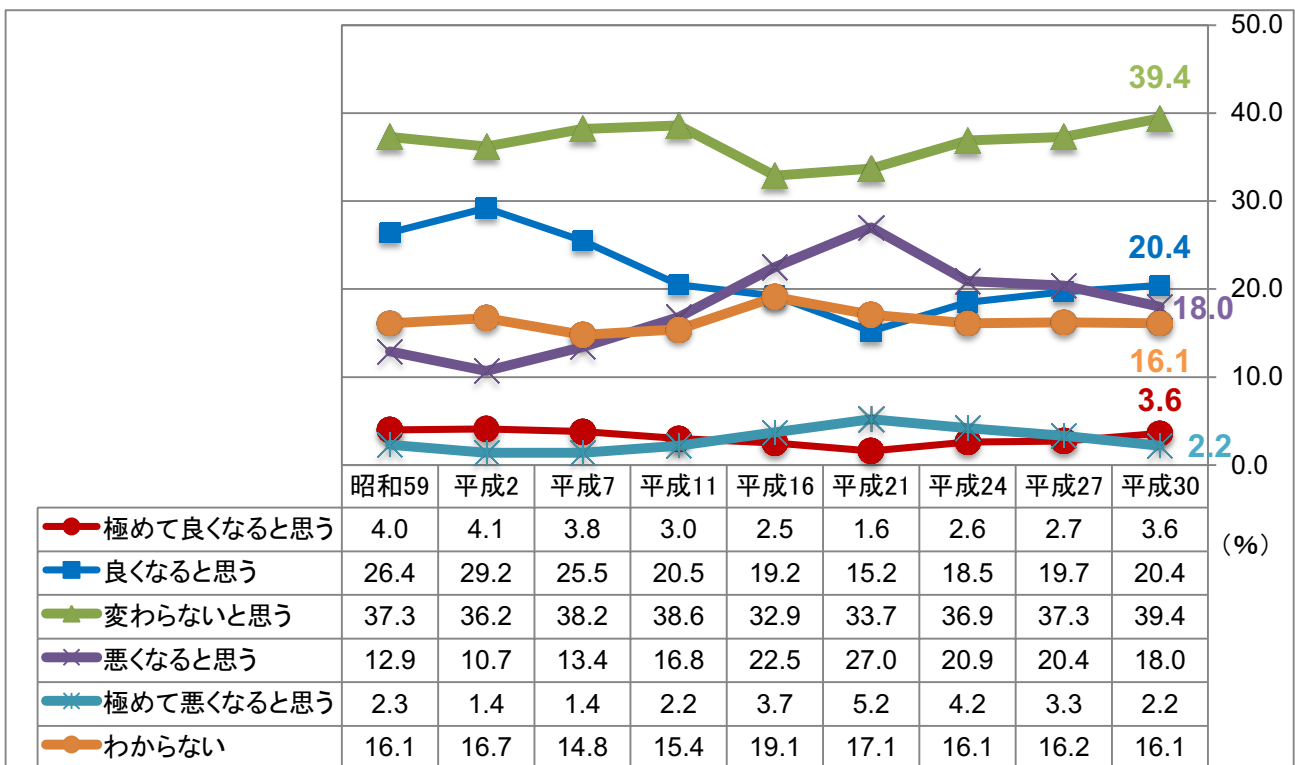
年代別にみると、「極めて良くなると思う」の割合は20代(9.7%)で最も高い。

性別でみると、男女の差はほとんどみられない。

世帯年収別にみると、「悪くなると思う」の割合は100万円以上300万円未満と400万円以上500万円未満で全体(18.0%)を超える。「わからない」の割合は300万円以下で2割となる。

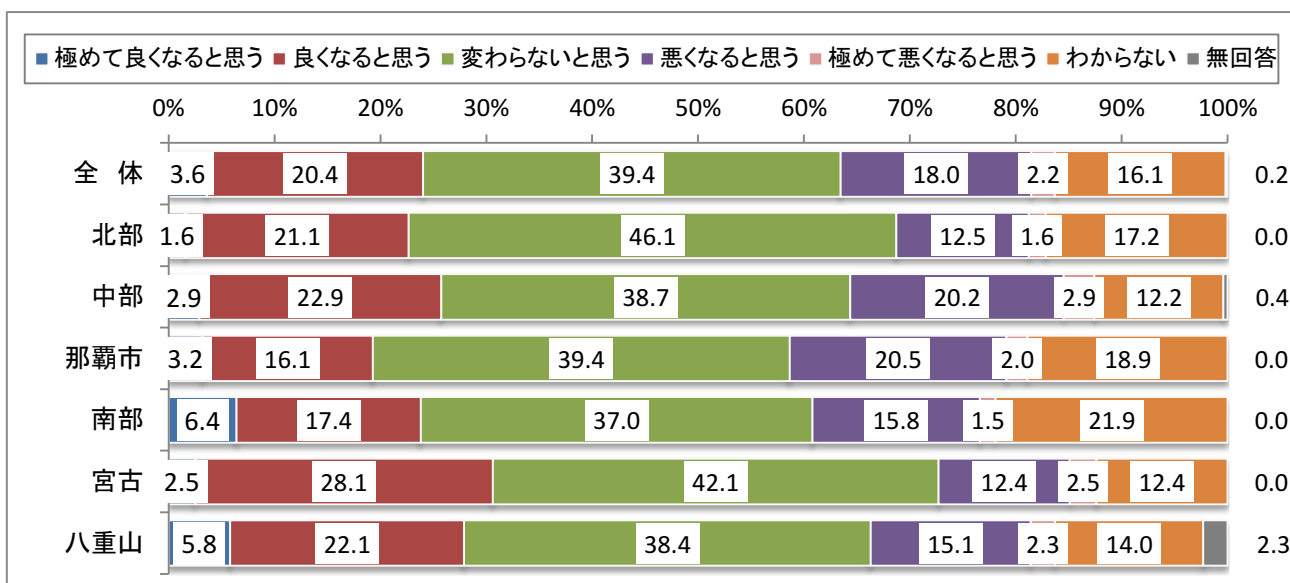
従業上の地位別にみると、家族従業者では「極めて良くなると思う」(7.8%)、「悪くなると思う」(21.6%)の割合が他の従業地位と比べて高くなっている。

図表 II - 3 - 31 生活状態の見通し [時系列比較]

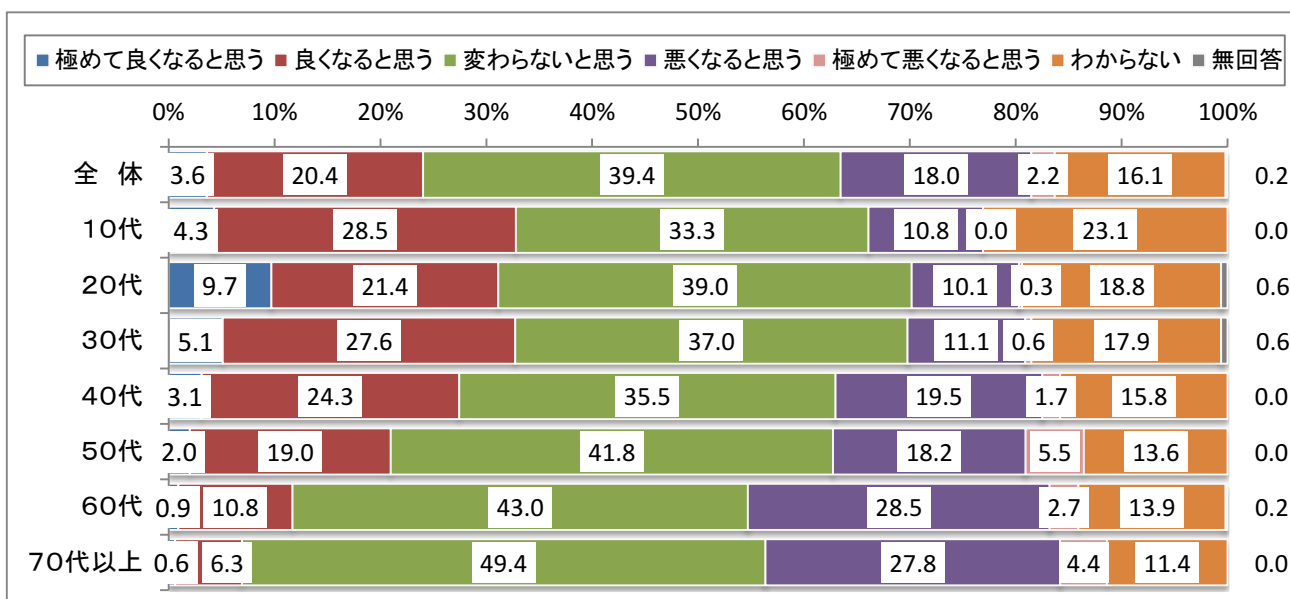


II 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

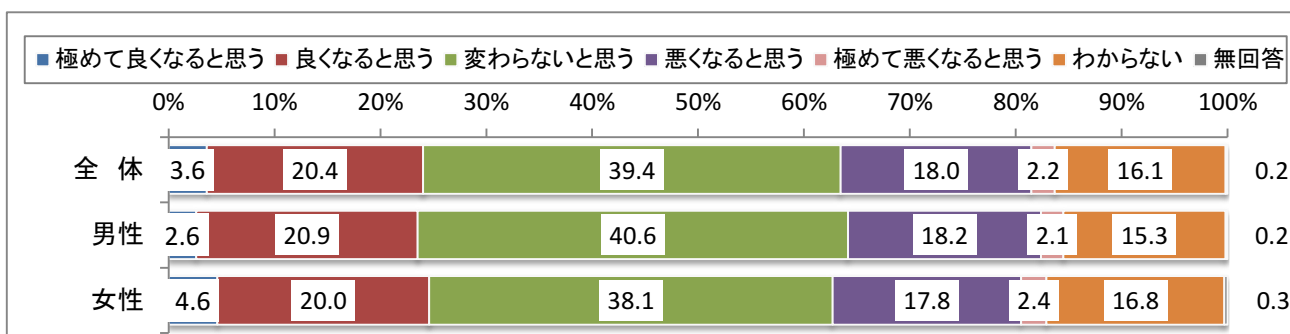
図表 II - 3 - 32 生活状態の見通し [地域別]



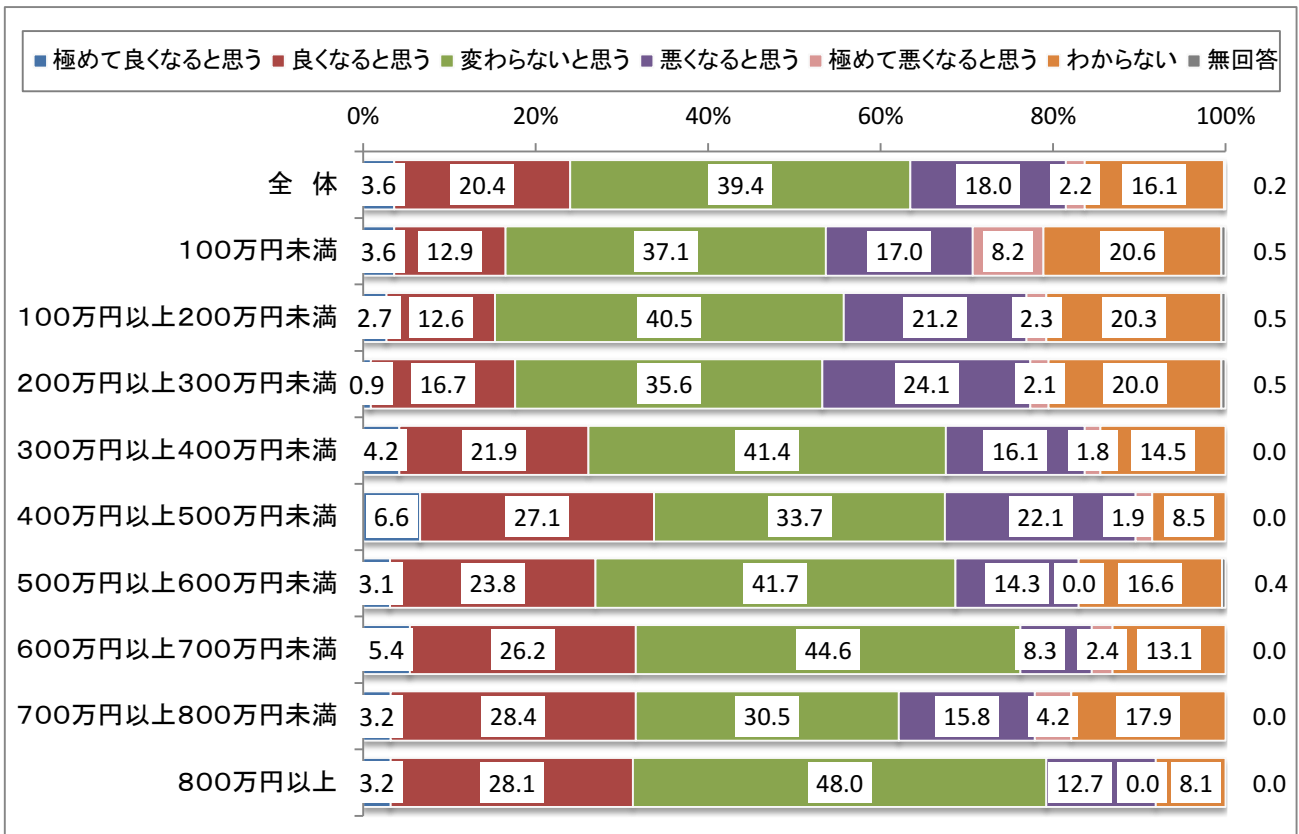
図表 II - 3 - 33 生活状態の見通し [年代別]



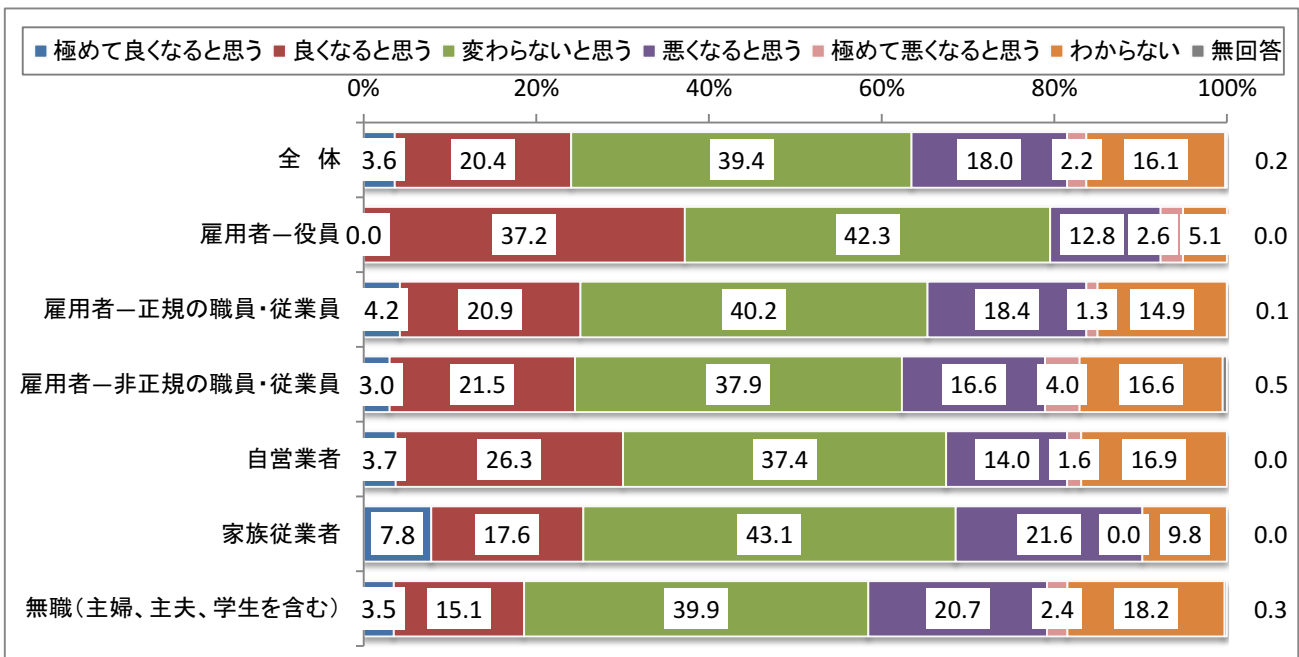
図表 II - 3 - 34 生活状態の見通し [性別]



図表Ⅱ-3-35 生活状態の見通し [世帯年収別]



図表Ⅱ-3-36 生活状態の見通し [従業上の地位別]



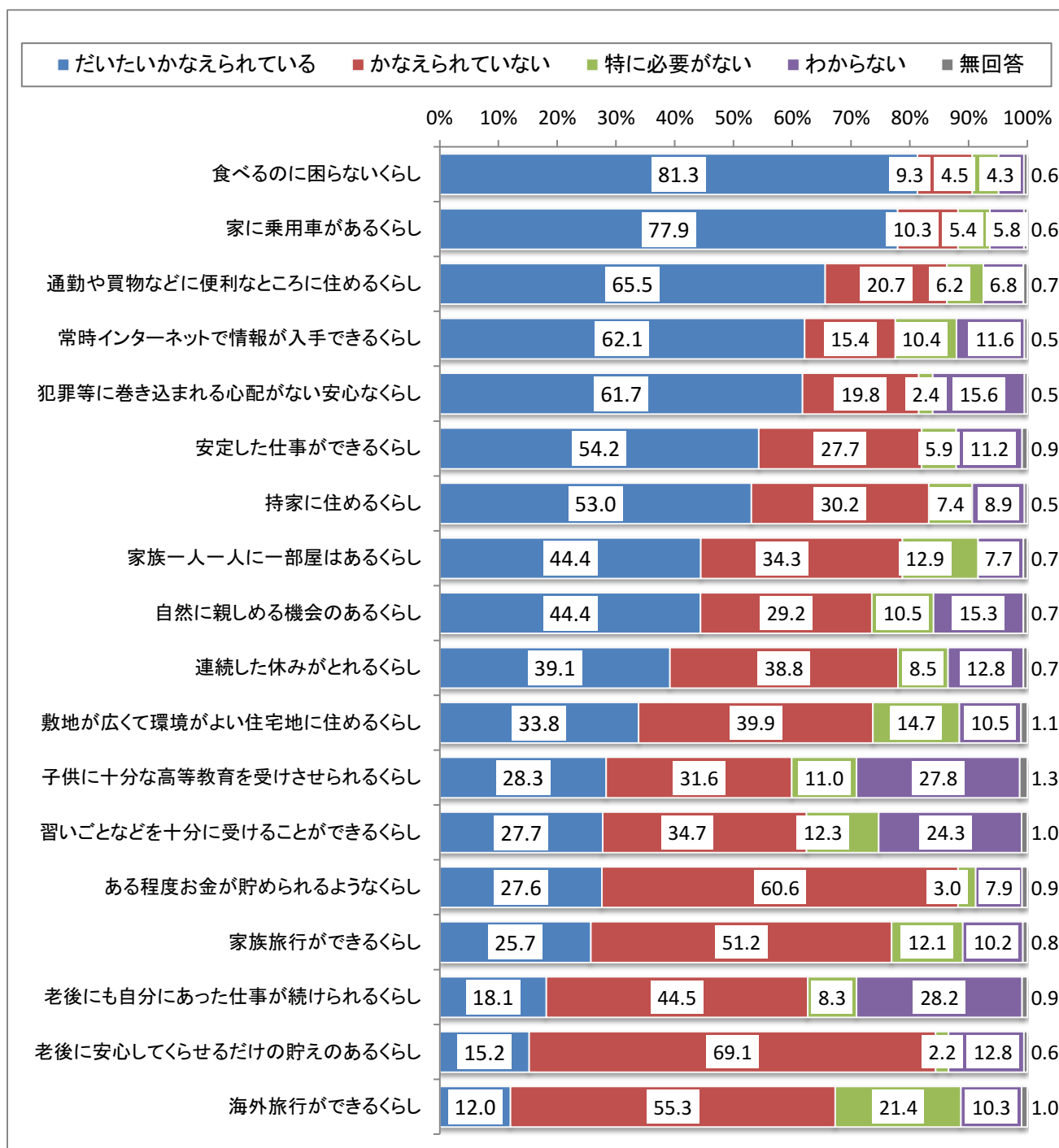
3. 生活状態（くらしむき）の達成度と希望（問9）

（1）生活状態の達成度と希望

生活状態の達成と希望について、「だいたいかなえられている」の割合は「食べるのに困らないくらし」（81.3%）が最も高く、次いで、「家に乗用車があるくらし」（77.9%）、「通勤や買物などに便利なところに住めるくらし」（65.5%）となっている。

時系列でみると、18項目中14項目で前回調査より割合が高まっている。また、「安定した仕事ができるくらし」割合は平成16年調査以降、割合が高まっている。

図表Ⅱ-3-37 達成度と希望の状況（%）



Ⅱ 本調査の結果 第3章 生活領域の政策課題

図表Ⅱ-3-38 生活状態達成度 (%)

(%)	平成30	平成27	平成24	平成21	平成16	平成11	平成7
食べるのに困らない暮らし	81.3	79.8	79.0	77.0	81.6	80.4	85.6
安定した仕事ができる暮らし	54.2	50.6	46.3	45.7	42.8	47.0	52.5
ある程度お金が貯められるよう暮らし	27.6	26.1	23.9	20.7	22.8	23.2	26.1
老後に安心してらせるだけの貯えのある暮らし	15.2	15.6	15.0	11.4	11.8	10.4	12.1
老後にも自分にあった仕事が続けられる暮らし	18.1	16.6	14.3	11.7	11.5	11.4	12.9
子供に十分な高等教育を受けさせられる暮らし	28.3	29.4	25.6	24.5	26.1	26.3	29.1
習いごとなどを十分に受けることができる暮らし	27.7	27.0	23.9	20.2	24.6	23.9	25.8
家に乗用車がある暮らし	77.9	79.7	76.9	77.2	81.0	78.7	76.7
常時インターネットで情報が入手できる暮らし	62.1	55.5	47.9	39.5	0.0	0.0	0.0
持家に住める暮らし	53.0	50.6	50.2	47.6	51.0	48.4	45.8
家族一人一人に一部屋はある暮らし	44.4	41.7	41.2	37.2	42.1	38.7	37.7
敷地が広くて環境がよい住宅地に住める暮らし	33.8	34.9	32.8	31.7	32.0	29.7	27.7
通勤や買物などに便利なところに住める暮らし	65.5	63.8	63.1	61.0	62.2	58.4	61.4
犯罪等に巻き込まれる心配がない安心な暮らし	61.7	60.4	52.2	54.9	48.8	0.0	0.0
連続した休みがとれる暮らし	39.1	35.7	30.3	29.9	29.8	28.8	27.7
家族旅行ができる暮らし	25.7	24.2	19.2	17.8	17.4	16.9	15.9
海外旅行ができる暮らし	12.0	11.1	10.4	7.7	7.3	8.6	7.2
自然に親しめる機会のある暮らし	44.4	43.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

第4章 日常の生活空間に対する認識

1. 居住地に対する希望（問6）

（1）居住の意向

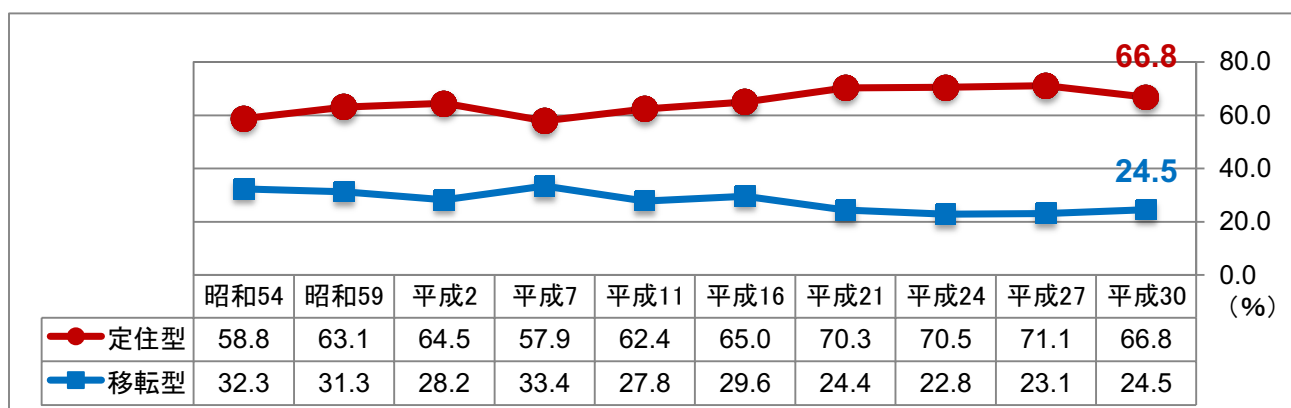
今住んでいるところに今後も住みたいと思うかについては、定住型(住みたいと思う)の回答の割合は66.8%、移転型(よそに移りたいと思う)の回答は24.5%となっている。

昭和54年からの調査と比較すると、定住型の割合は、移転型の割合よりも一貫して多い。平成27年と比較すると定住型の割合は減少し、移転型の割合はやや上昇している。

地域別にみると、定住型の割合は宮古(76.9%)、次いで中部(71.8%)と高い。一方、移転型は南部(35.1%)、次いで北部(29.7%)と続く。

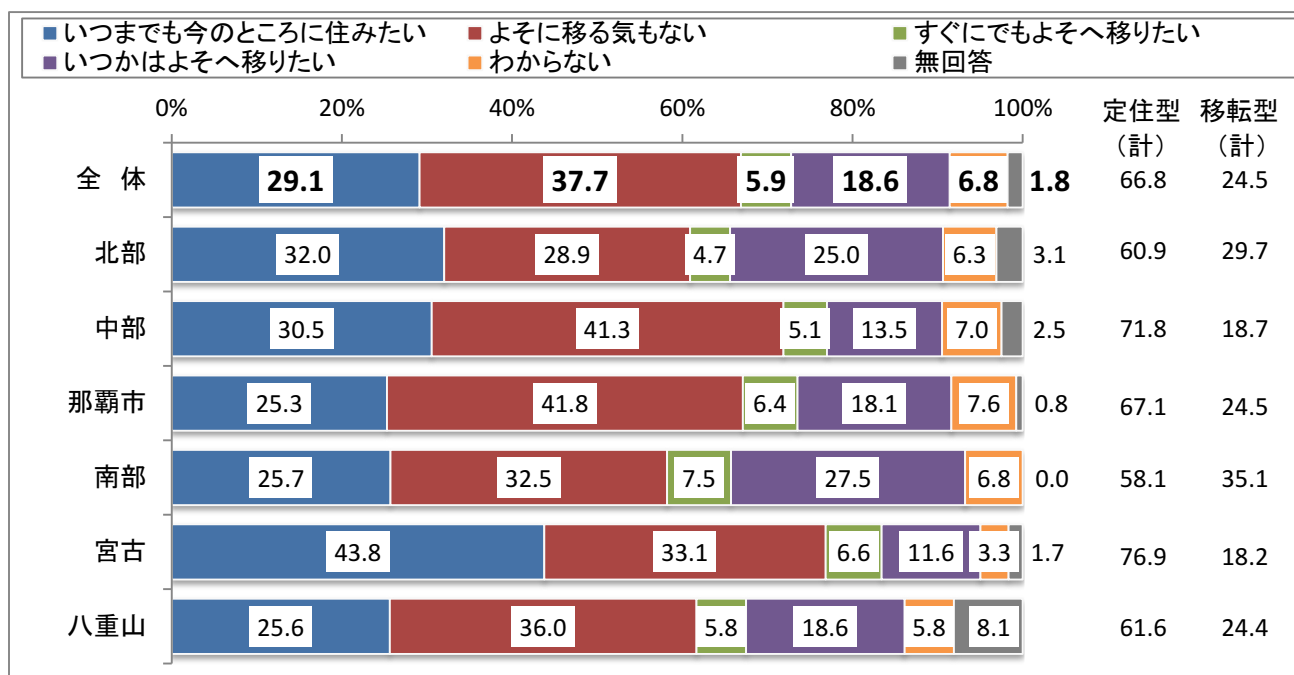
年代別にみると、定住型の10代の割合が48.9%に対して70代以上の割合は86.1%と年代が高くなるにつれて定住型の傾向が高くなっている。移転型は、10代の割合が33.3%に対して70代以上は11.4%と若年層の割合が高くなっている。

図表Ⅱ-4-1 居住の意向 [時系列比較]

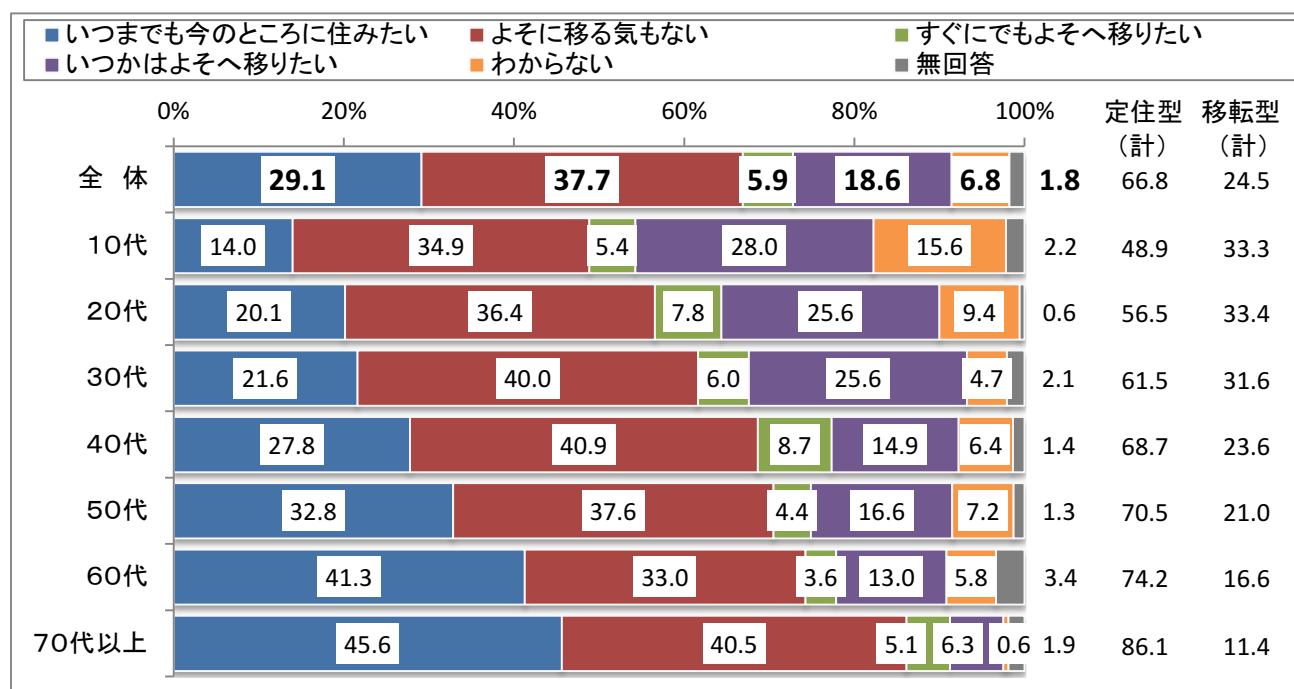


Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-2 居住の意向〔地域別〕



図表Ⅱ-4-3 居住の意向〔年代別〕



II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

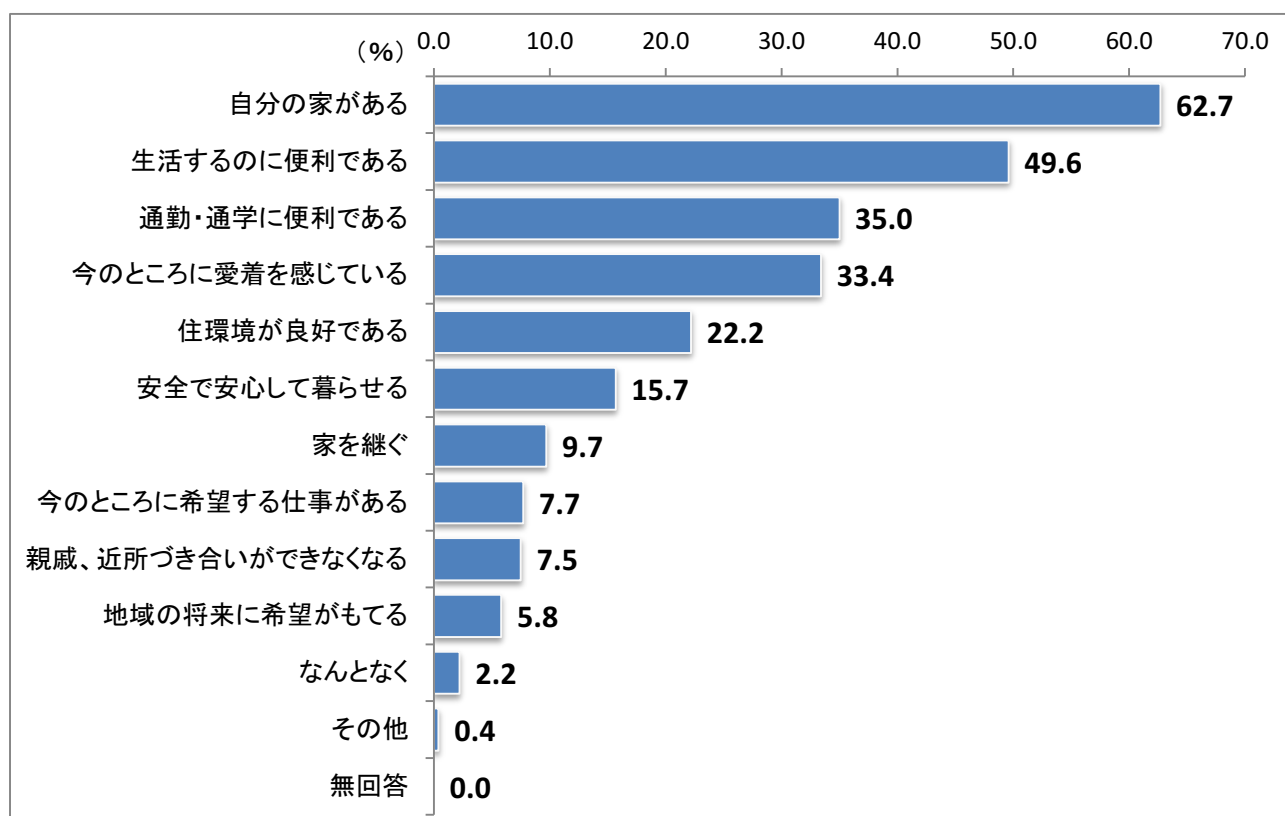
(2) 定住希望の理由

今のところに住みたい理由については、「自分の家がある」(62.7%)の割合が高く、次いで「生活するのに便利である」(49.6%)、「通勤・通学に便利である」(35.0%)、「今のところに愛着を感じている」(33.4%)が上位となる。

地域別にみると、北部、八重山、南部が「自分の家がある」の割合が上位となり、那覇市が「通勤・通学に便利である」「生活するのに便利である」の割合が他地域よりも高い。北部は「今のところに愛着を感じている」の割合が他地域よりも上回っている。

年代別にみると、50代～70代以上は「自分の家がある」の割合が7割以上と高く、70代以上は「住環境が良好である」「安全で安心して暮らせる」の割合が他年代よりも高い。

図表Ⅱ-4-4 定住希望の理由



Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-5 定住希望の理由 [地域別]

(%)	自分の家が ある	地域の将来に 希望がある	通勤・通学に 便利である	希望する仕事 がある	今のところ ない	親戚、近所 に合えない	住環境が 良好である	安全で安心 な暮らし	生活する のに便利	愛着を感じ ている	今のところ ない	家を継ぐ	なんとなく	その他	無回答
全体	62.7	5.8	35.0	7.7	7.5	22.2	15.7	49.6	33.4	9.7	2.2	0.4	0.0		
北部	71.8	2.6	25.6	12.8	5.1	21.8	21.8	38.5	42.3	14.1	1.3	0.0	0.0		
中部	62.1	5.8	36.9	5.0	9.3	21.5	11.1	52.0	31.8	10.3	2.7	0.3	0.0		
那覇市	58.1	6.0	47.9	8.4	4.8	22.2	13.2	61.1	29.3	2.4	3.0	0.0	0.0		
南部	65.6	7.1	24.7	7.1	8.4	26.0	22.7	39.0	35.7	12.3	0.6	1.3	0.0		
宮古	58.1	4.3	29.0	14.0	4.3	19.4	25.8	47.3	34.4	11.8	3.2	0.0	0.0		
八重山	66.0	9.4	24.5	17.0	5.7	17.0	20.8	41.5	39.6	13.2	0.0	0.0	0.0		

図表Ⅱ-4-6 定住希望の理由 [年代別]

(%)	自分の家が ある	地域の将来に 希望がある	通勤・通学に 便利である	希望する仕事 がある	今のところ ない	親戚、近所 に合えない	住環境が 良好である	安全で安心 な暮らし	生活する のに便利	愛着を感じ ている	今のところ ない	家を継ぐ	なんとなく	その他	無回答
全体	62.7	5.8	35.0	7.7	7.5	22.2	15.7	49.6	33.4	9.7	2.2	0.4	0.0		
10代	59.3	6.6	44.0	6.6	8.8	24.2	11.0	41.8	29.7	5.5	4.4	0.0	0.0		
20代	48.9	11.5	38.5	10.3	10.3	14.9	15.5	47.7	37.4	5.7	5.2	1.1	0.0		
30代	38.2	6.6	38.9	4.2	9.4	24.7	12.8	49.0	34.7	8.3	4.9	0.0	0.0		
40代	57.3	4.8	46.1	7.6	7.9	18.0	12.9	54.5	31.2	10.1	0.3	1.1	0.0		
50代	72.7	5.3	36.0	10.9	6.2	18.9	16.1	43.5	35.7	14.3	0.9	0.0	0.0		
60代	82.8	3.9	21.8	7.9	4.8	27.8	18.4	53.5	29.3	10.9	1.2	0.0	0.0		
70代以上	76.5	5.1	16.9	4.4	7.4	30.1	25.0	50.7	38.2	5.1	1.5	0.0	0.0		

II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

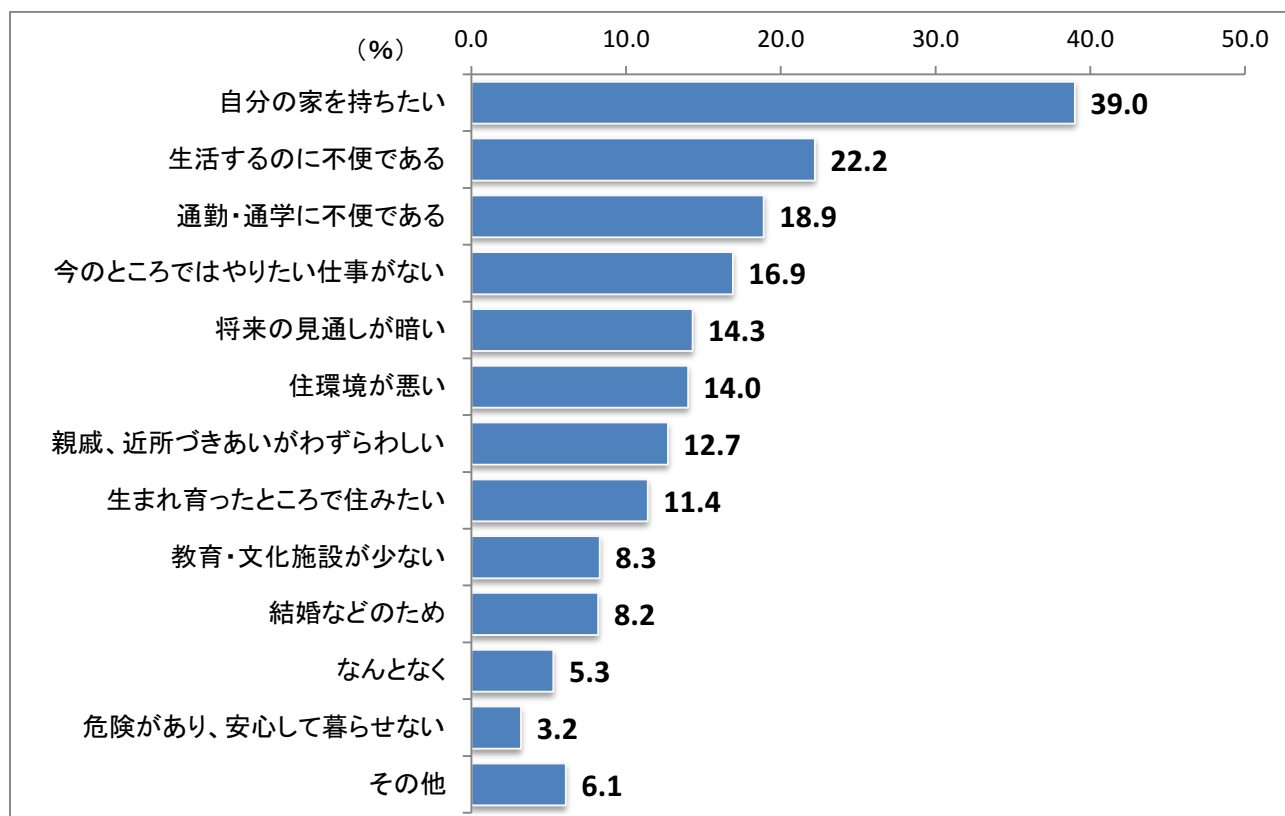
(3) 移転希望の理由

よそに移りたい理由については、「自分の家を持ちたい」(39.0%)の割合が高く、次いで「生活するのに不便である」(22.2%)、「通勤・通学に不便である」(18.9%)が上位となる。

地域別にみると、那覇市と南部が「自分の家を持ちたい」の割合が高く、北部が「通勤・通学に不便である」、中部が「住環境が悪い」、八重山が「生活するのに不便である」の割合が他地域よりも高い。

年代別にみると、10代が「将来の見通しが暗い」の割合が高く、30代が「教育・文化施設が少ない」、50代が「生活するのに不便である」、60代が「親戚、近所づきあいがわずらわしい」、70代以上が「住環境が悪い」の割合が他年代よりも高くなっている。

図表Ⅱ-4-7 移転希望の理由



II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-8 移転希望の理由〔地域別〕

(%)	ち 自 分 の 家 を 持 たい	が 将 来 の 見 通 し が 暗 い	不 通 勤 で ・ 通 学 に あ る	事 が や り な い た い ら い ろ う 仕 で	今 の と こ ろ に は あ い ま は あ い ま は あ い ま は	ら わ い し い が わ ず づ わ ず づ	親 戚 ・ 近 所 に あ い ま は あ い ま は	住 環 境 が 悪 い	せ あ ん 心 な い し て 暮 ら す	危 険 が あ り 、 あ い ま は あ い ま は	不 便 で あ る の に あ い ま は	生 活 す る の に あ い ま は	た い と こ ろ で 住 み た い	生 ま れ た と こ ろ で 住 み た い	め 結 婚 な ど の た い	設 教 育 ・ 少 な い 文 化 施 な い	な ん と な く	そ の 他	無 回 答
全 体	39.0	14.3	18.9	16.9	12.7	14.0	3.2	22.2	11.4	8.2	8.3	5.3	6.1	0.0					
北部	28.9	7.9	28.9	21.1	7.9	5.3	0.0	34.2	15.8	10.5	21.1	7.9	5.3	0.0					
中部	36.7	17.3	19.4	21.4	12.2	25.5	6.1	15.3	5.1	8.2	3.1	3.1	5.1	0.0					
那覇市	44.3	9.8	13.1	14.8	19.7	16.4	3.3	6.6	8.2	11.5	4.9	6.6	4.9	0.0					
南部	44.1	16.1	20.4	14.0	10.8	4.3	1.1	31.2	17.2	6.5	7.5	5.4	7.5	0.0					
宮古	36.4	18.2	4.5	4.5	13.6	13.6	4.5	22.7	13.6	4.5	22.7	9.1	13.6	0.0					
八重山	23.8	14.3	14.3	9.5	9.5	9.5	4.8	52.4	19.0	0.0	23.8	4.8	4.8	0.0					

図表Ⅱ-4-9 移転希望の理由〔年代別〕

(%)	ち 自 分 の 家 を 持 たい	が 将 来 の 見 通 し が 暗 い	不 通 勤 で ・ 通 学 に あ る	事 が や り な い た い ら い ろ う 仕 で	今 の と こ ろ に は あ い ま は あ い ま は	ら わ い し い が わ ず づ わ ず づ	親 戚 ・ 近 所 に あ い ま は あ い ま は	住 環 境 が 悪 い	せ あ ん 心 な い し て 暮 ら す	危 険 が あ り 、 あ い ま は あ い ま は	不 便 で あ る の に あ い ま は	生 活 す る の に あ い ま は	た い と こ ろ で 住 み た い	生 ま れ た と こ ろ で 住 み た い	め 結 婚 な ど の た い	設 教 育 ・ 少 な い 文 化 施 な い	な ん と な く	そ の 他	無 回 答
全 体	39.0	14.3	18.9	16.9	12.7	14.0	3.2	22.2	11.4	8.2	8.3	5.3	6.1	0.0					
10代	40.3	24.2	29.0	24.2	0.0	1.6	1.6	14.5	1.6	0.0	4.8	9.7	6.5	0.0					
20代	43.7	15.5	26.2	20.4	9.7	3.9	0.0	29.1	6.8	12.6	8.7	4.9	4.9	0.0					
30代	43.2	11.5	19.6	10.8	11.5	12.2	4.7	17.6	11.5	14.9	16.2	5.4	2.0	0.0					
40代	38.5	13.9	16.4	14.8	16.4	19.7	8.2	18.9	10.7	6.6	7.4	4.9	9.0	0.0					
50代	26.0	11.5	14.6	25.0	14.6	20.8	2.1	30.2	16.7	6.3	7.3	2.1	10.4	0.0					
60代	41.9	14.9	8.1	14.9	24.3	18.9	0.0	23.0	17.6	2.7	0.0	5.4	4.1	0.0					
70代以上	33.3	11.1	22.2	0.0	0.0	33.3	0.0	22.2	22.2	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0					

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

(4) 移転希望先

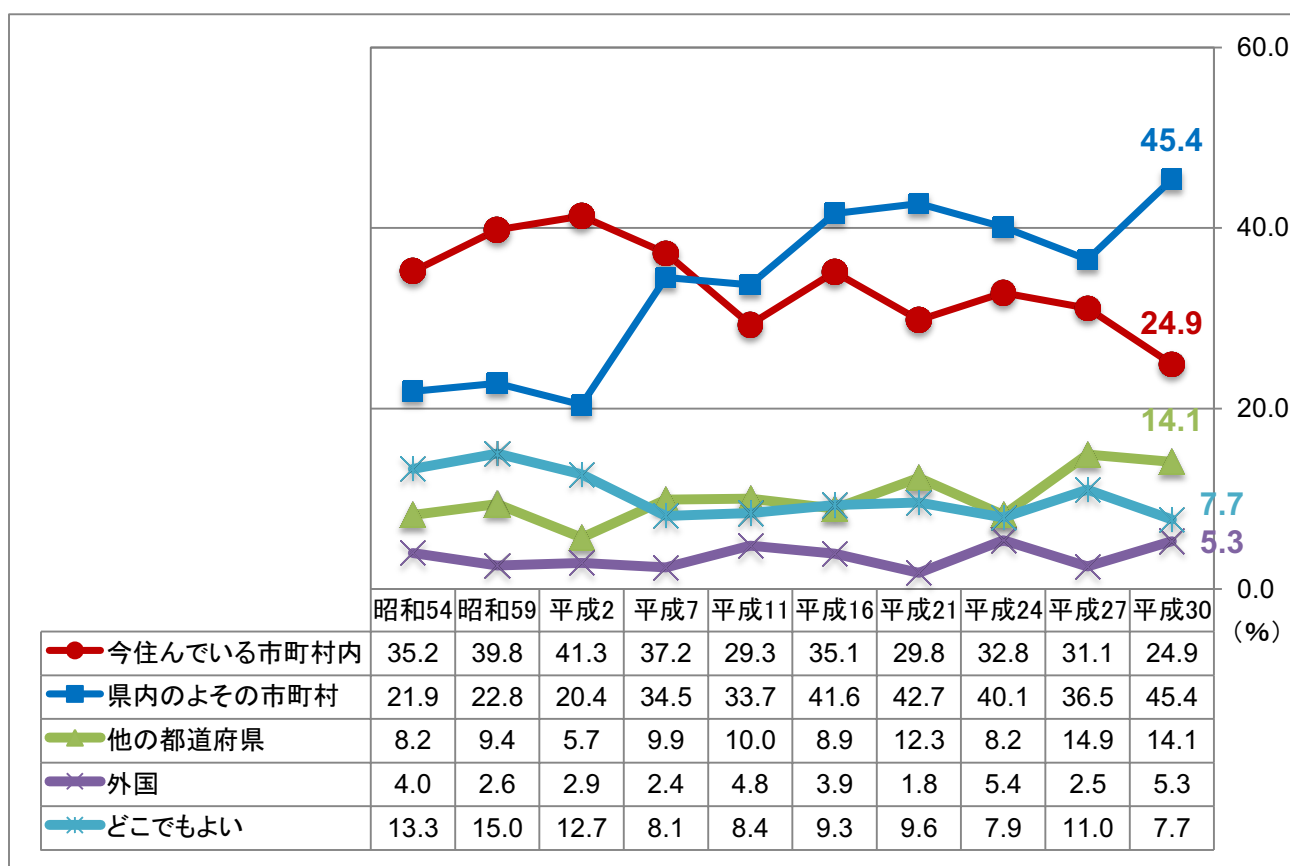
よそに移りたいと回答した方の移転希望先については、「県内のよその市町村」(45.4%)の割合が高く、次いで「今住んでいる市町村内」(24.9%)、「他の都道府県」(14.1%)が上位となる。

過去の調査結果にみると、「県内のよその市町村」の割合が上昇している。一方、「今住んでいる市町村内」の割合が減少している。

地域別にみると、南部と北部で「県内のよその市町村」の割合が6割程と高く、八重山で「他の都道府県」の割合が4割、宮古と那覇市が「今住んでいる市町村内」の割合が3割強と高い。

年代別にみると、10代が「他の都道府県」「外国」の割合が高く、70代以上が「今住んでいる市町村内」の割合が高くなっている。若年層は県外・海外志向が高く、高齢者層は県内移動志向が高い傾向がある。

図表Ⅱ-4-10 移転先希望 [時系列比較]



Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-11 移転先希望 [地域別]

(%)	る今 市住 町ん 村で 内い	の県 市内 町の 村よ そ	県他 の都 道府	外国	いど こで もよ	無 回 答
全 体	24.9	45.4	14.1	5.3	7.7	2.6
北部	10.5	57.9	21.1	2.6	5.3	2.6
中部	29.6	41.8	12.2	7.1	7.1	2.0
那覇市	34.4	26.2	19.7	8.2	4.9	6.6
南部	18.3	60.2	7.5	3.2	9.7	1.1
宮古	36.4	40.9	9.1	4.5	9.1	0.0
八重山	23.8	19.0	38.1	0.0	19.0	0.0

図表Ⅱ-4-12 移転先希望 [年代別]

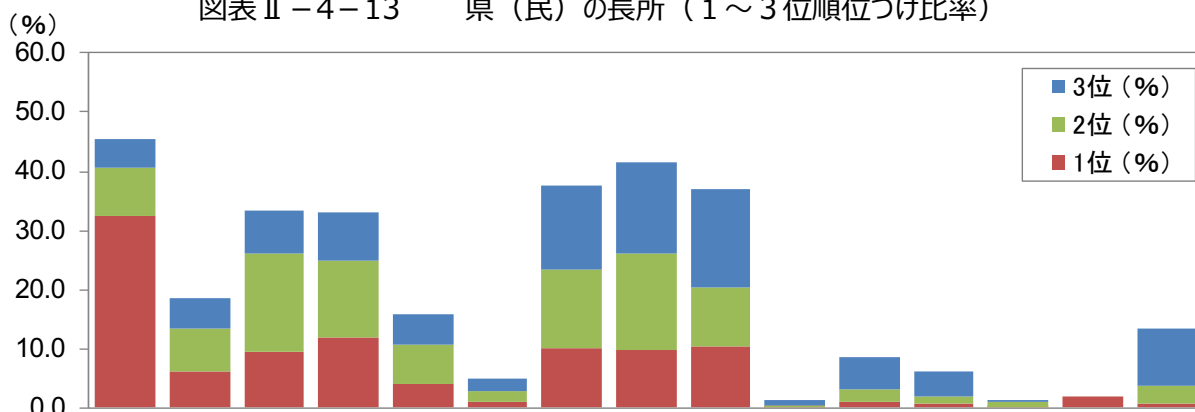
(%)	る今 市住 町ん 村で 内い	の県 市内 町の 村よ そ	県他 の都 道府	外国	いど こで もよ	無 回 答
全 体	24.9	45.4	14.1	5.3	7.7	2.6
10代	11.3	25.8	41.9	12.9	4.8	3.2
20代	20.4	45.6	13.6	9.7	6.8	3.9
30代	25.7	49.3	12.2	4.1	8.8	0.0
40代	27.0	48.4	7.4	3.3	12.3	1.6
50代	30.2	51.0	12.5	4.2	2.1	0.0
60代	23.0	41.9	12.2	1.4	10.8	10.8
70代以上	55.6	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0

2. 県（民）の長所・短所（問7）

（1）県（民）の長所

本県あるいは県民の長所について、13項目から優先順に1～3位の順位をつけて選んでもらったところ、1～3位の合計比率は「人情が厚い」（45.5%）の割合が最も高く、以下「のんびりしている」（41.4%）、「独特の文化がある」（37.7%）、「気候が温暖である」（37.0%）が4割前後で続いている。

図表Ⅱ-4-13 県（民）の長所（1～3位順位づけ比率）



	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が	自然環境に恵まれ	み景観がある	沖縄独特のまちな	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない	無回答
1位 (%)	32.4	6.2	9.6	11.9	3.9	1.0	10.2	9.9	10.3	0.2	1.1	0.6	0.2	1.8	0.6	
2位 (%)	8.1	7.1	16.4	13.0	6.8	1.8	13.1	16.3	9.9	0.3	2.1	1.3	0.7	-	3.1	
3位 (%)	5.0	5.3	7.2	8.1	5.2	2.2	14.4	15.2	16.8	0.7	5.5	4.1	0.3	-	9.8	
合計 (%)	45.5	18.6	33.1	32.9	16.0	5.1	37.7	41.4	37.0	1.2	8.7	6.0	1.3	1.8	0.6	
加重平均	—	19.7	6.3	11.4	11.6	5.1	1.5	11.9	12.9	11.2	0.3	2.1	1.4	0.4	0.9	3.0

II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

加重平均により過去の調査と比較すると、平成16年以降「人情が厚い」「長寿県である」の割合が減少している。平成24年以降「沖縄独特のまちなみ景観がある」の割合が上昇している。

地域別にみると、1～3位の合計比率は北部、中部、南部は「人情が厚い」の割合が他項目の中で最も高い。那覇市は「気候が温暖である」、宮古は「のんびりしている」、八重山は「自然環境に恵まれている」の割合が最も高い。

年代別にみると、10代、40代～60代が「人情が厚い」の割合が最も高く、20代、30代、70代が「のんびりしている」の割合が最も高くなる。

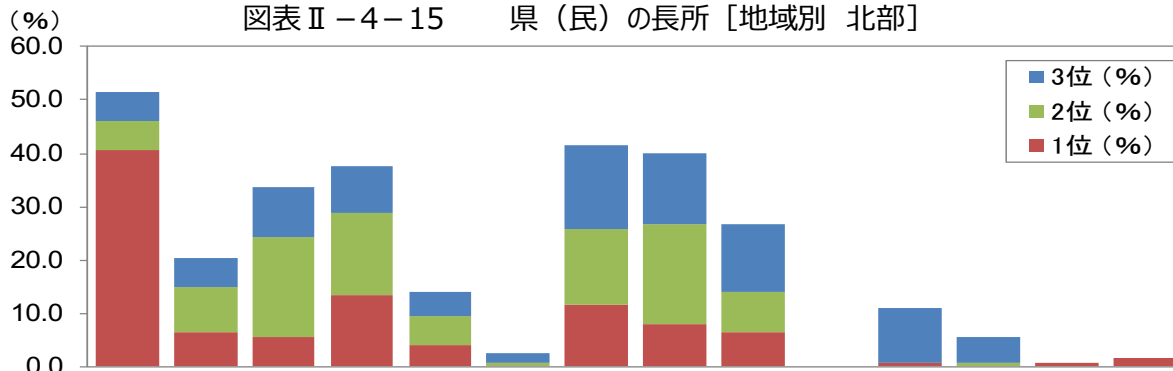
県外居住経験別にみると、全ての居住者で「人情が厚い」もしくは「のんびりしている」の割合が高く、次いで「独特の文化」「気候が温暖である」が続いている。

図表Ⅱ-4-14 県（民）の長所 [時系列比較・加重平均]

(%)	人情が厚い	素朴である	神助がつけ合いの精	ま自然環境に恵	あちなみ独特の景観がま	沖縄独特のま	国際的である	あ独特の文化が	いのんびりして	あ気候が温暖で	あ進取の気性が	開放的である	長寿県である	その他
平成30	19.7	6.3	11.4	11.6	5.1	1.5	11.9	12.9	11.2	0.3	2.1	1.4	0.4	
平成27	20.4	6.7	13.9	10.8	4.8	1.1	11.9	12.6	11.5	0.1	2.0	1.8	0.3	
平成24	20.3	7.3	12.4	7.7	4.3	1.0	12.5	13.3	12.8	0.4	2.3	2.4	0.3	
平成21	20.8	5.9	13.1	11.3	0.0	0.9	14.0	11.1	16.6	0.1	2.0	3.9	0.3	
平成16	23.2	6.2	12.6	9.7	0.0	1.2	13.0	11.6	16.1	0.2	1.8	4.2	0.1	
平成11	18.5	5.6	9.6	5.4	0.0	1.9	11.6	8.7	14.9	0.2	1.6	4.5	0.2	
平成7	20.8	5.7	9.0	5.1	0.0	1.8	8.9	8.9	17.7	0.1	1.4	4.2	0.2	
平成2	27.3	6.7	9.0	0.0	0.0	1.5	8.0	9.3	15.9	0.2	1.3	0.0	0.2	
昭和59	26.1	8.0	9.6	0.0	0.0	1.2	8.8	8.6	13.0	0.2	1.6	0.0	0.2	

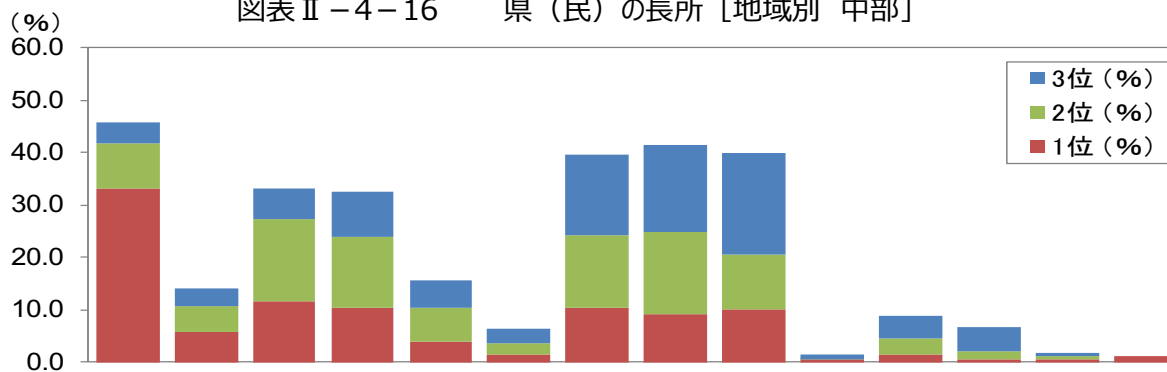
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-15 県(民)の長所 [地域別 北部]



(北部)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が	自然環境に恵まれて	み景観がある	沖縄独特のまちな	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	40.6	6.3	5.5	13.3	3.9	0.0	11.7	7.8	6.3	0.0	0.8	0.0	0.8	1.6	
2位 (%)	5.5	8.6	18.8	15.6	5.5	0.8	14.1	18.8	7.8	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	
3位 (%)	5.5	5.5	9.4	8.6	4.7	1.6	15.6	13.3	12.5	0.0	10.2	4.7	0.0	0.0	
合計 (%)	51.6	20.3	33.6	37.5	14.1	2.3	41.4	39.8	26.6	0.0	10.9	5.5	0.8	1.6	
加重平均	23.0	6.9	10.5	13.3	4.6	0.5	13.2	12.4	7.8	0.0	2.1	1.0	0.4	0.8	

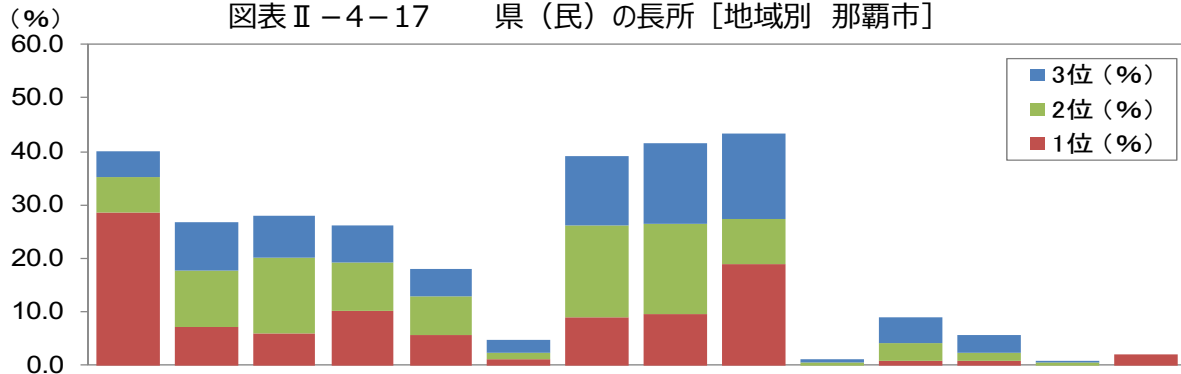
図表Ⅱ-4-16 県(民)の長所 [地域別 中部]



(中部)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が	自然環境に恵まれて	み景観がある	沖縄独特のまちな	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	33.1	5.7	11.6	10.3	3.8	1.3	10.5	9.1	9.9	0.4	1.5	0.6	0.4	1.0	
2位 (%)	8.6	5.1	15.6	13.7	6.7	2.3	13.7	15.8	10.7	0.2	3.0	1.5	0.8	0.0	
3位 (%)	4.2	3.2	5.9	8.4	5.0	2.7	15.4	16.6	19.2	0.8	4.2	4.6	0.4	0.0	
合計 (%)	45.9	14.1	33.1	32.4	15.4	6.3	39.6	41.5	39.8	1.3	8.8	6.7	1.5	1.0	
加重平均	20.1	5.1	12.0	11.1	5.0	1.9	12.4	12.6	11.7	0.4	2.5	1.6	0.5	0.5	

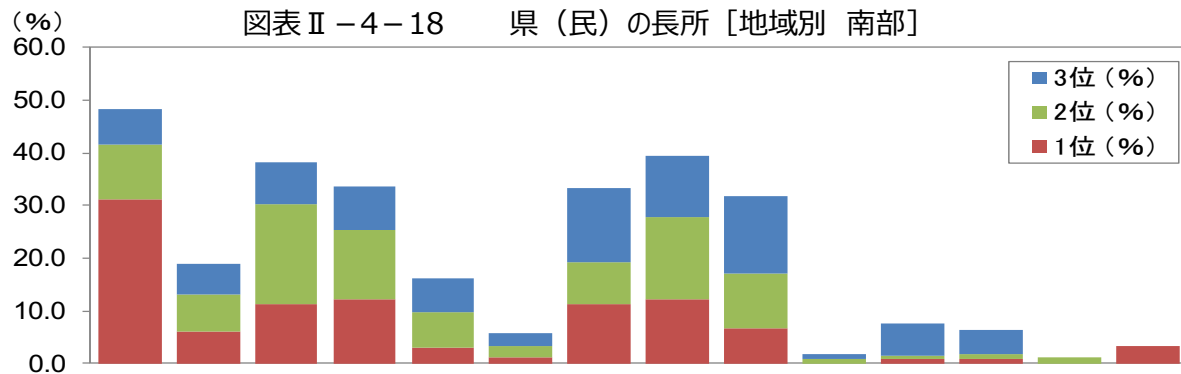
Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-17 県(民)の長所 [地域別 那覇市]



(那覇市)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	28.5	7.2	6.0	10.0	5.6	1.2	8.8	9.6	18.9	0.0	0.8	0.8	0.0	2.0
2位 (%)	6.8	10.4	14.1	9.2	7.2	1.2	17.3	16.9	8.4	0.4	3.2	1.6	0.4	0.0
3位 (%)	4.8	9.2	8.0	6.8	5.2	2.4	12.9	14.9	16.1	0.8	4.8	3.2	0.4	0.0
合計 (%)	40.2	26.9	28.1	26.1	18.1	4.8	39.0	41.4	43.4	1.2	8.8	5.6	0.8	2.0
加重平均	17.3	8.6	9.0	9.2	6.1	1.4	12.3	12.9	14.9	0.3	2.3	1.5	0.2	1.0

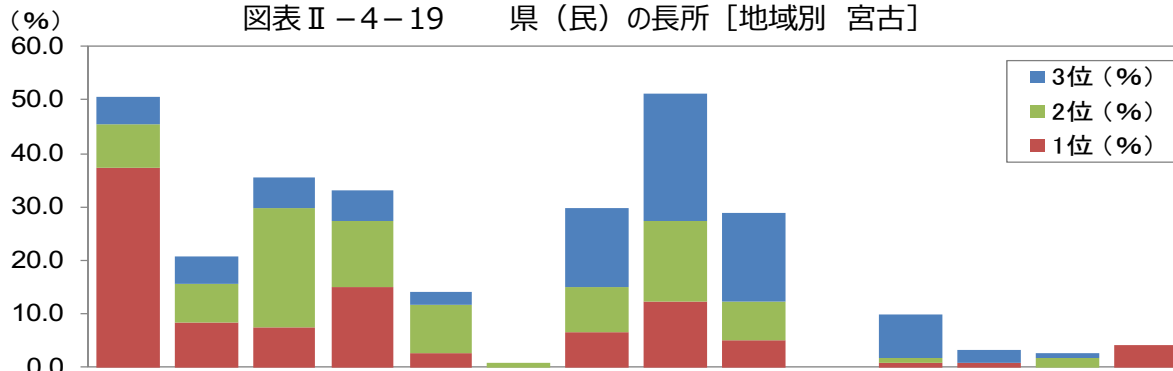
図表Ⅱ-4-18 県(民)の長所 [地域別 南部]



(南部)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	31.3	6.0	11.3	12.1	3.0	1.1	11.3	12.1	6.8	0.0	0.8	0.8	0.0	3.4
2位 (%)	10.2	7.2	18.9	13.2	6.8	2.3	7.9	15.8	10.2	0.8	0.8	1.1	1.1	0.0
3位 (%)	6.8	5.7	7.9	8.3	6.4	2.3	14.0	11.7	14.7	1.1	6.0	4.5	0.0	0.0
合計 (%)	48.3	18.9	38.1	33.6	16.2	5.7	33.2	39.6	31.7	1.9	7.5	6.4	1.1	3.4
加重平均	20.2	6.4	13.3	11.8	4.8	1.7	10.6	13.3	9.2	0.4	1.6	1.5	0.4	1.7

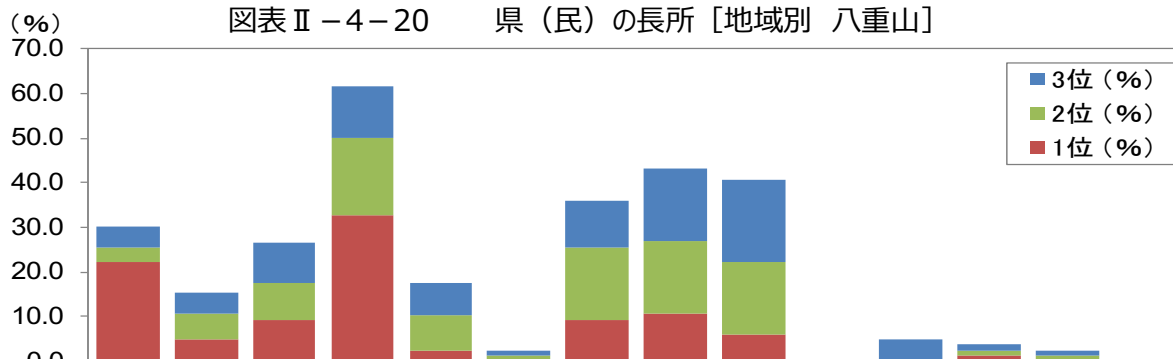
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-19 県(民)の長所 [地域別 宮古]



(宮古)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	37.2	8.3	7.4	14.9	2.5	0.0	6.6	12.4	5.0	0.0	0.8	0.8	0.0	4.1
2位 (%)	8.3	7.4	22.3	12.4	9.1	0.8	8.3	14.9	7.4	0.0	0.8	0.0	1.7	0.0
3位 (%)	5.0	5.0	5.8	5.8	2.5	0.0	14.9	24.0	16.5	0.0	8.3	2.5	0.8	0.0
合計 (%)	50.4	20.7	35.5	33.1	14.0	0.8	29.8	51.2	28.9	0.0	9.9	3.3	2.5	4.1
加重平均	22.2	7.4	12.1	12.5	4.7	0.3	8.5	15.2	7.7	0.0	2.1	0.8	0.7	2.1

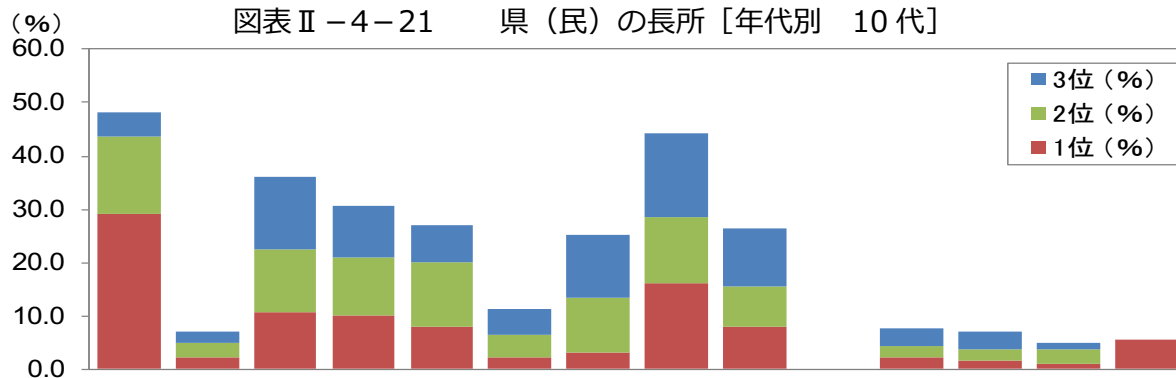
図表Ⅱ-4-20 県(民)の長所 [地域別 八重山]



(八重山)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	22.1	4.7	9.3	32.6	2.3	0.0	9.3	10.5	5.8	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0
2位 (%)	3.5	5.8	8.1	17.4	8.1	1.2	16.3	16.3	16.3	0.0	0.0	1.2	1.2	0.0
3位 (%)	4.7	4.7	9.3	11.6	7.0	1.2	10.5	16.3	18.6	0.0	4.7	1.2	1.2	0.0
合計 (%)	30.2	15.1	26.7	61.6	17.4	2.3	36.0	43.0	40.7	0.0	4.7	3.5	2.3	0.0
加重平均	13.0	5.0	8.9	24.0	5.0	0.6	11.8	13.4	11.4	0.0	0.8	1.2	0.6	0.0

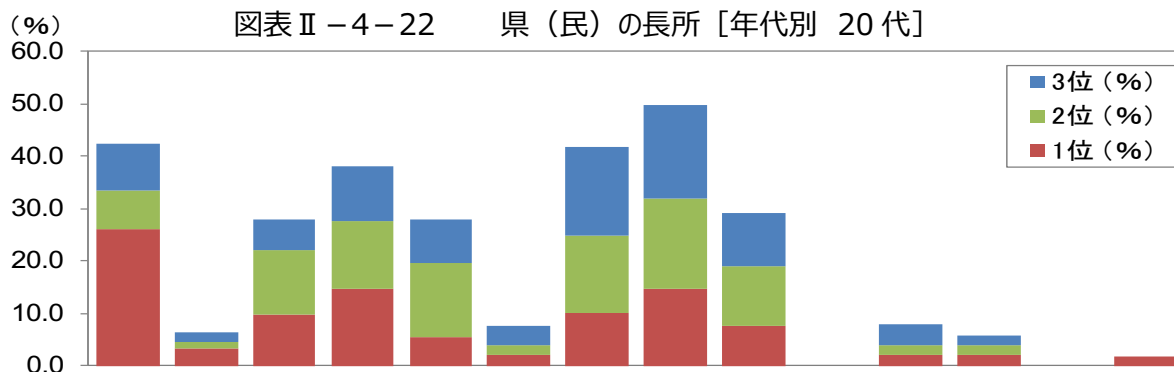
Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-21 県(民)の長所 [年代別 10代]



(10代)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	29.0	2.2	10.8	10.2	8.1	2.2	3.2	16.1	8.1	0.0	2.2	1.6	1.1	5.4
2位 (%)	14.5	2.7	11.8	10.8	11.8	4.3	10.2	12.4	7.5	0.0	2.2	2.2	2.7	0.0
3位 (%)	4.8	2.2	13.4	9.7	7.0	4.8	11.8	15.6	10.8	0.0	3.2	3.2	1.1	0.0
合計 (%)	48.4	7.0	36.0	30.6	26.9	11.3	25.3	44.1	26.3	0.0	7.5	7.0	4.8	5.4
加重平均	20.2	2.3	11.6	10.3	9.1	3.3	7.0	14.8	8.3	0.0	2.3	2.1	1.6	2.7

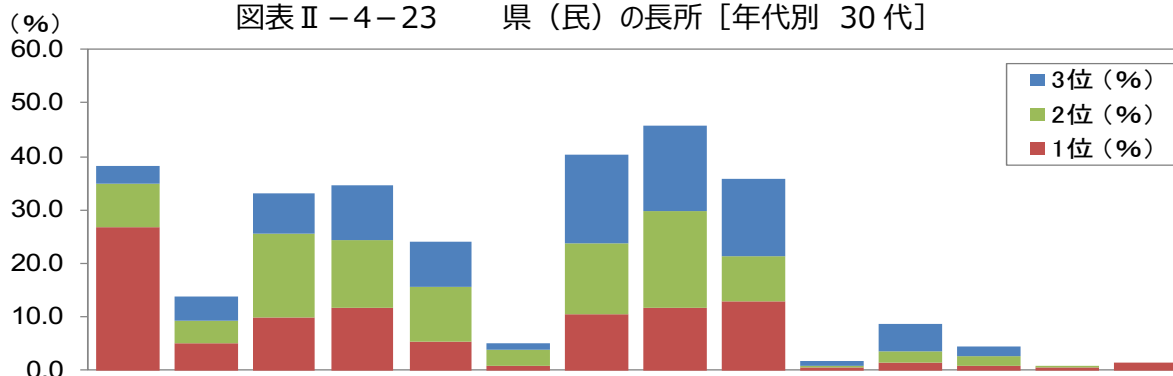
図表Ⅱ-4-22 県(民)の長所 [年代別 20代]



(20代)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	26.0	3.2	9.7	14.6	5.5	1.9	10.1	14.6	7.5	0.0	1.9	1.9	0.0	1.6
2位 (%)	7.5	1.3	12.3	13.0	14.0	1.9	14.6	17.2	11.4	0.0	1.9	1.9	0.0	0.0
3位 (%)	8.8	1.9	5.8	10.4	8.4	3.9	17.2	17.9	10.4	0.0	4.2	1.9	0.0	0.0
合計 (%)	42.2	6.5	27.9	38.0	27.9	7.8	41.9	49.7	29.2	0.0	8.1	5.8	0.0	1.6
加重平均	16.9	2.4	10.0	13.4	8.8	2.3	12.8	16.0	9.3	0.0	2.3	1.9	0.0	0.8

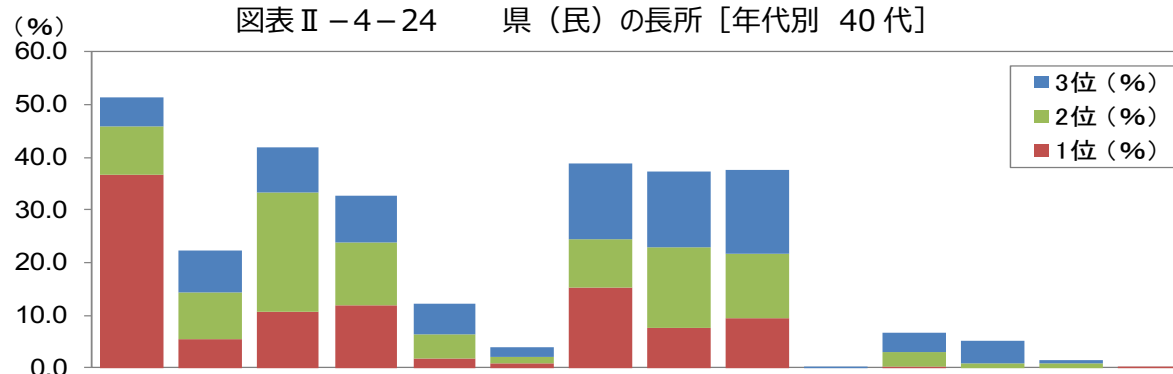
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-23 県(民)の長所 [年代別 30代]



年代	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	26.9	4.9	9.8	11.8	5.3	0.9	10.5	11.8	13.0	0.4	1.5	0.9	0.4	1.3
2位 (%)	7.9	4.3	15.6	12.6	10.3	2.8	13.2	17.9	8.3	0.4	2.1	1.7	0.4	0.0
3位 (%)	3.4	4.5	7.7	10.3	8.3	1.3	16.5	16.2	14.5	0.9	5.1	1.7	0.0	0.0
合計 (%)	38.2	13.7	33.1	34.6	23.9	4.9	40.2	45.9	35.9	1.7	8.8	4.3	0.9	1.3
加重平均	16.7	4.6	11.4	11.8	7.5	1.6	12.4	14.6	11.7	0.5	2.3	1.3	0.4	0.6

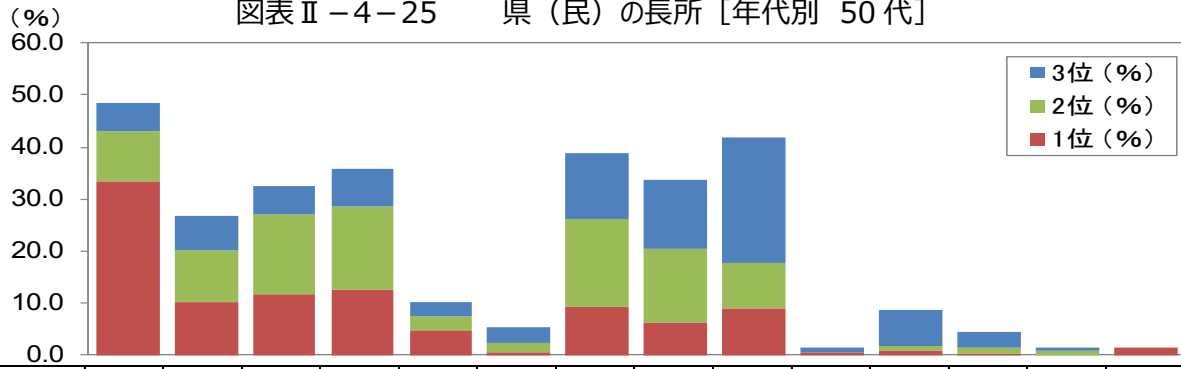
図表Ⅱ-4-24 県(民)の長所 [年代別 40代]



年代	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	36.7	5.4	10.6	11.8	1.9	0.8	15.3	7.5	9.5	0.0	0.4	0.0	0.0	0.2
2位 (%)	9.3	8.9	22.6	12.2	4.6	1.2	9.1	15.3	12.2	0.0	2.7	0.8	0.8	0.0
3位 (%)	5.4	8.1	8.7	8.7	5.6	1.9	14.3	14.5	16.0	0.4	3.5	4.4	0.6	0.0
合計 (%)	51.4	22.4	41.9	32.6	12.2	3.9	38.6	37.3	37.6	0.4	6.6	5.2	1.4	0.2
加重平均	22.3	7.0	14.3	11.4	3.4	1.1	13.0	11.3	11.5	0.1	1.7	1.0	0.4	0.1

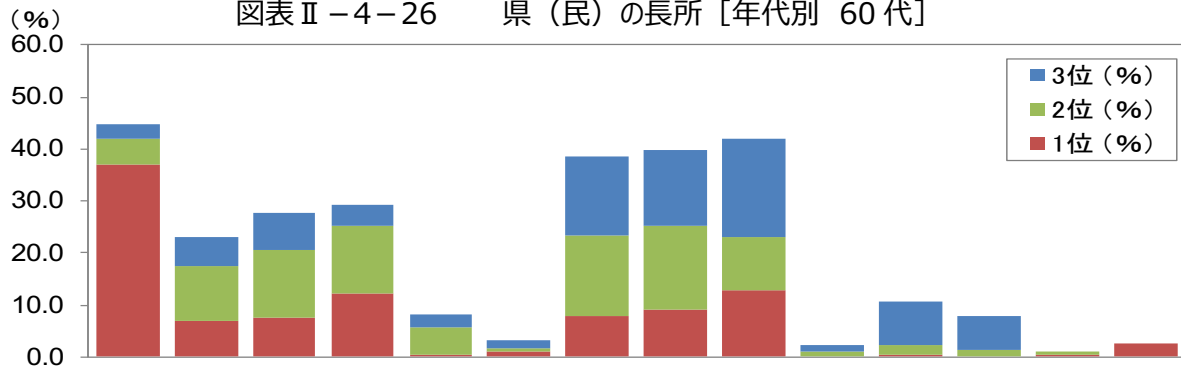
Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-25 県(民)の長所 [年代別 50代]



(50代)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	み 沖 景 縄 観 独 特 の ま ち な	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	33.5	10.3	11.8	12.5	4.6	0.4	9.2	6.1	8.8	0.4	0.9	0.2	0.0	1.3
2位 (%)	9.6	9.8	15.3	16.2	2.8	1.8	16.8	14.4	8.8	0.0	0.9	1.1	0.7	0.0
3位 (%)	5.5	6.6	5.3	7.2	2.6	3.1	12.9	13.3	24.3	0.9	6.8	3.1	0.7	0.0
合計 (%)	48.6	26.7	32.4	35.9	10.1	5.3	38.9	33.9	41.8	1.3	8.5	4.4	1.3	1.3
加重平均	20.9	9.5	11.9	12.8	3.7	1.3	12.4	10.1	11.3	0.4	1.9	1.0	0.3	0.7

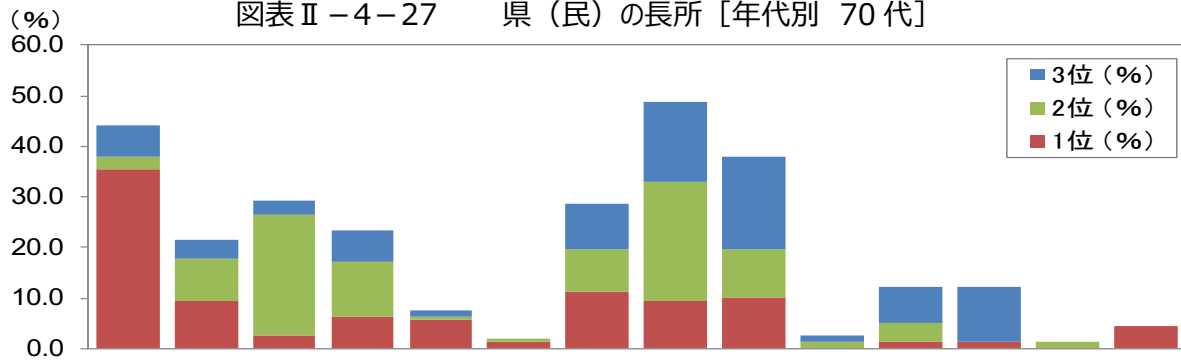
図表Ⅱ-4-26 県(民)の長所 [年代別 60代]



(60代)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	み 沖 景 縄 観 独 特 の ま ち な	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	37.0	7.0	7.6	12.3	0.4	0.9	7.8	9.0	12.8	0.0	0.4	0.0	0.4	2.7
2位 (%)	4.9	10.5	13.0	12.8	5.2	0.9	15.5	16.1	10.1	0.9	2.0	1.3	0.7	0.0
3位 (%)	2.9	5.6	7.0	4.3	2.7	1.3	15.2	14.8	19.1	1.3	8.3	6.7	0.0	0.0
合計 (%)	44.8	23.1	27.6	29.4	8.3	3.1	38.6	39.9	41.9	2.2	10.8	8.1	1.1	2.7
加重平均	20.6	7.9	9.3	11.1	2.4	1.0	11.6	12.3	12.9	0.5	2.3	1.6	0.4	1.3

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

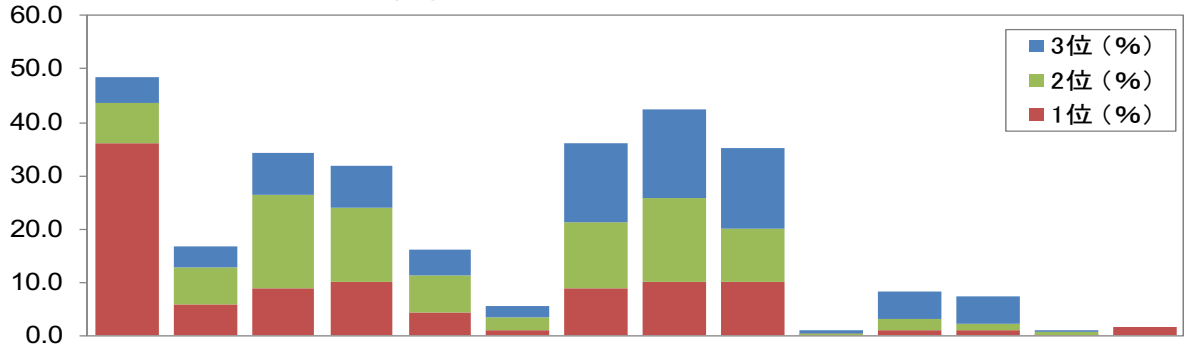
図表Ⅱ-4-27 県(民)の長所 [年代別 70代]



(70代)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	35.4	9.5	2.5	6.3	5.7	1.3	11.4	9.5	10.1	0.0	1.3	1.3	0.0	4.4
2位 (%)	2.5	8.2	24.1	10.8	0.6	0.6	8.2	23.4	9.5	1.3	3.8	0.0	1.3	0.0
3位 (%)	6.3	3.8	2.5	6.3	1.3	0.0	8.9	15.8	18.4	1.3	7.0	10.8	-	0.0
合計 (%)	44.3	21.5	29.1	23.4	7.6	1.9	28.5	48.7	38.0	2.5	12.0	12.0	1.3	4.4
加重平均	19.6	8.1	9.7	7.8	3.3	0.8	9.9	15.2	11.3	0.6	3.1	2.4	0.4	2.2

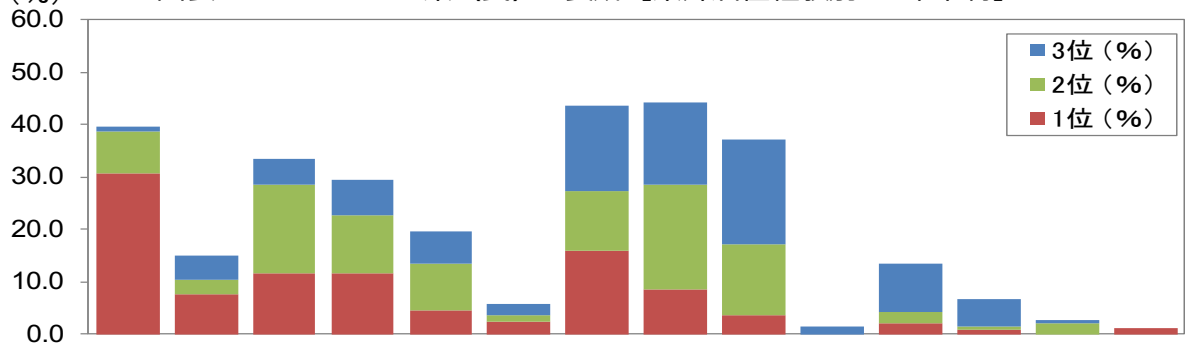
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

(%) 図表Ⅱ-4-28 県(民)の長所 [県外居住経験別 ずっと沖縄に住んでいる]



（ずっと沖縄に住んでいる）	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれて いる	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	36.0	5.8	9.0	10.2	4.3	1.0	8.8	10.2	10.2	0.1	0.9	0.9	0.1	1.7
2位 (%)	7.6	6.9	17.3	13.7	6.9	2.3	12.6	15.6	9.7	0.3	2.2	1.3	0.5	0.0
3位 (%)	5.0	4.1	8.0	8.0	4.9	2.2	14.8	16.6	15.3	0.6	5.3	5.0	0.3	0.0
合計 (%)	48.7	16.8	34.3	31.9	16.1	5.5	36.2	42.4	35.1	1.0	8.4	7.3	0.9	1.7
加重平均	21.4	5.9	11.6	11.0	5.3	1.6	11.1	13.1	10.9	0.3	2.0	1.7	0.3	0.8

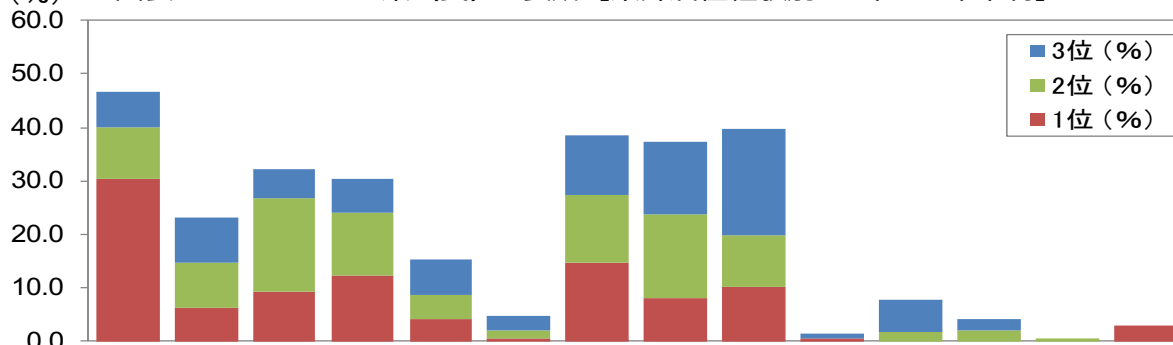
(%) 図表Ⅱ-4-29 県(民)の長所 [県外居住経験別 2年未満]



（2年未満）	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれて いる	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	30.6	7.5	11.6	11.6	4.5	2.2	16.0	8.6	3.7	0.0	1.9	0.7	0.0	1.1
2位 (%)	8.2	3.0	16.8	11.2	9.0	1.5	11.2	19.8	13.4	0.0	2.2	0.7	1.9	0.0
3位 (%)	0.7	4.5	5.2	6.7	6.0	1.9	16.4	15.7	20.1	1.5	9.3	5.2	0.7	0.0
合計 (%)	39.6	14.9	33.6	29.5	19.4	5.6	43.7	44.0	37.3	1.5	13.4	6.7	2.6	1.1
加重平均	18.2	5.5	12.3	10.6	6.2	1.9	14.5	13.5	9.7	0.2	3.2	1.5	0.7	0.6

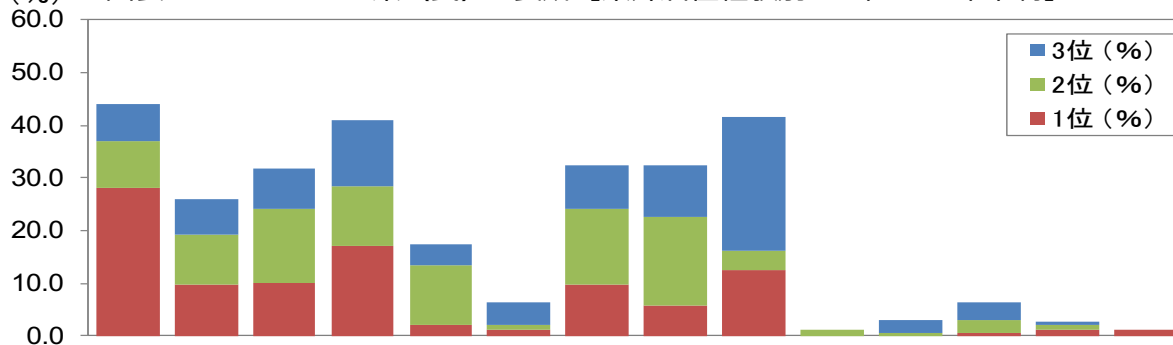
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-30 県(民)の長所〔県外居住経験別 2年～5年未満〕



(2～5年未満)		人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が	自然環境に恵まれて	み景観がある	沖縄独特のまちな	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
		1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	合計 (%)	加重平均										
1位 (%)		30.3	6.2	9.3	12.4	4.1	0.5	14.8	8.0	10.1	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8
2位 (%)		9.8	8.5	17.6	11.7	4.4	1.6	12.7	15.8	9.6	0.0	1.6	2.1	0.5	0.0	
3位 (%)		6.5	8.5	5.2	6.2	6.7	2.6	10.9	13.5	19.9	1.0	6.2	2.1	0.0	0.0	
合計 (%)		46.6	23.3	32.1	30.3	15.3	4.7	38.3	37.3	39.6	1.6	7.8	4.1	0.5	2.8	
加重平均	—	19.5	7.4	11.4	11.1	4.7	1.2	13.4	11.5	11.6	0.4	1.6	1.0	0.2	1.4	

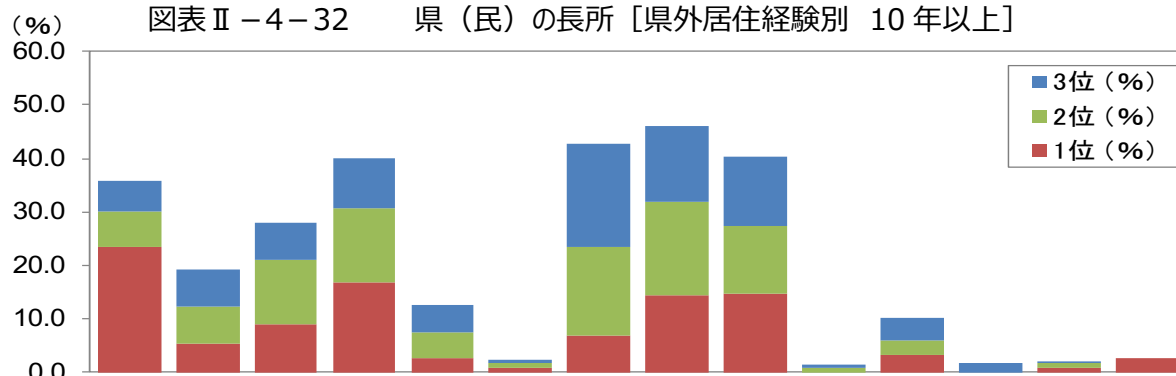
図表Ⅱ-4-31 県(民)の長所〔県外居住経験別 5年～10年未満〕



(5～10年未満)		人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が	自然環境に恵まれて	み景観がある	沖縄独特のまちな	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
		1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	合計 (%)	加重平均										
1位 (%)		28.0	9.7	10.2	17.2	2.2	1.1	9.7	5.9	12.4	0.0	0.0	0.5	1.1	1.1	
2位 (%)		9.1	9.7	14.0	11.3	11.3	1.1	14.5	16.7	3.8	1.1	0.5	2.7	1.1	0.0	
3位 (%)		7.0	6.5	7.5	12.4	3.8	4.3	8.1	9.7	25.3	0.0	2.7	3.2	0.5	0.0	
合計 (%)		44.1	25.8	31.7	40.9	17.2	6.5	32.3	32.3	41.4	1.1	3.2	6.5	2.7	1.1	
加重平均	—	18.2	9.1	11.0	14.4	5.5	1.6	11.0	10.1	11.6	0.4	0.6	1.7	1.0	0.5	

Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-32 県(民)の長所 [県外居住経験別 10年以上]



(10年以上)	人情が厚い	素朴である	助け合いの精神が つよい	自然環境に恵まれ ている	沖縄独特のまちな み景観がある	国際的である	独特の文化がある	のんびりしている	気候が温暖である	進取の気性がある	開放的である	長寿県である	その他	わからない
1位 (%)	23.3	5.2	8.9	16.7	2.6	0.7	6.9	14.4	14.8	0.0	3.3	0.0	0.7	2.6
2位 (%)	6.9	7.2	12.1	14.1	4.9	1.0	16.4	17.4	12.5	0.7	2.6	0.0	1.0	0.0
3位 (%)	5.6	6.9	6.9	9.2	5.2	0.7	19.3	14.4	13.1	0.7	4.3	1.6	0.3	0.0
合計 (%)	35.7	19.3	27.9	40.0	12.8	2.3	42.6	46.2	40.3	1.3	10.2	1.6	2.0	2.6
加重平均	14.9	6.2	9.6	14.6	3.8	0.8	12.1	15.4	13.7	0.3	3.2	0.3	0.7	1.3

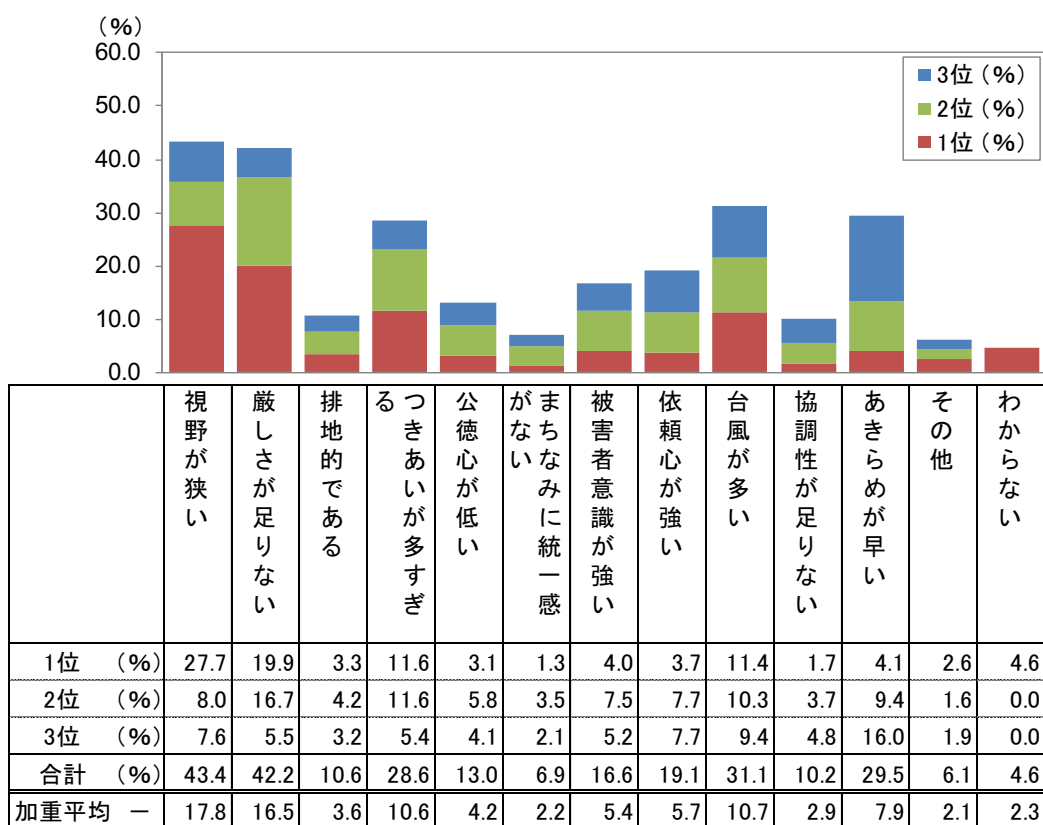
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

(2) 県(民)の短所

本県あるいは県民の欠点について、12項目から優先順に1～3位の順位をつけて選んでもらったところ、1～3位の合計比率は「視野が狭い」(43.4%)の割合が最も高く、以下「厳しさが足りない」(42.2%)、「台風が多い」(31.1%)、「あきらめが早い」(29.5%)が上位となる。

1位は「視野が狭い」(27.7%)の割合が最も高く、2位は「厳しさが足りない」(16.7%)、3位は「あきらめが早い」(16.0%)となる。

図表Ⅱ-4-33 県(民)の短所(全体・1～3位順位づけ比率)



II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

加重平均により過去の調査と比較すると、平成24年以降「視野が狭い」「排他的である」「つきあいが多すぎる」がやや上昇し、平成21年以降「厳しさが足りない」が減少している。

地域別にみると、1～3位の合計比率は全ての地域で「視野が狭い」「厳しさが足りない」の割合が高い。北部、宮古、八重山は「つきあいが多すぎ」の割合が他地域よりも高くなっている。

年代別にみると、10代～40代が「視野が狭い」の割合が最も高く、50代～70代以上が「厳しさが足りない」の割合が最も高く、50代～70代以上が「あきらめが早い」の割合が他の年代より高くなっている。

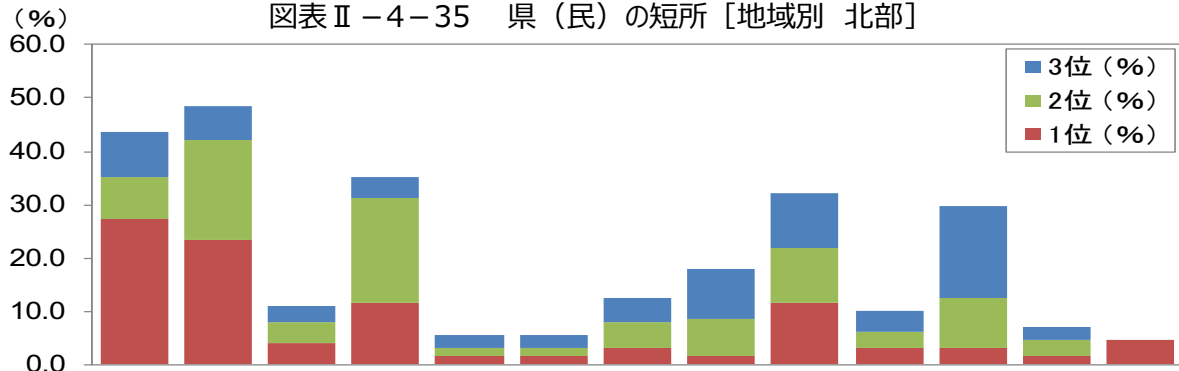
県外居住経験別にみると、県外に居住経験が2年から10年以上あると回答した人は「厳しさが足りない」との回答の割合が最も高い。県内にずっと沖縄に住んでいる回答者は「視野が狭い」の回答の割合が最も高くなっている。

図表Ⅱ-4-34 県（民）の短所 [時系列比較・加重平均]

(%)	視野が狭い	厳しさが足りない	排他的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	強い被害者意識が	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他
平成30	17.8	16.5	3.6	10.6	4.2	2.2	5.4	5.7	10.7	2.9	7.9	2.1
平成27	16.4	19.9	2.7	9.5	4.2	3.1	5.4	6.1	12.9	3.4	8.0	1.2
平成24	16.7	20.7	2.6	9.3	4.2	2.5	3.5	6.2	13.0	3.4	8.8	1.6
平成21	17.8	23.2	2.7	13.1	6.8	0.0	3.8	7.4	7.4	4.6	9.2	1.6
平成16	16.0	22.9	2.5	12.7	6.7	0.0	4.0	7.3	13.4	3.5	7.9	0.9
平成11	14.5	15.9	2.0	9.7	5.8	0.0	3.9	5.1	7.9	3.1	5.5	0.9
平成7	14.1	17.6	1.7	11.6	6.5	0.0	3.2	5.3	7.2	2.9	6.0	0.8
平成2	18.5	24.4	1.9	13.2	7.5	0.0	3.9	4.7	6.0	2.8	0.0	0.6
昭和59	21.9	26.0	2.1	13.5	9.8	0.0	4.3	5.4	8.6	3.5	0.0	0.6

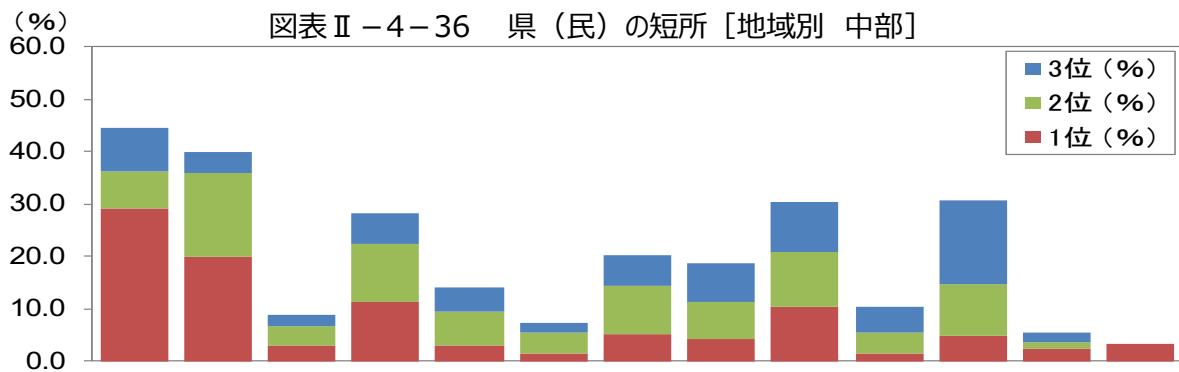
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-35 県(民)の短所[地域別 北部]



(北部)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	27.3	23.4	3.9	11.7	1.6	1.6	3.1	1.6	11.7	3.1	3.1	1.6	4.7
2位 (%)	7.8	18.8	3.9	19.5	1.6	1.6	4.7	7.0	10.2	3.1	9.4	3.1	0.0
3位 (%)	8.6	6.3	3.1	3.9	2.3	2.3	4.7	9.4	10.2	3.9	17.2	2.3	0.0
合計 (%)	43.8	48.4	10.9	35.2	5.5	5.5	12.5	18.0	32.0	10.2	29.7	7.0	4.7
加重平均	17.7	19.0	3.8	13.0	1.7	1.7	3.9	4.7	10.9	3.3	7.6	2.2	2.3

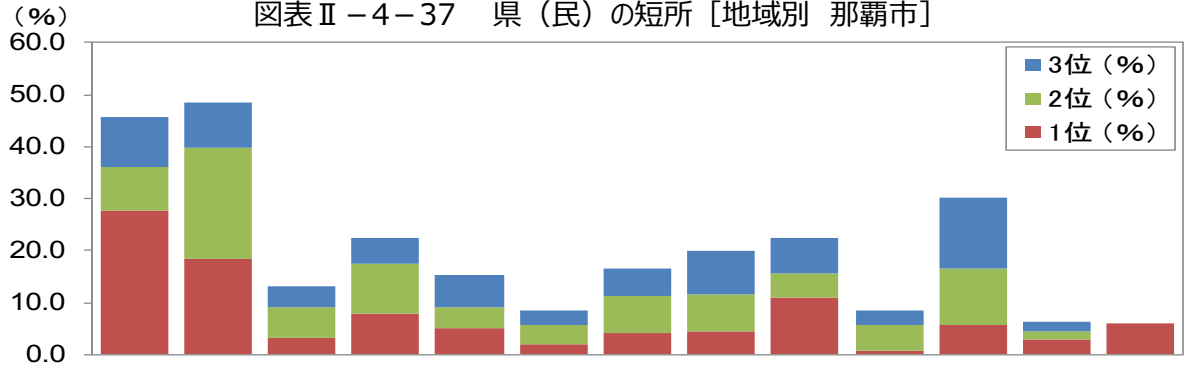
図表Ⅱ-4-36 県(民)の短所[地域別 中部]



(中部)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	29.0	19.8	3.0	11.2	3.0	1.5	5.1	4.2	10.3	1.5	4.8	2.3	3.4
2位 (%)	7.2	16.2	3.8	11.2	6.5	4.0	9.3	7.0	10.5	3.8	9.9	1.3	0.0
3位 (%)	8.2	3.8	1.9	5.7	4.6	1.7	5.9	7.6	9.5	5.0	16.0	1.9	0.0
合計 (%)	44.4	39.8	8.8	28.2	14.1	7.2	20.4	18.9	30.3	10.3	30.7	5.5	3.4
加重平均	18.3	15.9	3.1	10.3	4.4	2.4	6.7	5.7	10.2	2.9	8.3	1.9	1.7

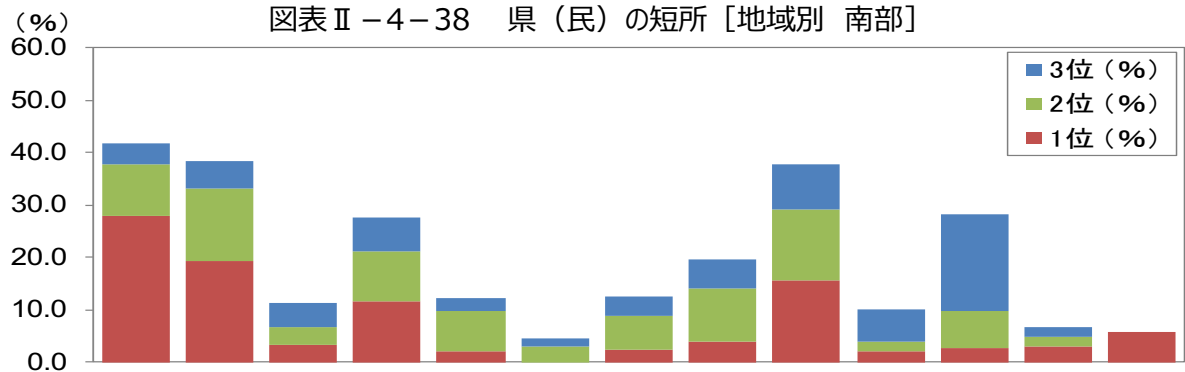
Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-37 県(民)の短所 [地域別 那覇市]



(那覇市)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	27.7	18.5	3.2	8.0	5.2	2.0	4.0	4.4	10.8	0.8	5.6	2.8	6.0
2位 (%)	8.4	21.3	6.0	9.6	4.0	3.6	7.2	7.2	4.8	4.8	10.8	1.6	0.0
3位 (%)	9.6	8.8	4.0	4.8	6.0	2.8	5.2	8.4	6.8	2.8	13.7	2.0	0.0
合計 (%)	45.8	48.6	13.3	22.5	15.3	8.4	16.5	20.1	22.5	8.4	30.1	6.4	6.0
加重平均	18.3	17.8	4.3	8.0	5.0	2.7	5.3	6.0	8.2	2.5	8.7	2.3	3.0

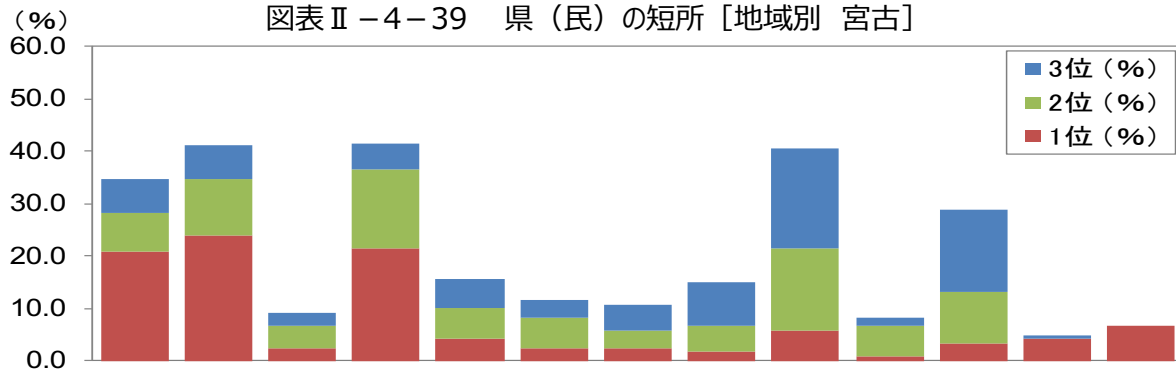
図表Ⅱ-4-38 県(民)の短所 [地域別 南部]



(南部)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	27.9	19.2	3.4	11.7	1.9	-	2.3	3.8	15.5	1.9	2.6	3.0	5.7
2位 (%)	9.8	14.0	3.4	9.4	7.9	3.0	6.4	10.2	13.6	1.9	7.2	1.9	0.0
3位 (%)	4.2	5.3	4.5	6.4	2.3	1.5	3.8	5.7	8.7	6.4	18.5	1.9	0.0
合計 (%)	41.9	38.5	11.3	27.5	12.1	4.5	12.5	19.6	37.7	10.2	28.3	6.8	5.7
加重平均	17.9	15.2	3.6	10.1	4.0	1.3	3.9	6.2	13.7	2.6	6.8	2.5	2.8

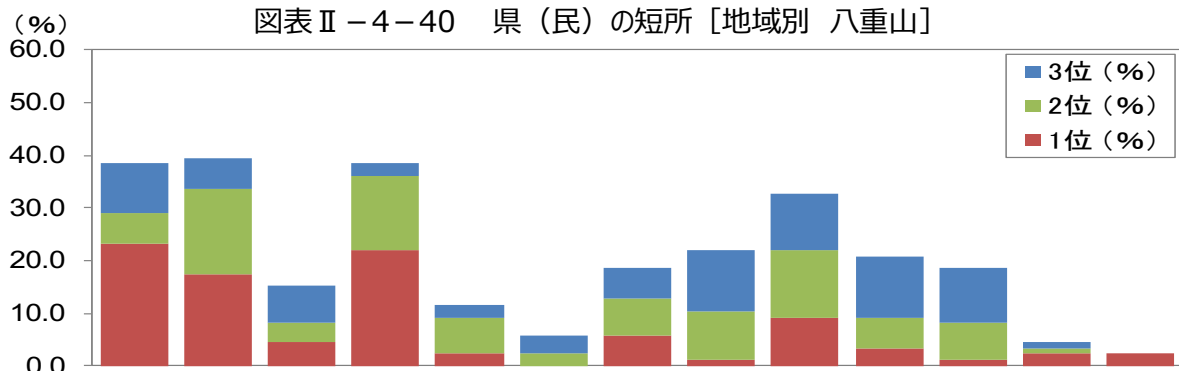
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-39 県(民)の短所 [地域別 宮古]



(宮古)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	がちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	20.7	24.0	2.5	21.5	4.1	2.5	2.5	1.7	5.8	0.8	3.3	4.1	6.6
2位 (%)	7.4	10.7	4.1	14.9	5.8	5.8	3.3	5.0	15.7	5.8	9.9	0.0	0.0
3位 (%)	6.6	6.6	2.5	5.0	5.8	3.3	5.0	8.3	19.0	1.7	15.7	0.8	0.0
合計 (%)	34.7	41.3	9.1	41.3	15.7	11.6	10.7	14.9	40.5	8.3	28.9	5.0	6.6
加重平均	13.9	16.7	3.0	16.5	5.0	3.7	3.2	3.9	11.3	2.6	7.6	2.2	3.3

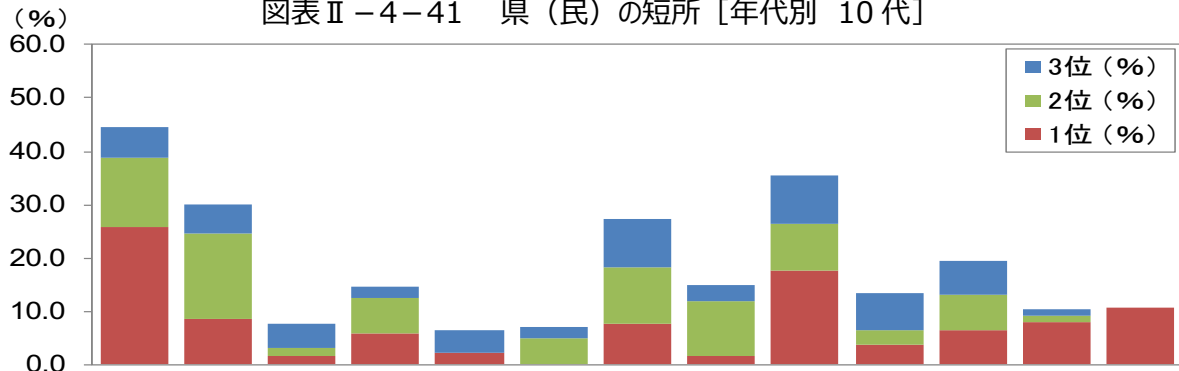
図表Ⅱ-4-40 県(民)の短所 [地域別 八重山]



(八重山)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	がちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	23.3	17.4	4.7	22.1	2.3	0.0	5.8	1.2	9.3	3.5	1.2	2.3	2.3
2位 (%)	5.8	16.3	3.5	14.0	7.0	2.3	7.0	9.3	12.8	5.8	7.0	1.2	0.0
3位 (%)	9.3	5.8	7.0	2.3	2.3	3.5	5.8	11.6	10.5	11.6	10.5	1.2	0.0
合計 (%)	38.4	39.5	15.1	38.4	11.6	5.8	18.6	22.1	32.6	20.9	18.6	4.7	2.3
加重平均	15.1	15.1	4.7	16.1	3.9	1.4	6.2	5.6	10.7	5.6	4.7	1.7	1.2

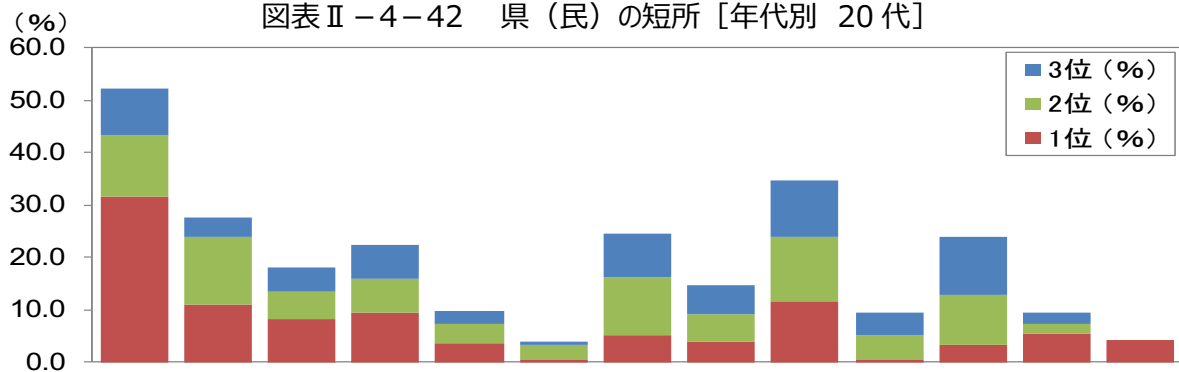
Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-41 県(民)の短所〔年代別 10代〕



(10代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	25.8	8.6	1.6	5.9	2.2	0.0	7.5	1.6	17.7	3.8	6.5	8.1	10.8
2位 (%)	12.9	16.1	1.6	6.5	0.0	4.8	10.8	10.2	8.6	2.7	6.5	1.1	0.0
3位 (%)	5.9	5.4	4.3	2.2	4.3	2.2	9.1	3.2	9.1	7.0	6.5	1.1	0.0
合計 (%)	44.6	30.1	7.5	14.5	6.5	7.0	27.4	15.1	35.5	13.4	19.4	10.2	10.8
加重平均	18.2	10.6	2.1	5.5	1.8	2.0	8.9	4.7	13.3	3.9	6.5	4.6	5.4

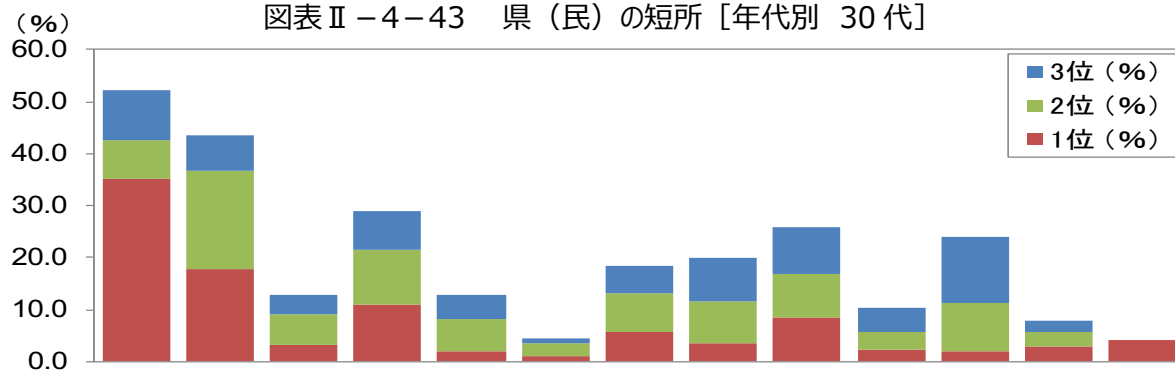
図表Ⅱ-4-42 県(民)の短所〔年代別 20代〕



(20代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	31.5	11.0	8.1	9.4	3.6	0.6	5.2	3.9	11.7	0.6	3.2	5.5	4.2
2位 (%)	11.7	13.0	5.2	6.5	3.6	2.6	11.0	5.2	12.3	4.5	9.7	1.9	0.0
3位 (%)	9.1	3.6	4.9	6.5	2.6	0.6	8.4	5.5	10.7	4.2	11.0	1.9	0.0
合計 (%)	52.3	27.6	18.2	22.4	9.7	3.9	24.7	14.6	34.7	9.4	24.0	9.4	4.2
加重平均	21.2	10.4	6.6	8.0	3.4	1.3	7.7	4.6	11.7	2.5	6.7	3.7	2.1

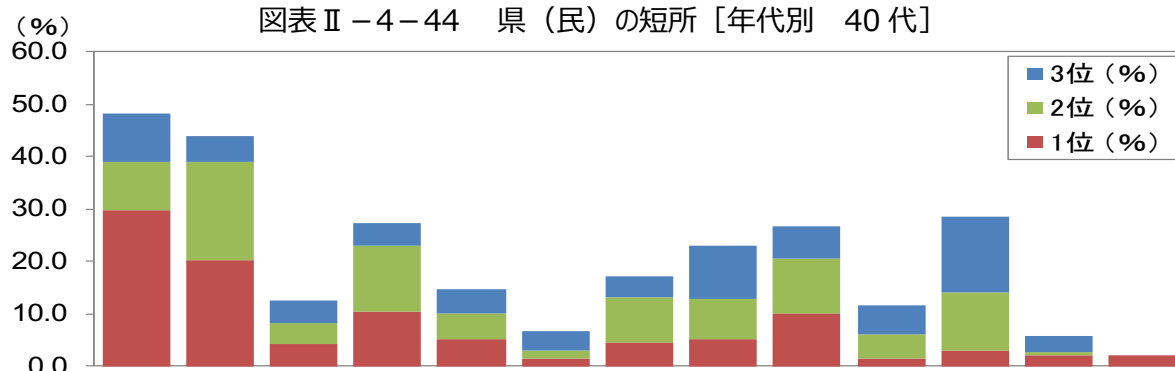
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-43 県(民)の短所 [年代別 30代]



(30代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	35.0	17.9	3.2	10.9	2.1	0.9	5.6	3.4	8.5	2.4	1.9	3.0	4.1
2位 (%)	7.7	18.8	5.8	10.5	6.2	2.6	7.5	8.3	8.3	3.4	9.4	2.6	0.0
3位 (%)	9.6	6.8	3.8	7.5	4.5	0.9	5.3	8.1	9.0	4.5	12.6	2.4	0.0
合計 (%)	52.4	43.6	12.8	28.8	12.8	4.3	18.4	19.9	25.9	10.3	23.9	7.9	4.1
加重平均	21.7	16.4	4.2	10.2	3.9	1.4	6.2	5.8	8.5	3.1	6.2	2.7	2.0

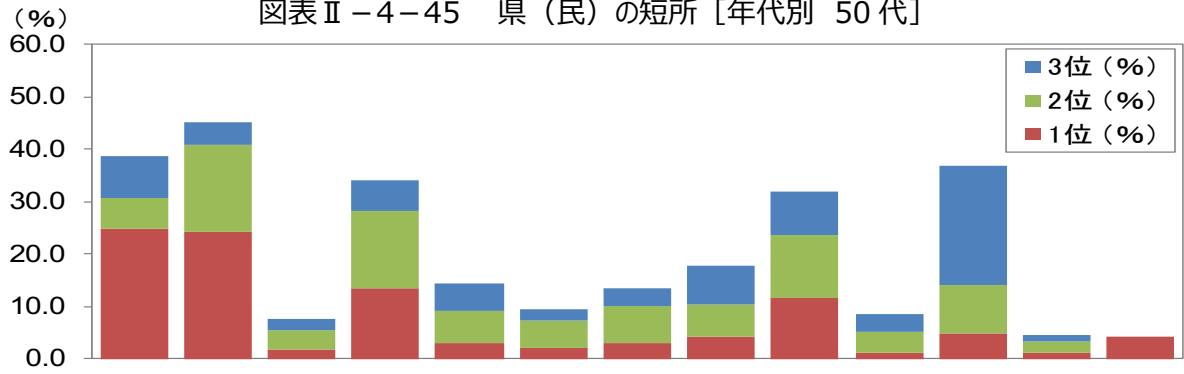
図表Ⅱ-4-44 県(民)の短所 [年代別 40代]



(40代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	29.9	20.3	4.2	10.4	5.0	1.5	4.4	5.2	10.0	1.5	3.1	2.1	2.1
2位 (%)	9.1	18.7	4.1	12.5	5.2	1.5	8.7	7.7	10.4	4.6	11.0	0.6	0.0
3位 (%)	9.1	5.0	4.1	4.4	4.6	3.7	4.1	10.2	6.4	5.6	14.3	3.1	0.0
合計 (%)	48.1	44.0	12.4	27.4	14.9	6.8	17.2	23.2	26.8	11.8	28.4	5.8	2.1
加重平均	19.5	17.2	4.2	10.1	5.0	1.9	5.8	6.9	9.6	3.2	7.6	1.8	1.1

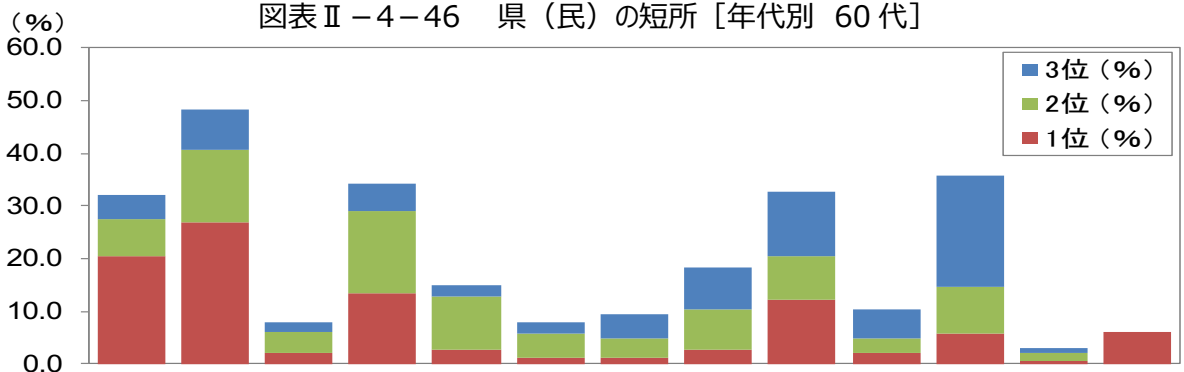
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-45 県(民)の短所〔年代別 50代〕



(50代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	がちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	24.7	24.3	1.8	13.3	3.1	2.0	3.1	4.2	11.6	1.1	4.8	1.1	4.2
2位 (%)	5.9	16.6	3.7	14.9	5.9	5.3	7.0	6.1	12.0	3.9	9.2	2.2	0.0
3位 (%)	8.1	4.4	2.2	5.9	5.5	2.2	3.3	7.4	8.3	3.5	22.8	1.1	0.0
合計 (%)	38.7	45.3	7.7	34.1	14.4	9.4	13.3	17.7	31.9	8.5	36.8	4.4	4.2
加重平均	15.7	18.4	2.5	12.6	4.4	3.1	4.4	5.4	11.2	2.4	9.3	1.5	2.1

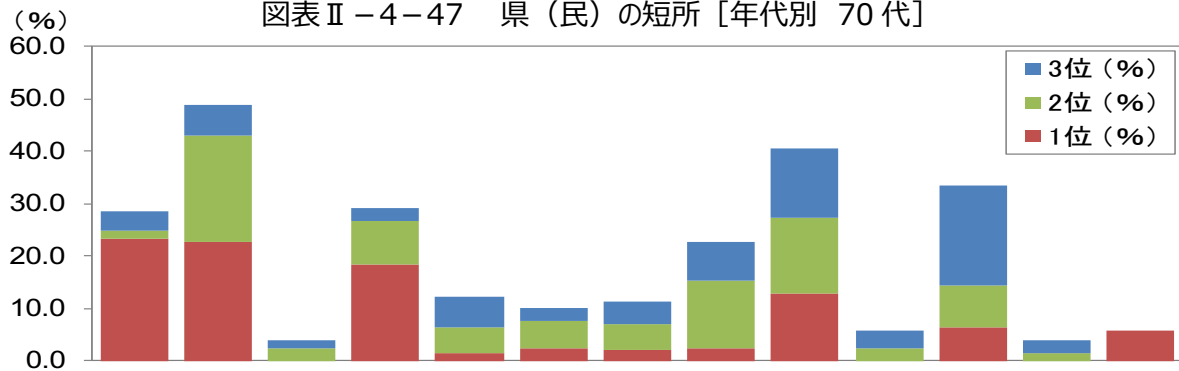
図表Ⅱ-4-46 県(民)の短所〔年代別 60代〕



(60代)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	がちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	20.4	26.9	2.2	13.5	2.7	1.3	1.3	2.7	12.3	2.0	5.8	0.7	6.1
2位 (%)	7.2	13.9	4.0	15.5	10.1	4.5	3.6	7.6	8.3	2.9	9.0	1.3	0.0
3位 (%)	4.5	7.4	1.6	5.2	2.2	2.2	4.5	8.1	12.1	5.6	20.9	0.9	0.0
合計 (%)	32.1	48.2	7.8	34.1	15.0	8.1	9.4	18.4	32.7	10.5	35.7	2.9	6.1
加重平均	13.3	19.3	2.7	12.7	5.1	2.5	2.6	5.2	10.9	2.9	9.4	0.9	3.0

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

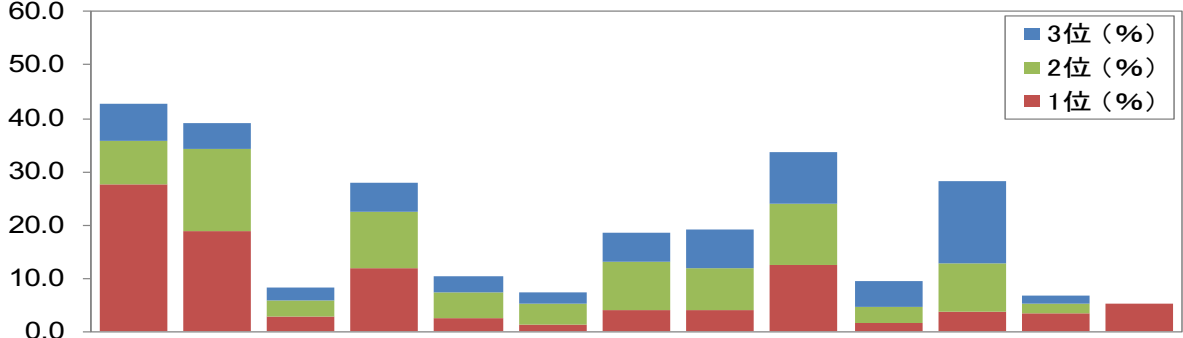
図表Ⅱ-4-47 県(民)の短所 [年代別 70代]



(70代以上)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	23.4	22.8	0.0	18.4	1.3	2.5	1.9	2.5	12.7	0.0	6.3	0.0	5.7
2位 (%)	1.3	20.3	2.5	8.2	5.1	5.1	5.1	12.7	14.6	2.5	8.2	1.3	0.0
3位 (%)	3.8	5.7	1.3	2.5	5.7	2.5	4.4	7.6	13.3	3.2	19.0	2.5	0.0
合計 (%)	28.5	48.7	3.8	29.1	12.0	10.1	11.4	22.8	40.5	5.7	33.5	3.8	5.7
加重平均	12.8	19.1	1.1	12.3	3.3	3.4	3.4	6.8	13.4	1.4	9.1	0.8	2.8

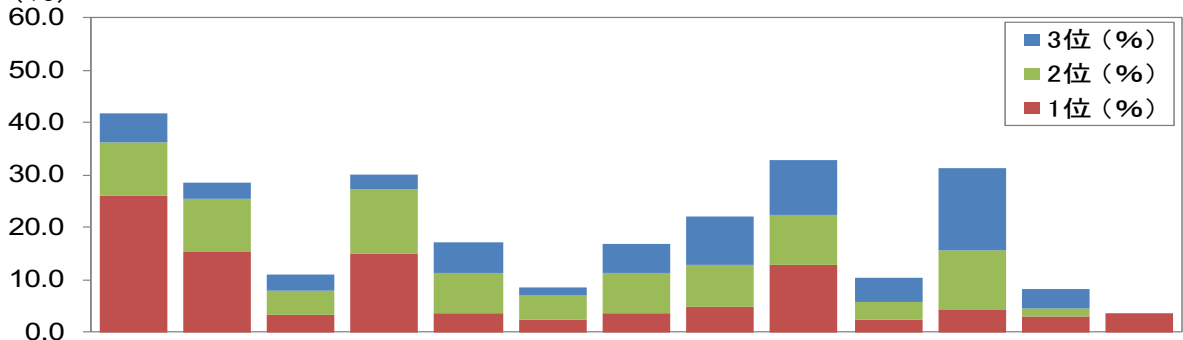
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-48 県(民)の短所〔県外居住経験別 ずっと沖縄に住んでいる〕



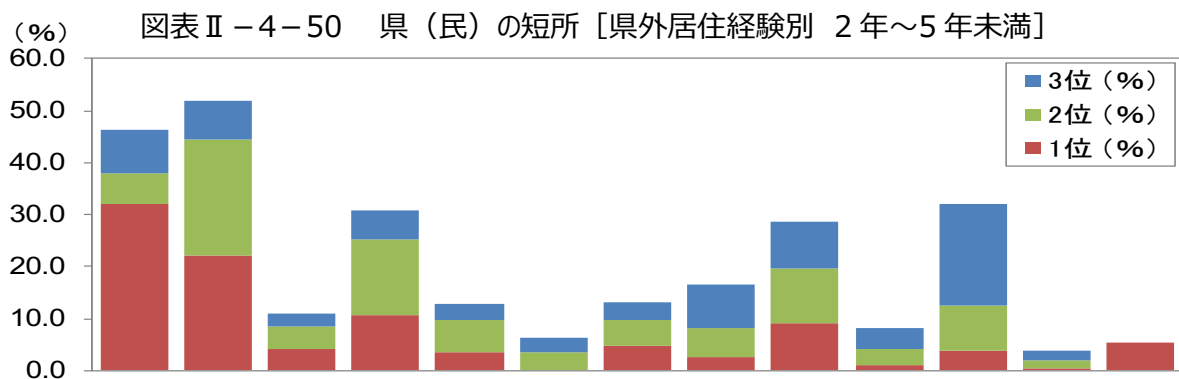
短所	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	合計 (%)	加重平均
視野が狭い	27.6	8.3	6.9	42.8	17.7
厳しさが足りない	18.8	15.6	4.7	39.0	15.4
排地的である	2.8	3.1	2.4	8.3	2.8
つきあいが多すぎ	11.8	10.7	5.5	28.0	10.4
公德心が低い	2.5	4.7	3.3	10.6	3.4
まちなみに統一感がない	1.3	3.9	2.1	7.3	2.3
被害者意識が強い	3.9	9.1	5.5	18.5	5.9
依頼心が強い	3.9	8.1	7.1	19.0	5.8
台風が多い	12.4	11.7	9.7	33.9	11.7
協調性が足りない	1.7	2.9	5.0	9.6	2.6
あきらめが早い	3.8	9.1	15.2	28.1	7.4
その他	3.4	1.7	1.5	6.6	2.5
わからない	5.1	0.0	0.0	5.1	2.5

図表Ⅱ-4-49 県(民)の短所〔県外居住経験別 2年未満〕

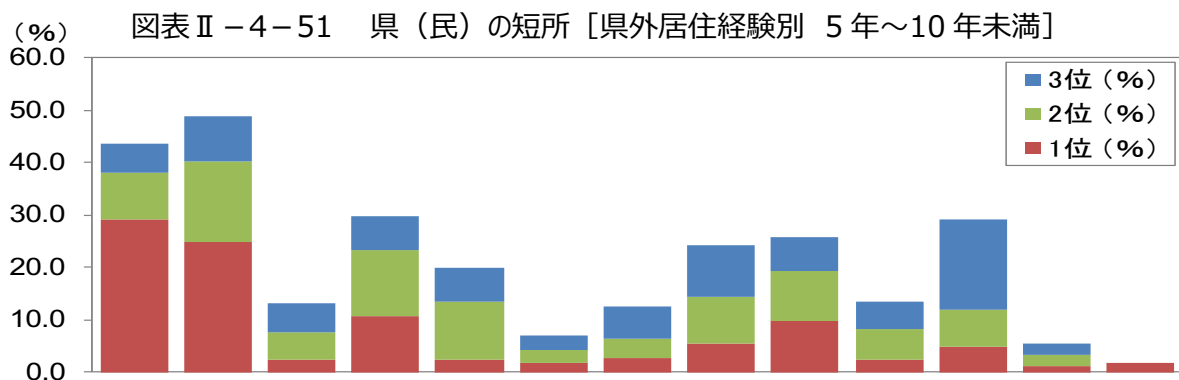


短所	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	合計 (%)	加重平均
視野が狭い	26.1	10.1	5.6	41.8	17.4
厳しさが足りない	15.3	10.1	3.0	28.4	11.5
排地的である	3.4	4.5	3.0	10.8	3.7
つきあいが多すぎ	14.9	12.3	3.0	30.2	12.1
公德心が低い	3.7	7.5	6.0	17.2	5.3
まちなみに統一感がない	2.2	4.9	1.5	8.6	3.0
被害者意識が強い	3.7	7.5	5.6	16.8	5.3
依頼心が強い	4.9	7.8	9.3	22.0	6.6
台風が多い	12.7	9.7	10.4	32.8	11.3
協調性が足りない	2.2	3.4	4.9	10.4	3.0
あきらめが早い	4.1	11.6	15.7	31.3	8.5
その他	3.0	1.5	3.7	8.2	2.6
わからない	3.7	0.0	0.0	3.7	1.9

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

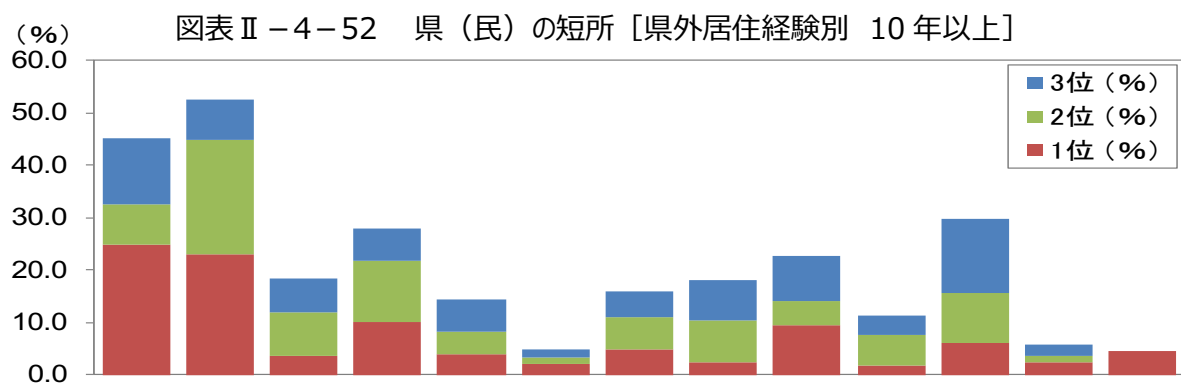


(2～5年未満)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎ	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	31.9	22.0	4.1	10.6	3.6	0.0	4.7	2.6	9.1	1.0	3.9	0.3	5.4
2位 (%)	6.0	22.5	4.4	14.5	6.2	3.6	4.9	5.7	10.6	3.1	8.5	1.6	0.0
3位 (%)	8.5	7.3	2.6	5.7	3.1	2.6	3.4	8.3	8.8	4.1	19.7	1.8	0.0
合計 (%)	46.4	51.8	11.1	30.8	13.0	6.2	13.0	16.6	28.5	8.3	32.1	3.6	5.4
加重平均	19.3	19.7	4.0	11.1	4.4	1.6	4.5	4.6	9.5	2.2	8.1	0.9	2.7



(5～10年未満)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎ	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	29.0	24.7	2.2	10.8	2.2	1.6	2.7	5.4	9.7	2.2	4.8	1.1	1.6
2位 (%)	9.1	15.6	5.4	12.4	11.3	2.7	3.8	9.1	9.7	5.9	7.0	2.2	0.0
3位 (%)	5.4	8.6	5.4	6.5	6.5	2.7	5.9	9.7	6.5	5.4	17.2	2.2	0.0
合計 (%)	43.5	48.9	12.9	29.6	19.9	7.0	12.4	24.2	25.8	13.4	29.0	5.4	1.6
加重平均	18.5	19.0	3.8	10.6	5.9	2.2	3.6	7.3	9.1	3.9	7.6	1.6	0.8

Ⅱ 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識



(10年以上)	視野が狭い	厳しさが足りない	排地的である	つきあいが多すぎる	公德心が低い	まちなみに統一感がない	被害者意識が強い	依頼心が強い	台風が多い	協調性が足りない	あきらめが早い	その他	わからない
1位 (%)	24.9	23.0	3.6	10.2	3.9	2.0	4.9	2.3	9.5	1.6	5.9	2.3	4.6
2位 (%)	7.5	22.0	8.2	11.5	4.3	1.3	6.2	8.2	4.6	5.9	9.8	1.3	0.0
3位 (%)	12.8	7.5	6.6	6.2	6.2	1.6	4.9	7.5	8.5	3.9	14.1	2.0	0.0
合計 (%)	45.2	52.5	18.4	27.9	14.4	4.9	16.1	18.0	22.6	11.5	29.8	5.6	4.6
加重平均	17.1	20.1	5.6	9.9	4.4	1.7	5.4	5.1	7.7	3.4	8.6	1.9	2.3

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

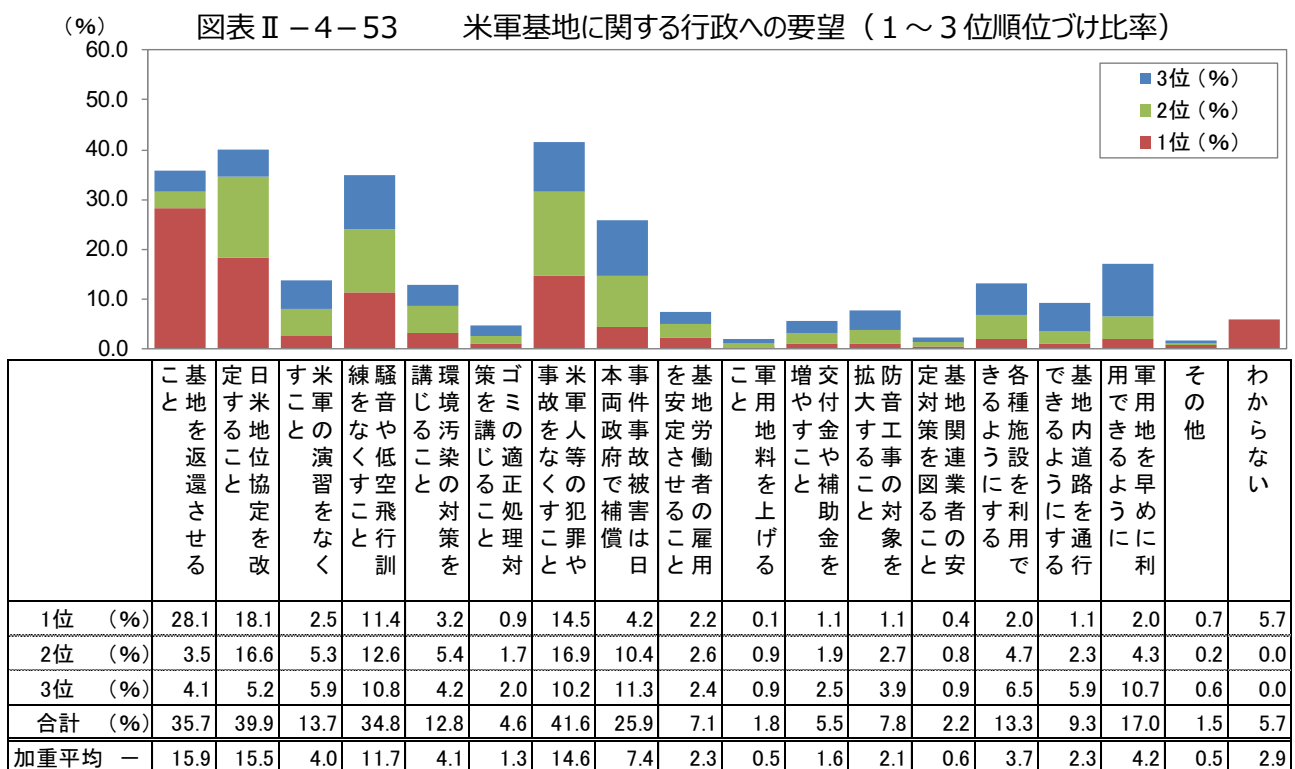
3. 米軍基地に関する行政への要望（問12）

（1）米軍基地に関する行政への要望

米軍基地から派生する様々な課題について、県や国に力を入れてほしい17項目から優先順に1～3位の順位をつけて選んでもらったところ、1～3位の合計比率は「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(41.6%)の割合が最も高く、以下「日米地位協定を改定すること」(39.9%)、「基地を返還させること」(35.7%)、「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」(34.8%)が上位となる。

加重平均でみると1位は「基地を返還させること」(28.1%)の割合で最も高く、2位は「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」(16.9%)、3位は「事件事故被害は日本両政府で補償」(11.3%)となる。

図表Ⅱ-4-53 米軍基地に関する行政への要望（1～3位順位づけ比率）



II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

加重平均により過去の調査と比較すると、「基地を返還させること」の平成27年の割合は18.8に対して平成30年は15.9と2.9ポイント減少し、他項目の中で減少差が最も高い。「日米地位協定を改定すること」「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」の割合は「基地を返還させること」に次いで高い要望となっている。

地域別にみると、1～3位の合計比率は全ての地域で「基地を返還させること」「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」「騒音や低空飛行訓練をなくすこと」の割合が高い。中部、北部では「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」の割合が高く、那覇市、宮古、八重山は「日米地位協定を改定すること」の割合が他地域よりも高くなっている。

年代別にみると、10代～40代が「米軍人等の犯罪や事故をなくすこと」の割合が最も高く、60代～70代以上が「基地を返還させること」の割合が他の年代より高くなっている。

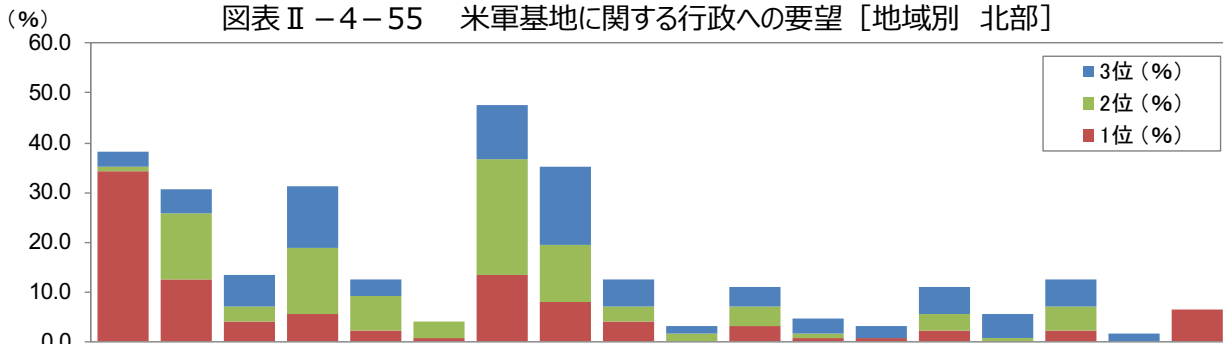
図表Ⅱ-4-54 米軍基地に関する行政への要望 [時系列比較・加重平均]

(%)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	環境汚染の対策を講じること	ゴミの適正処理	米軍人等の犯罪をなくすこと	米軍基地の補償	事件事故被害	雇用労働者の安全
平成30	15.9	15.5	4.0	11.7	4.1	1.3	14.6	7.4	2.3	
平成27	18.8	15.7	3.2	12.1	3.2	1.2	15.1	7.8	3.1	
平成24	20.1	19.5	4.2	11.4	1.8	0.5	15.2	7.5	2.4	
平成21	20.1	15.7	5.3	14.0	3.3	0.9	16.9	7.1	2.9	
平成16	23.9	18.4	6.2	11.0	3.5	1.0	13.9	6.7	2.4	
平成11	19.8	-	8.4	9.7	9.1	-	17.5	-	5.6	
平成7	23.1	-	15.6	11.9	-	-	12.1	-	4.5	
平成2	23.6	-	14.3	8.0	-	-	15.0	-	4.0	
昭和59	20.1	-	15.5	9.7	-	-	14.5	-	4.7	

(%)	軍用地料を上げる	金を増やす補助	象徴的工事の対	防音工事の対	図安定策を業者	基地関連業者	に利用できるよう	各種施設を有利	通行する道路をよ	基地内道路をよ	よ利用地を早め	軍用地を早め	その他	わからない
平成30	0.5	1.6	2.1	0.6	3.7	2.3	4.2	0.5	2.9					
平成27	0.5	1.2	2.1	0.6	3.2	2.5	4.5	0.3	2.0					
平成24	0.6	1.3	1.6	0.5	3.0	2.0	3.8	0.4	-					
平成21	0.7	0.8	1.8	0.4	2.6	1.8	3.8	0.4	-					
平成16	0.4	0.7	1.3	0.5	2.9	2.6	3.4	0.3	-					
平成11	1.0	2.1	-	1.2	5.3	-	8.7	0.3	1.7					
平成7	1.2	1.7	-	1.8	5.5	-	10.7	0.3	3.0					
平成2	1.0	1.3	-	1.3	3.8	-	8.4	0.5	-					
昭和59	1.6	2.9	-	0.7	-	-	10.8	0.4	2.1					

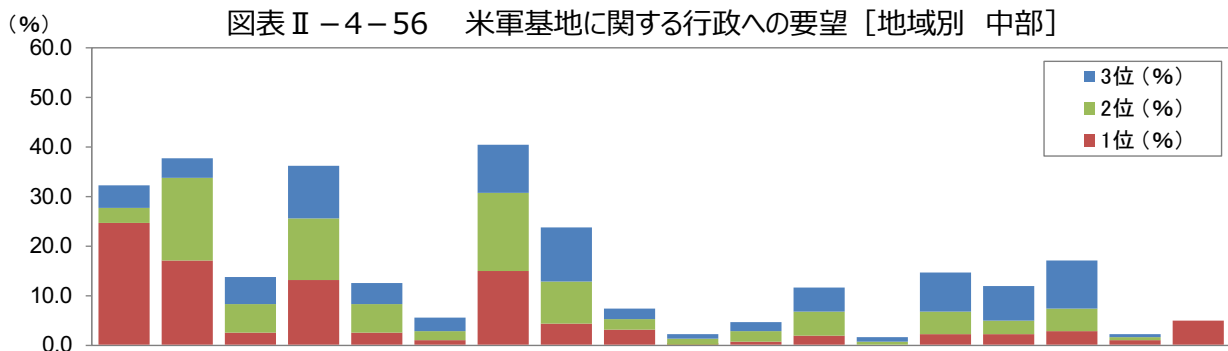
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-55 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 北部]



(北部)	こ と	基 地 を 返 還 さ せ る	日 米 地 位 協 定 を 改 め る	米 軍 の 演 習 を な く す	騒 音 や 低 空 飛 行 訓 練 を な く す	講 じ る こ と	環 境 汚 染 の 対 策 を 講 じ る	策 を 講 じ る こ と	ゴ ミ の 適 正 処 理 対 策 を 講 じ る	事 故 を な く す	米 軍 人 等 の 犯 罪 や 事 故 を な く す	本 両 政 府 で 補 償 を 受 け る	事 件 事 故 被 害 者 に 対 し て 補 償 を 受 け る	を 安 定 さ せ る こ と	基 地 労 働 者 の 雇 用 を 安 定 さ せ る	こ と	軍 用 地 料 を 上 げ る	増 や す こ と	交 付 金 や 補 助 金 を 増 や す	防 音 工 事 の 対 象 を 拡 大 す	定 対 策 を 図 る こ と	基 地 関 連 業 者 の 安 定 さ せ る	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	で き る よ う に す る	基 地 内 道 路 を 通 行 す こ と	軍 用 地 を 早 め に 利 用 す こ と	そ の 他	わ か ら な い
1位 (%)		34.4	12.5	3.9	5.5	2.3	0.8	13.3	7.8	3.9	0.0	3.1	0.8	0.8	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	0.0	6.3
2位 (%)		0.8	13.3	3.1	13.3	7.0	3.1	23.4	11.7	3.1	1.6	3.9	0.8	0.0	3.1	0.8	4.7	0.0	4.7	0.0	4.7	0.0	4.7	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0
3位 (%)		3.1	4.7	6.3	12.5	3.1	0.0	10.9	15.6	5.5	1.6	3.9	3.1	2.3	5.5	4.7	5.5	1.6	5.5	1.6	5.5	1.6	5.5	1.6	5.5	1.6	0.0	0.0
合計 (%)		38.3	30.5	13.3	31.3	12.5	3.9	47.7	35.2	12.5	3.1	10.9	4.7	3.1	10.9	5.5	12.5	1.6	12.5	1.6	12.5	1.6	12.5	1.6	12.5	1.6	6.3	6.3
加重平均	—	18.0	11.5	4.0	9.2	4.0	1.4	16.3	10.4	3.9	0.8	3.5	1.2	0.8	3.1	1.0	3.6	0.3	3.1	0.3	3.1	0.3	3.1	0.3	3.1	0.3	3.1	3.1

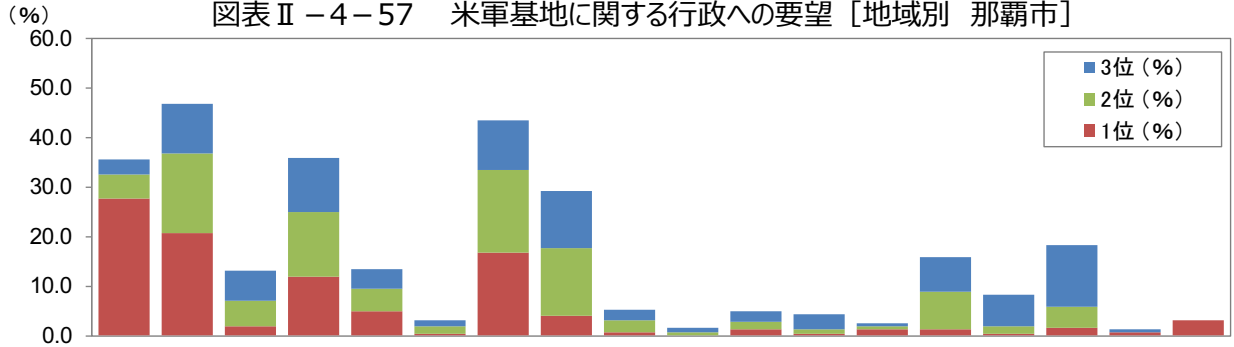
図表Ⅱ-4-56 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 中部]



(中部)	こ と	基 地 を 返 還 さ せ る	日 米 地 位 協 定 を 改 め る	米 軍 の 演 習 を な く す	騒 音 や 低 空 飛 行 訓 練 を な く す	講 じ る こ と	環 境 汚 染 の 対 策 を 講 じ る	策 を 講 じ る こ と	ゴ ミ の 適 正 処 理 対 策 を 講 じ る	事 故 を な く す	米 軍 人 等 の 犯 罪 や 事 故 を な く す	本 両 政 府 で 補 償 を 受 け る	事 件 事 故 被 害 者 に 対 し て 補 償 を 受 け る	を 安 定 さ せ る こ と	基 地 労 働 者 の 雇 用 を 安 定 さ せ る	こ と	軍 用 地 料 を 上 げ る	増 や す こ と	交 付 金 や 補 助 金 を 増 や す	防 音 工 事 の 対 象 を 拡 大 す	定 対 策 を 図 る こ と	基 地 関 連 業 者 の 安 定 さ せ る	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	で き る よ う に す る	基 地 内 道 路 を 通 行 す こ と	軍 用 地 を 早 め に 利 用 す こ と	そ の 他	わ か ら な い
1位 (%)		24.6	17.1	2.5	13.3	2.5	1.1	15.0	4.2	3.2	0.2	0.8	1.9	0.0	2.3	2.3	2.7	1.0	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	1.0	4.8
2位 (%)		3.0	16.8	5.9	12.4	5.7	1.7	15.8	8.8	2.1	1.1	1.9	5.0	0.6	4.6	2.7	4.8	0.6	4.6	0.6	4.6	0.6	4.6	0.6	4.6	0.6	0.6	0.0
3位 (%)		4.8	4.0	5.5	10.5	4.4	2.9	9.7	10.9	2.1	1.0	1.9	4.8	1.0	7.8	7.0	9.5	0.6	7.8	1.0	7.8	1.0	7.8	1.0	7.8	1.0	0.6	0.0
合計 (%)		32.4	37.9	13.9	36.2	12.6	5.7	40.6	23.8	7.4	2.3	4.6	11.6	1.5	14.7	12.0	17.0	2.1	14.7	1.5	14.7	1.5	14.7	1.5	14.7	1.5	4.8	4.8
加重平均	—	14.1	14.8	4.1	12.5	3.9	1.6	14.4	6.8	2.7	0.6	1.3	3.4	0.3	4.0	3.2	4.5	0.8	4.0	0.3	4.0	0.3	4.0	0.3	4.0	0.3	2.4	2.4

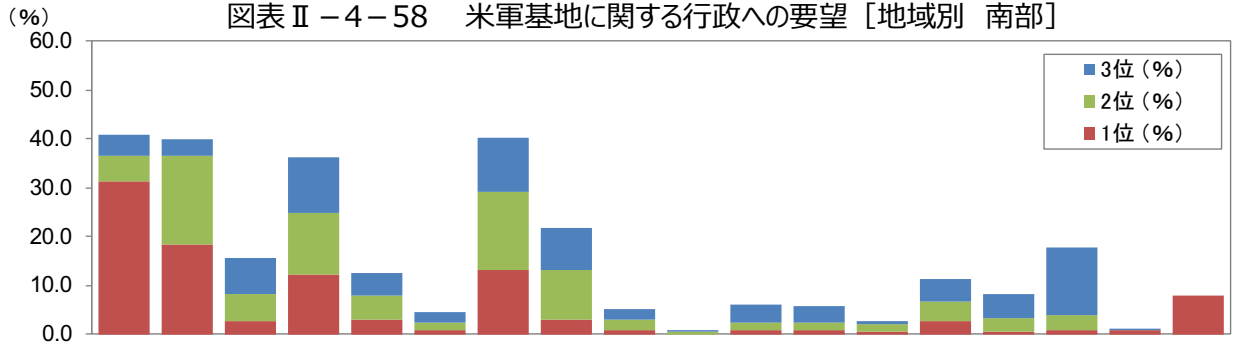
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-57 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 那覇市]



(那覇市)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事件で補償は日本両政府	事件事故被害は日米両政府	を安定させること	基地労働者の雇用を安定させること	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を増やすこと	拡大すること	防音工事の対象を拡大すること	定策を図ること	基地関連業者の安	定策を図ること	各種施設を利用できるようにする	基地内道路を通行できるようにする	軍用地を早めに利用できるようにする	その他	わからない
1位 (%)	27.7	20.9	2.0	12.0	4.8	0.4	16.9	4.0	0.8	0.0	1.2	0.4	1.2	1.2	0.4	1.6	0.8	3.2	1.2	0.4	1.2	1.2	0.4	1.6	0.8	3.2	
2位 (%)	4.8	16.1	5.2	12.9	4.8	1.6	16.5	13.7	2.4	0.8	1.6	0.8	0.8	7.6	1.6	4.4	0.0	0.0	0.8	0.8	0.8	7.6	1.6	4.4	0.0	0.0	
3位 (%)	3.2	10.0	6.0	11.2	4.0	1.2	10.0	11.6	2.0	0.8	2.0	3.2	0.4	7.2	6.4	12.4	0.4	0.0	0.4	0.4	0.4	7.2	6.4	12.4	0.4	0.0	
合計 (%)	35.7	47.0	13.3	36.1	13.7	3.2	43.4	29.3	5.2	1.6	4.8	4.4	2.4	16.1	8.4	18.5	1.2	3.2	2.4	2.4	2.4	16.1	8.4	18.5	1.2	3.2	
加重平均	16.0	17.5	3.7	12.2	4.7	0.9	15.6	8.5	1.5	0.4	1.5	1.0	0.9	4.4	1.8	4.4	0.5	1.6	0.9	0.9	0.9	4.4	1.8	4.4	0.5	1.6	

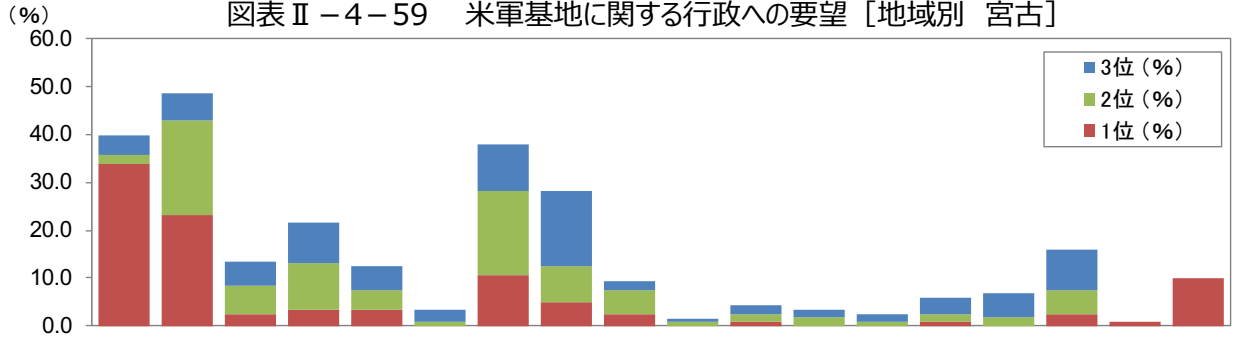
図表Ⅱ-4-58 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 南部]



(南部)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事件で補償は日本両政府	事件事故被害は日米両政府	を安定させること	基地労働者の雇用を安定させること	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を増やすこと	拡大すること	防音工事の対象を拡大すること	定策を図ること	基地関連業者の安	定策を図ること	各種施設を利用できるようにする	基地内道路を通行できるようにする	軍用地を早めに利用できるようにする	その他	わからない
1位 (%)	31.3	18.5	2.6	12.1	3.0	0.8	13.2	3.0	0.8	0.0	0.8	0.8	0.4	2.6	0.4	0.8	0.8	7.9	0.4	0.4	0.4	2.6	0.4	0.8	0.8	7.9	
2位 (%)	5.3	18.1	5.7	12.8	4.9	1.5	15.8	10.2	2.3	0.4	1.5	1.5	1.5	4.2	3.0	3.0	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	4.2	3.0	3.0	0.0	0.0	
3位 (%)	4.2	3.4	7.2	11.3	4.5	2.3	11.3	8.7	1.9	0.4	3.8	3.4	0.8	4.5	4.9	14.0	0.4	0.0	0.8	0.8	0.8	4.5	4.9	14.0	0.4	0.0	
合計 (%)	40.8	40.0	15.5	36.2	12.5	4.5	40.4	21.9	4.9	0.8	6.0	5.7	2.6	11.3	8.3	17.7	1.1	7.9	2.6	2.6	2.6	11.3	8.3	17.7	1.1	7.9	
加重平均	18.1	15.8	4.4	12.2	3.9	1.3	13.8	6.4	1.4	0.2	1.5	1.4	0.8	3.5	2.0	3.7	0.4	4.0	0.8	0.8	0.8	3.5	2.0	3.7	0.4	4.0	

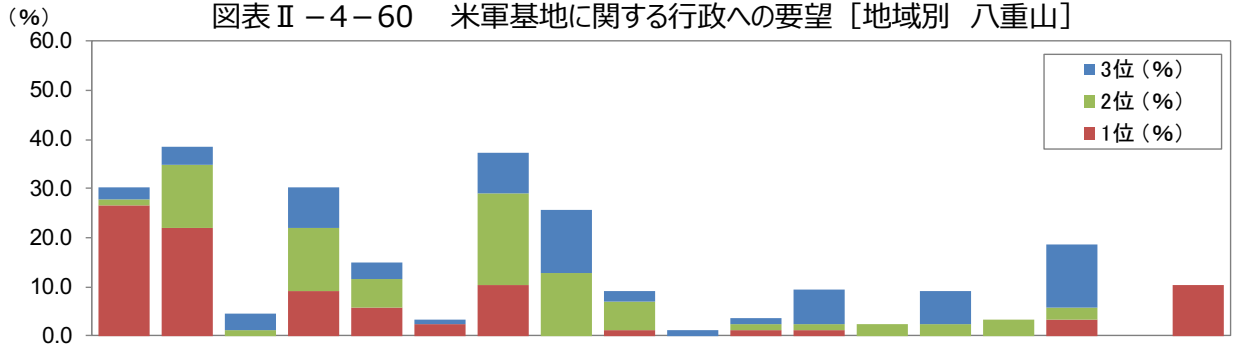
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表 II-4-59 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 宮古]



(宮古)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事故をなくすこと	本両政府で補償は日	事件事故被害は日	を安定させること	基地労働者の雇用	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を	拡大すること	防音工事の対象を	定対策を図ること	基地関連業者の安	きるようにする	各種施設を利用できる	基地内道路を通行	用地を早めに利	軍用地を早めに利	その他	わからない
1位 (%)	33.9	23.1	2.5	3.3	3.3	0.0	10.7	5.0	2.5	0.0	0.8	1.7	1.7	0.0	0.8	1.7	1.7	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0	2.5	0.8	9.9			
2位 (%)	1.7	19.8	5.8	9.9	4.1	0.8	17.4	7.4	5.0	0.8	1.7	1.7	0.8	1.7	1.7	0.8	1.7	1.7	0.8	1.7	1.7	1.7	1.7	5.0	0.0	0.0			
3位 (%)	4.1	5.8	5.0	8.3	5.0	2.5	9.9	15.7	1.7	0.8	1.7	1.7	1.7	3.3	5.0	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計 (%)	39.7	48.8	13.2	21.5	12.4	3.3	38.0	28.1	9.1	1.7	4.1	3.3	2.5	5.8	6.6	15.7	0.8	9.9											
加重平均	18.2	19.1	4.0	6.3	3.9	0.7	12.8	7.6	3.2	0.4	1.2	0.8	0.6	1.5	1.4	4.3	0.4	5.0											

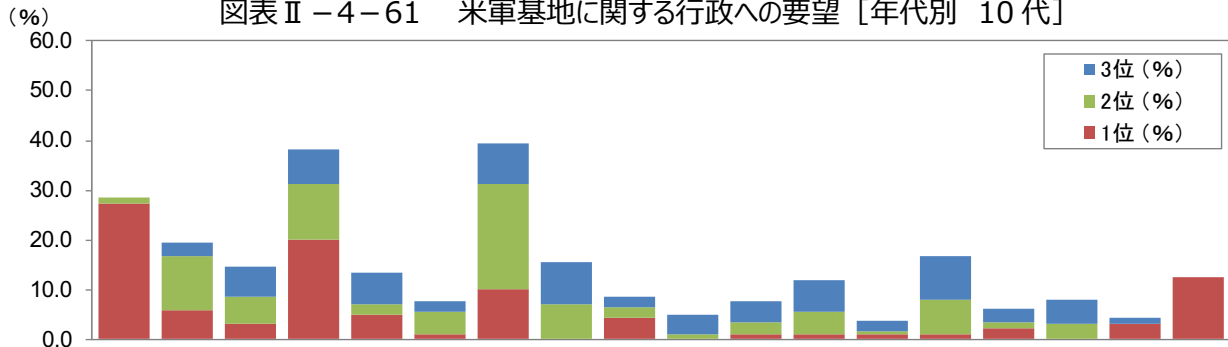
図表 II-4-60 米軍基地に関する行政への要望 [地域別 八重山]



(八重山)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事故をなくすこと	本両政府で補償は日	事件事故被害は日	を安定させること	基地労働者の雇用	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を	拡大すること	防音工事の対象を	定対策を図ること	基地関連業者の安	きるようにする	各種施設を利用できる	基地内道路を通行	用地を早めに利	軍用地を早めに利	その他	わからない
1位 (%)	26.7	22.1	0.0	9.3	5.8	2.3	10.5	0.0	1.2	0.0	1.2	1.2	0.0	0.0	1.2	1.2	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	10.5			
2位 (%)	1.2	12.8	1.2	12.8	5.8	0.0	18.6	12.8	5.8	0.0	1.2	1.2	2.3	2.3	3.5	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0			
3位 (%)	2.3	3.5	3.5	8.1	3.5	1.2	8.1	12.8	2.3	1.2	1.2	7.0	0.0	7.0	0.0	12.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0			
合計 (%)	30.2	38.4	4.7	30.2	15.1	3.5	37.2	25.6	9.3	1.2	3.5	9.3	2.3	9.3	3.5	18.6	0.0	10.5											
加重平均	14.1	15.9	1.0	10.3	5.4	1.4	12.8	6.4	2.9	0.2	1.2	2.1	0.8	1.9	1.2	4.7	0.0	5.2											

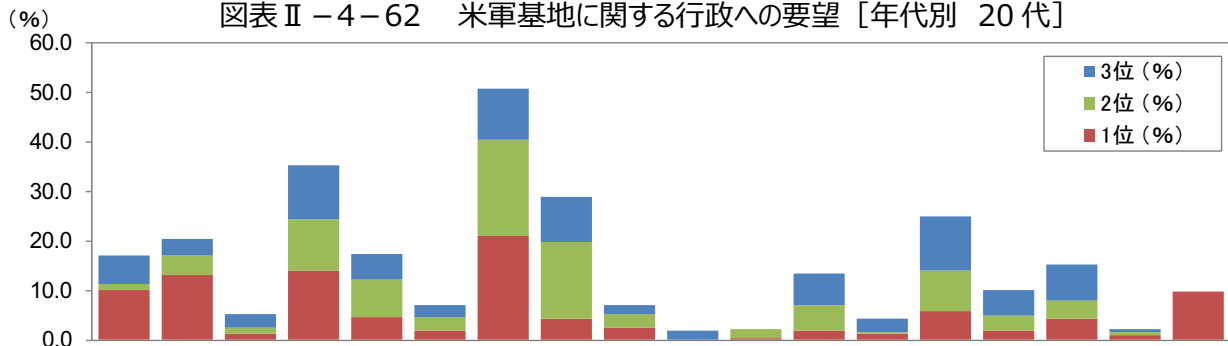
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-61 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 10代]



(10代)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事件	本両政府で補償は日	事件事故被害は日	を安定させること	基地労働者の雇用	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を	拡大すること	防音工事の対象を	定対策を図ること	基地関連業者の安	定対策を図ること	各種施設を利用できる	ようにする	基地内道路を通行	できるようにする	軍用地を早めに利	用できるようにする	その他	わからない			
1位 (%)	27.4	5.9	3.2	19.9	4.8	1.1	10.2	0.0	4.3	0.0	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	
2位 (%)	1.1	10.8	5.4	11.3	2.2	4.3	21.0	7.0	2.2	1.1	2.2	4.3	0.5	7.0	1.1	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3位 (%)	0.0	2.7	5.9	7.0	6.5	2.2	8.1	8.6	2.2	3.8	4.3	6.5	2.2	8.6	2.7	4.8	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
合計 (%)	28.5	19.4	14.5	38.2	13.4	7.5	39.2	15.6	8.6	4.8	7.5	11.8	3.8	16.7	5.9	8.1	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	
加重平均	14.1	7.0	4.4	14.9	4.2	2.3	13.4	3.8	3.2	1.0	2.0	3.0	1.1	4.3	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	1.9	

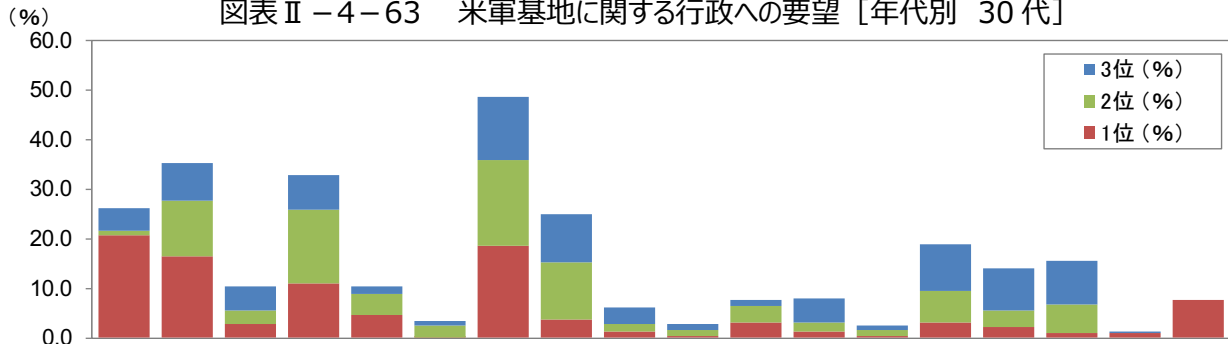
図表Ⅱ-4-62 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 20代]



(20代)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	事故をなくすこと	米軍人等の犯罪や事件	本両政府で補償は日	事件事故被害は日	を安定させること	基地労働者の雇用	こと	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を	拡大すること	防音工事の対象を	定対策を図ること	基地関連業者の安	定対策を図ること	各種施設を利用できる	ようにする	基地内道路を通行	できるようにする	軍用地を早めに利	用できるようにする	その他	わからない			
1位 (%)	10.1	13.3	1.3	14.0	4.5	1.9	21.1	4.2	2.6	0.0	0.3	1.9	1.3	5.8	1.9	4.2	1.0	9.7	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3	1.3
2位 (%)	1.3	3.9	1.3	10.4	7.8	2.6	19.5	15.6	2.6	0.0	1.9	5.2	0.3	8.4	3.2	3.9	0.6	0.0	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3	
3位 (%)	5.8	3.2	2.6	11.0	5.2	2.6	10.1	9.1	1.9	1.9	-	6.5	2.6	10.7	4.9	7.1	0.6	0.0	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	
合計 (%)	17.2	20.5	5.2	35.4	17.5	7.1	50.6	28.9	7.1	1.9	2.3	13.6	4.2	25.0	10.1	15.3	2.3	9.7	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	4.2	
加重平均	6.4	8.5	1.5	12.3	5.7	2.3	18.7	8.8	2.5	0.3	0.8	3.8	1.2	7.5	2.9	4.6	0.8	4.9	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	3.8	

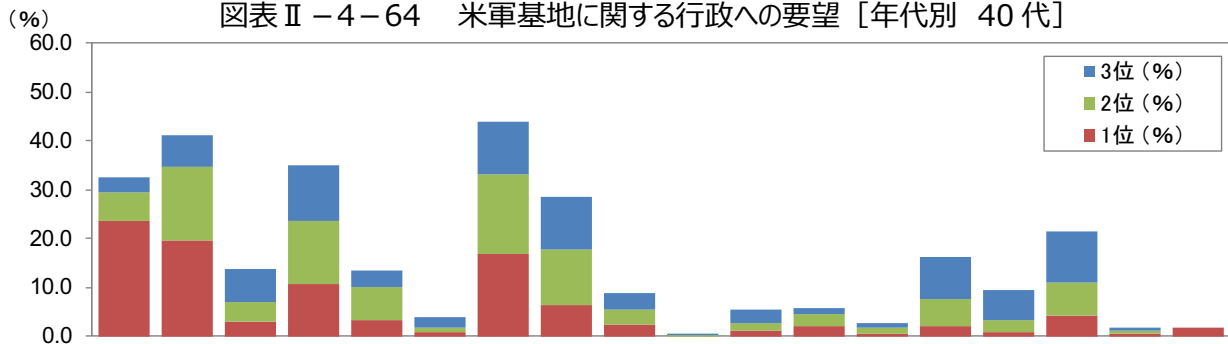
II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表 II-4-63 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 30代]



(30代)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	米軍人等の犯罪や事故をなくすこと	米軍政府で補償は日本両政府	事件事故被害は日米両政府	を安定させること	基地労働者の雇用を安定させること	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を増やすこと	拡大すること	防音工事の対象を拡大すること	基地関連業者の安定対策を図ること	各種施設を利用できるようにする	基地内道路を通行できるようにする	軍用地を早めに利用できるようにする	その他	わからない
1位 (%)	20.7	16.5	2.8	10.9	4.7	0.2	18.6	3.8	1.3	0.4	3.2	1.3	0.4	3.0	2.1	0.9	0.9	7.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	
2位 (%)	0.9	11.3	2.8	15.0	4.1	2.4	17.5	11.5	1.5	1.3	3.2	1.9	1.3	6.6	3.6	6.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3位 (%)	4.5	7.5	4.9	7.1	1.7	0.9	12.6	9.6	3.4	1.1	1.3	4.9	0.9	9.4	8.5	8.8	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計 (%)	26.1	35.3	10.5	32.9	10.5	3.4	48.7	25.0	6.2	2.8	7.7	8.1	2.6	19.0	14.3	15.6	1.3	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
加重平均	11.4	13.2	3.1	11.6	4.0	1.0	17.2	7.4	1.7	0.8	2.9	2.1	0.8	5.3	3.7	3.9	0.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

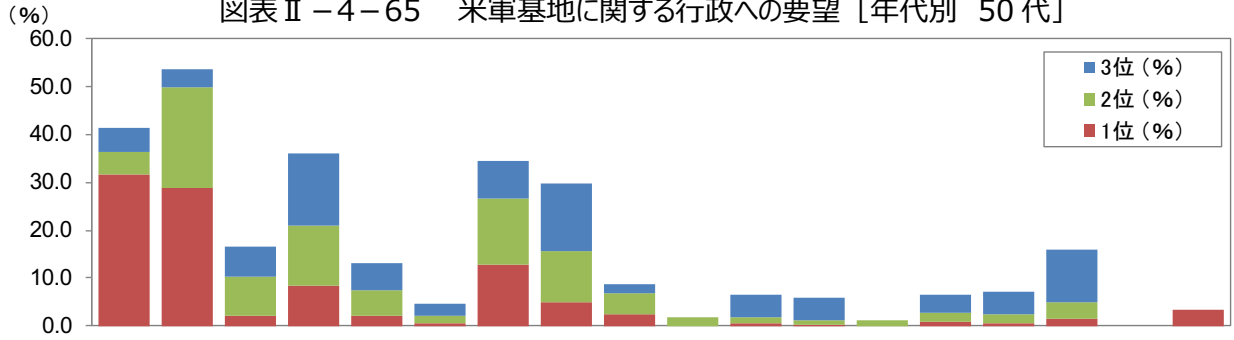
図表 II-4-64 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 40代]



(40代)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	講じること	環境汚染の対策を講じること	策を講じること	ゴミの適正処理対策を講じること	米軍人等の犯罪や事故をなくすこと	米軍政府で補償は日本両政府	事件事故被害は日米両政府	を安定させること	基地労働者の雇用を安定させること	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を増やすこと	拡大すること	防音工事の対象を拡大すること	基地関連業者の安定対策を図ること	各種施設を利用できるようにする	基地内道路を通行できるようにする	軍用地を早めに利用できるようにする	その他	わからない
1位 (%)	23.6	19.7	3.1	10.8	3.3	0.8	16.8	6.4	2.5	0.0	1.2	1.9	0.4	2.1	0.8	4.1	0.4	1.7	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	
2位 (%)	5.8	14.9	3.9	12.9	6.6	0.8	16.4	11.4	2.9	0.2	1.4	2.5	1.2	5.6	2.5	6.8	0.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
3位 (%)	3.1	6.6	6.6	11.4	3.5	2.3	10.8	10.6	3.5	0.4	2.7	1.2	1.2	8.5	6.2	10.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計 (%)	32.4	41.1	13.5	35.1	13.3	3.9	44.0	28.4	8.9	0.6	5.2	5.6	2.7	16.2	9.5	21.4	1.5	1.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
加重平均	14.2	15.9	3.9	11.6	4.4	1.0	15.7	8.8	2.8	0.1	1.5	2.0	0.8	4.3	2.3	6.0	0.5	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

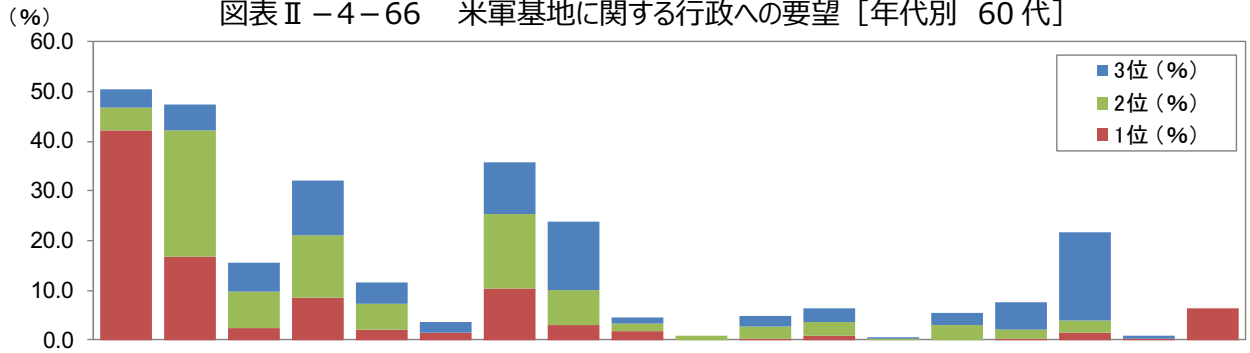
II 本調査の結果 第4章 日常の生活空間に対する認識

図表Ⅱ-4-65 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 50代]



(50代)	こ と	基 地 を 返 還 さ せ る	日 米 地 位 協 定 を 改 め る	米 軍 の 演 習 を な く す	騒 音 や 低 空 飛 行 訓 練 を な く す	講 じ る こ と	環 境 汚 染 の 対 策 を 講 じ る	策 を 講 じ る こ と	ゴ ミ の 適 正 処 理 対 策 を 講 じ る	事 故 を な く す	米 軍 人 等 の 犯 罪 や 事 故 を な く す	本 両 政 府 で 補 償 を 受 け る	事 件 事 故 被 害 者 に 対 し て 補 償 を 受 け る	基 地 を 安 定 さ せ る こ と	基 地 を 安 定 さ せ る こ と	軍 用 地 料 を 上 げ る	増 や す こ と	交 付 金 や 補 助 金 を 増 や す	防 音 工 事 の 対 象 を 広 げ る	定 策 を 図 る こ と	基 地 関 連 業 者 の 安 定 さ せ る こ と	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	基 地 内 道 路 を 通 行 す こ と	軍 用 地 を 早 め に 利 用 す こ と	そ の 他	わ か ら な い		
1位 (%)		31.5	28.7	2.0	8.3	2.2	0.4	12.7	4.8	2.4	0.0	0.4	0.2	0.0	0.9	0.4	1.5	0.0	0.0	3.5									
2位 (%)		5.0	21.2	8.3	12.7	5.3	1.8	13.8	10.9	4.4	1.8	1.5	0.9	1.3	1.8	2.0	3.3	0.0	0.0										
3位 (%)		5.0	3.7	6.3	14.9	5.7	2.4	7.9	14.2	1.8	0.0	4.6	4.8	0.0	3.7	4.6	11.2	0.0	0.0										
合計 (%)		41.6	53.6	16.6	35.9	13.1	4.6	34.4	30.0	8.5	1.8	6.6	5.9	1.3	6.3	7.0	16.0	0.0	0.0										
加重平均	—	18.3	22.0	4.8	10.9	3.8	1.2	12.3	8.4	3.0	0.6	1.5	1.2	0.4	1.6	1.6	3.7	0.0	0.0										

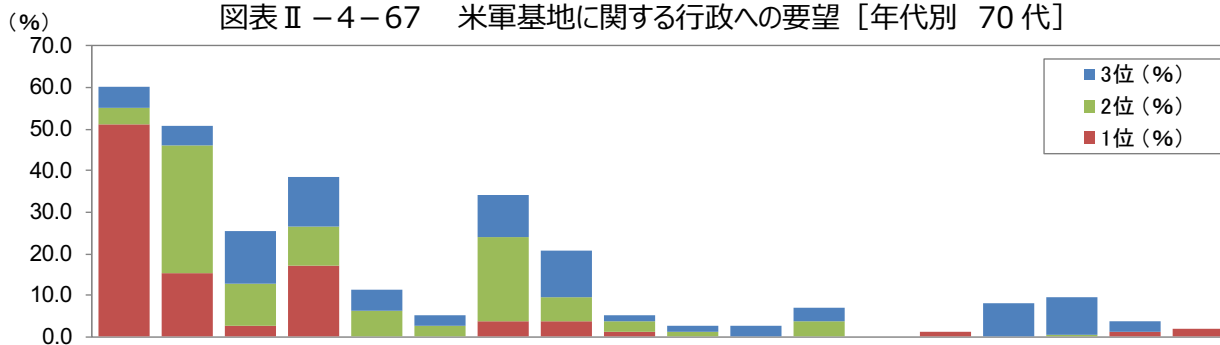
図表Ⅱ-4-66 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 60代]



(60代)	こ と	基 地 を 返 還 さ せ る	日 米 地 位 協 定 を 改 め る	米 軍 の 演 習 を な く す	騒 音 や 低 空 飛 行 訓 練 を な く す	講 じ る こ と	環 境 汚 染 の 対 策 を 講 じ る	策 を 講 じ る こ と	ゴ ミ の 適 正 処 理 対 策 を 講 じ る	事 故 を な く す	米 軍 人 等 の 犯 罪 や 事 故 を な く す	本 両 政 府 で 補 償 を 受 け る	事 件 事 故 被 害 者 に 対 し て 補 償 を 受 け る	基 地 を 安 定 さ せ る こ と	基 地 を 安 定 さ せ る こ と	軍 用 地 料 を 上 げ る	増 や す こ と	交 付 金 や 補 助 金 を 増 や す	防 音 工 事 の 対 象 を 広 げ る	定 策 を 図 る こ と	基 地 関 連 業 者 の 安 定 さ せ る こ と	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	各 種 施 設 を 利 用 す こ と	基 地 内 道 路 を 通 行 す こ と	軍 用 地 を 早 め に 利 用 す こ と	そ の 他	わ か ら な い		
1位 (%)		42.2	16.8	2.5	8.5	2.0	1.6	10.3	3.1	1.8	0.0	0.4	0.9	0.0	0.0	0.4	1.6	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	1.6	0.4	6.3			
2位 (%)		4.5	25.3	7.4	12.6	5.2	0.0	15.2	7.0	1.6	0.9	2.2	2.9	0.2	2.9	1.8	2.5	0.0	0.0										
3位 (%)		3.8	5.4	5.8	11.0	4.3	2.0	10.3	13.7	1.3	0.0	2.2	2.7	0.4	2.7	5.4	17.7	0.4	0.0										
合計 (%)		50.4	47.5	15.7	32.1	11.4	3.6	35.9	23.8	4.7	0.9	4.9	6.5	0.7	5.6	7.6	21.7	0.9	0.0										
加重平均	—	23.2	17.8	4.7	10.3	3.4	1.1	12.0	6.2	1.6	0.3	1.3	1.9	0.1	1.4	1.7	4.6	0.3	0.0										

II 本調査の結果 第4章 日常生活空間に対する認識

図表II-4-67 米軍基地に関する行政への要望 [年代別 70代]



(70代)	基地を返還させること	日米地位協定を改定すること	米軍の演習をなくすこと	騒音や低空飛行訓練をなくすこと	環境汚染の対策を講ずること	ゴミの適正処理対策を講ずること	米軍人等の犯罪や事故をなくすこと	本両政府で被害は日	事件事故被害は日	基地労働者の雇用を安定させること	軍用地料を上げる	増やすこと	交付金や補助金を	拡大すること	防音工事の対象を	基地関連業者の安定対策を図ること	各種施設を利用できるようにする	基地内道路を通行できるようにする	軍用地を早めに利用できるように	その他	わからない
1位 (%)	51.3	15.2	2.5	17.1	0.0	0.0	3.8	3.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	1.3	1.9	
2位 (%)	3.8	31.0	10.1	9.5	6.3	2.5	20.3	5.7	2.5	1.3	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	
3位 (%)	5.1	4.4	12.7	12.0	5.1	2.5	10.1	11.4	1.3	1.3	2.5	3.2	0.0	0.0	8.2	8.9	2.5	0.0			
合計 (%)	60.1	50.6	25.3	38.6	11.4	5.1	34.2	20.9	5.1	2.5	2.5	7.0	0.0	1.3	8.2	9.5	3.8	1.9			
加重平均	27.7	18.7	6.8	13.7	3.0	1.3	10.3	5.7	1.7	0.6	0.4	1.8	0.0	0.6	1.4	1.7	1.1	0.9			